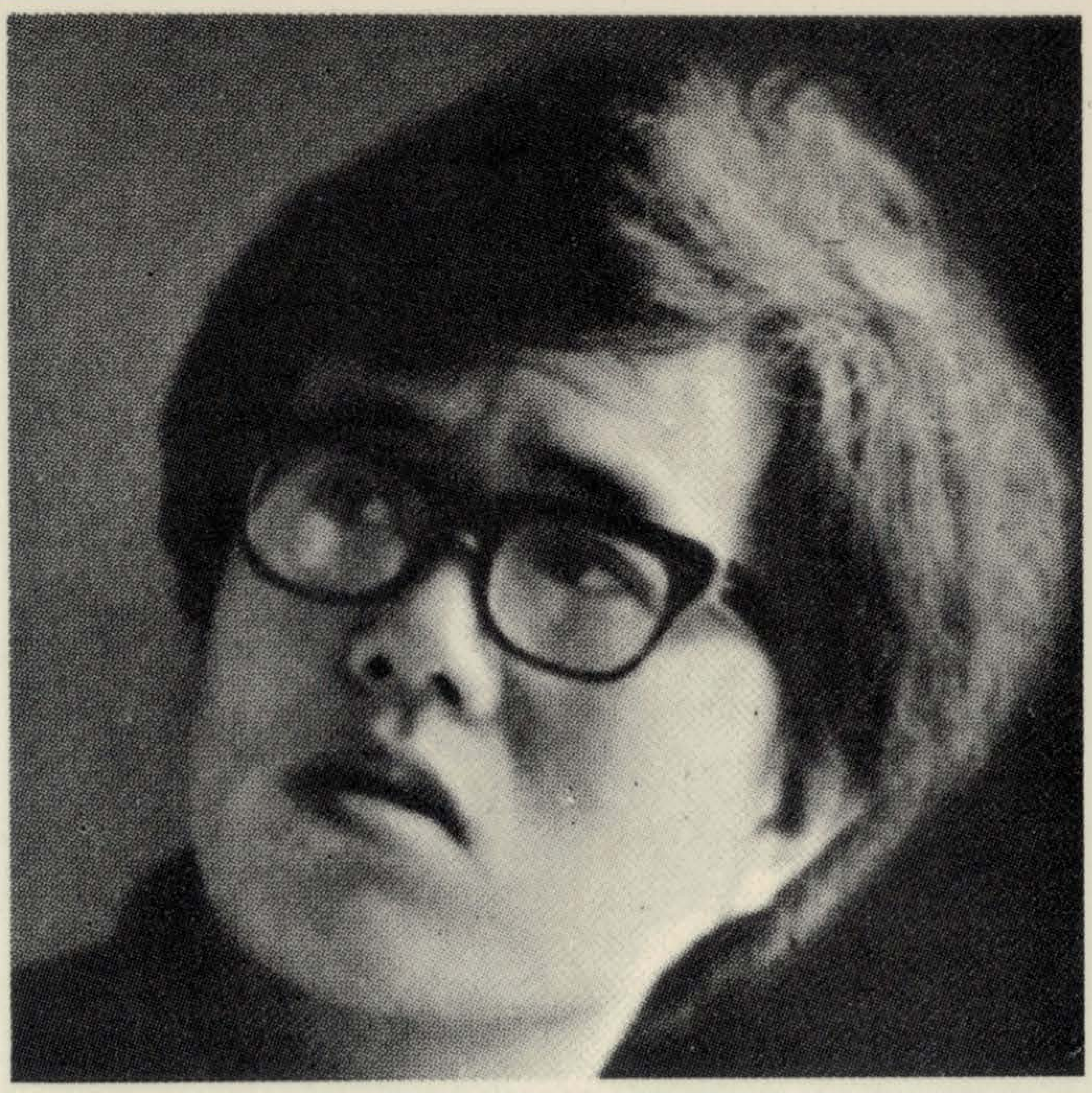
Kodansya Comics

餓鬼(がき)



KC

ちばてつや 2



〈著者近影〉

すべての記憶を失い、別人と化した立太は、狂ったように悪の道へ――。悲劇の少年の人生を見つめながら、みにくい欲望渦巻く現代社会への痛烈な批判をぶつける感動編、ここに完結！

〈装幀／水野石文〉

Kodansya Comics

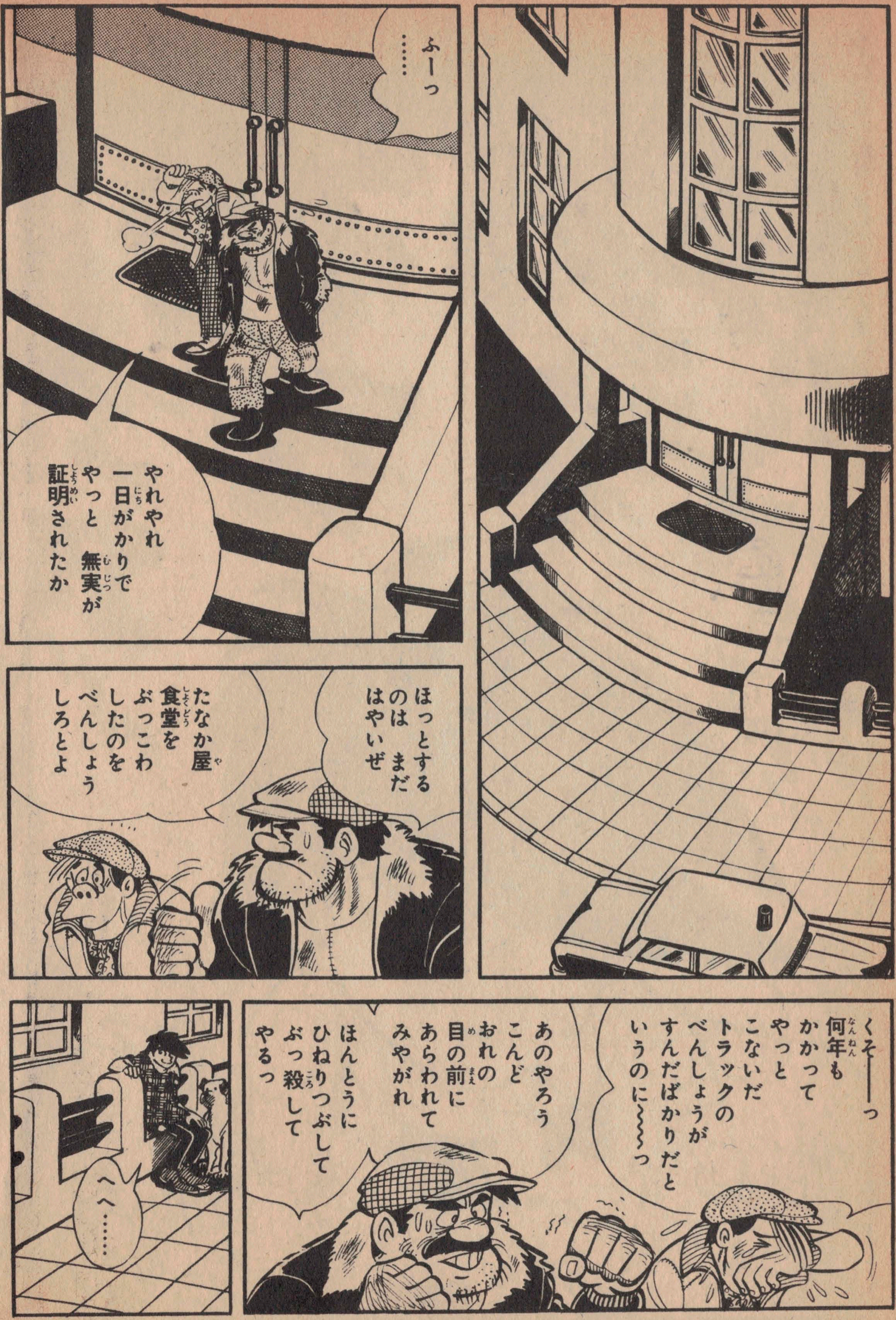
餓鬼（がき）

2



ちばてつや


餓鬼
第2巻
ちばてつや


ふーっ……
やれやれ 一日がかりで やっと 無実が 証明されたか
ほっとするのは まだ はやいぜ
たなか屋食堂を ぶっこわしたのを べんしょうしろとよ
くそ――っ 何年もかかって やっと こないだ トラックの べんしょうが すんだばかりだと いうのに〜〜っ
あのやろう こんど おれの 目の前に あらわれて みやがれ
ほんとうに ひねりつぶして ぶっ殺して やるっ
へへ……

あーっ
あ……あらわれたあ……
こっ……このやろ〜〜っよくもおめおめと……
なんでぇまだやる気？
たすけてぇおまわりさんひとさらい〜〜っ
どうしたっ……？
なにごとだいったい……
ちくしょう……
武やんあのやろうまだついてくるぜ……
い……いやなんでもないです
へへへいい子いい子
い……いったいどういうつもりなんだおとなをからかいやがって


わーっ
は〜
あ……あんな疫病神みてえなガキとかかわりあうのはもうやめた
アパートへけえってしょうちゅう食らって寝よう寝よう！
ただいまっ
ギシギシ
ギシ


ちょっと ちょっと
武さんに 政さん！
なんだい 大家さん
あんたらの へやは もう ないよ
ほかの人に かしちゃった からね
な……
なんだっ てえ？
じょうだん いうな おれは へやを あけわたすとも なんとも いっちゃ いねえぞっ
は——っ ……
だいいち へや代も ろくろく はらえない人に かすのは いやだしねえ
だって いま たなか屋の ご主人が きて 店を こわした べんしょう金 がわりに といって ふとんも ラジオも 茶だんすも みんな 持っていっちまったよ
あ…… あれは トラックの べんしょうを しなくちゃ ならなかっ たから ……
も…… もういい 政！
望荘
いこう！



ついにアパートもおん出されて……
住む場所もねえってわけか
へへ……でっけえトラックがあるでねえか トラックで寝られるなんてふたりともぜいたくなもんだぜ
やかましいよけいなことをいうなっ
へへへへ……
あ……あのやろう……なんだっておれたちのあとをつけまわすんだ……
じ〰〰っとこっちを見てるぜ
おい……あいつほんとに疫病神じゃねえのか……
おれはなんか こう背すじがさむくなってきやがったぜ……
へへへ……
へへへへ……

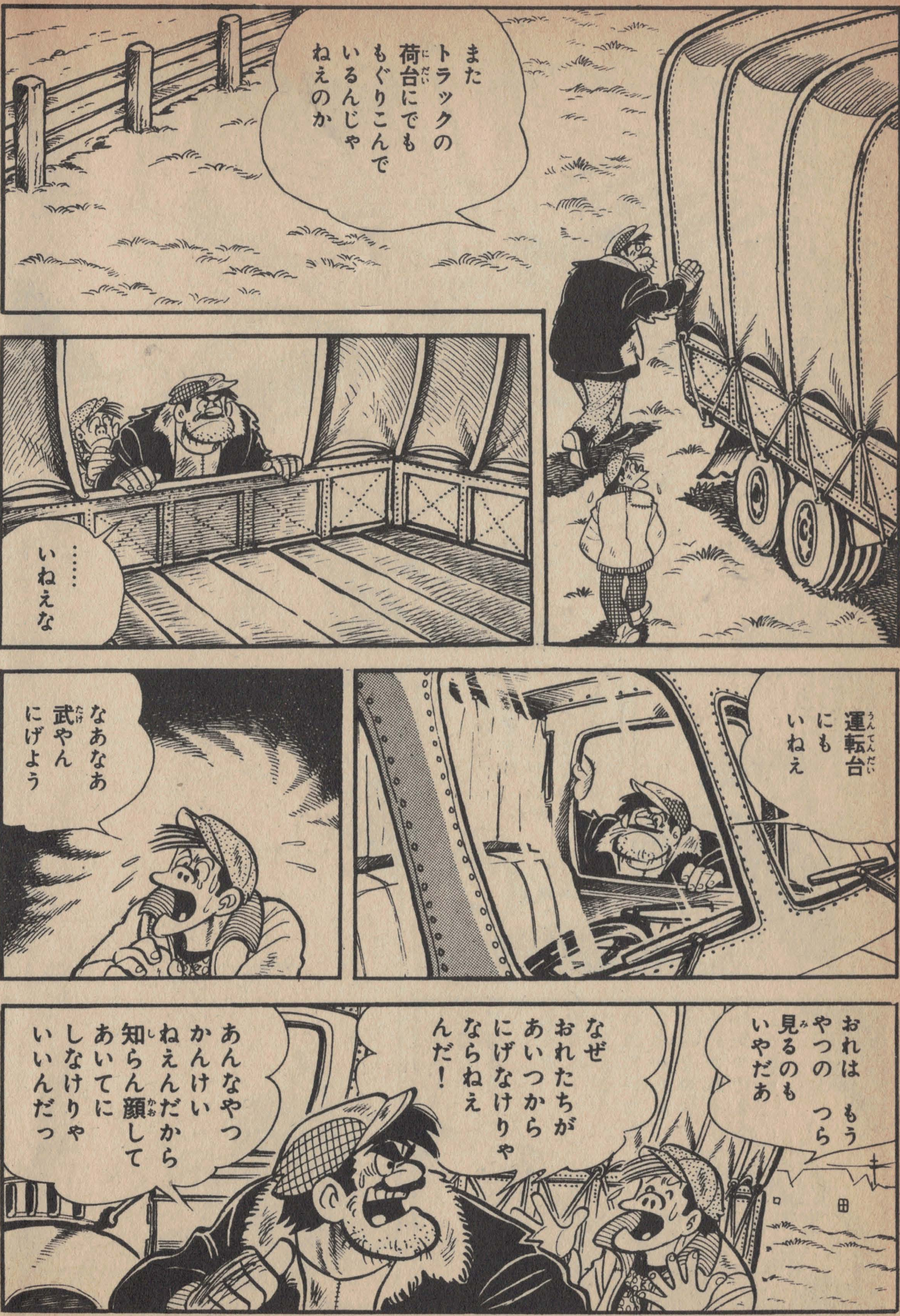

ぶつぶつぶつ……
ぶつぶつ……
そうさ……あいつはきっと疫病神にちげえねえんだ
あいつと数年まえ出会ってからおれたちは不幸になった……
国道で暴走事故をおこされそれから数年間ってものは——
ぶっこわしたトラックのべんしょう金をひねりだすためにまい日食うや食わずのひさんなあけくれ
みろ服だって下着だってあの事故の日いらいきたきりすずめだ
……


そのべんしょうもやっと すんだと思ったらまた ふらりとあらわれてめし屋をめちゃめちゃにこわしやがって……
べんしょう金のかわりに身のまわりの荷物をいっさい持っていかれアパートまでもおん出され
いいかげんにぐちをこぼすのはやめろ!
トラックを元手にはたらこうにもいままでこっそりやっていたもぐり運送がばれて いまや営業も 停止じょうたい
ぐちをこぼすのはやめろってんだっ
は……はらがへったよう武やん
うるせえだまらねえかばかっ
ガン
くすっ……
あ～ん あ～ん



大東ストアー
はて……あのこぞうめいつのまにかいなくなっちまったぞ
どこへきえちまったんだ
し……しめた！にげよう
あんなやつにつきまとわれていたらこれからもどんなめにあわされるかわかったもんじゃねえ
しくしく……


また トラックの 荷台にでも もぐりこんで いるんじゃ ねえのか
……いねえな
運転台にも いねえ
なあなあ 武やん にげよう
おれは もう やつの つら 見るのも いやだあ
なぜ おれたちが あいつから にげなけりゃ ならねえんだ!
あんなやつ かんけいねえんだから 知らん顔して あいてに しなけりゃ いいんだっ



で……出たあ〜〜っ
へへ……
ドスッ
うっ……
なっ……なんだいこりゃあ
はらあへってるんだろう
食えよ
ほれ
えんりょすることねえだ

た……
武やん……
くーっ……
このやろう
ふざけやがって〜〜っ
あっ……
ひとをばかにするのもたいがいにしねえかーっ
あんまりなめたまねしやがると
ほんとうにぶっ殺すぞ——っ
い…いっおらがばかにしたよっ
はらがへっているというから


ガキッ
えさをはこんできてやったんでねえかっ
ズデーン
た……武やんしっかりりっ
え……えさたあなんだっえさたあ……！
いぬに食わせるようなくさったざんぱんを持ってきやがって
ばかにしやがって……
ガッ
そんたらぜいたくいえるガラかよっ


めし
食らう
金っこも
ねえくせ
してっ
ドカッ
えいっ
ボカッ
ガリ
ガリガリ
あ……
ああ
……
ボビー
めし
持って
こいっ
そこへ
おけっ
ギュッ
ギュッ
げ～っ
た……
武さん
……
へっ
ざまあ
みろっ
てんだい


ありーっ
かみの毛もむしられちゃった……ひどい！
ゾ〜〜〜ッ
ひーー
こんどおらにさからうとその耳も目んたまもみんなかきむしっちまうだぞっ
あいつらこんたらうめえもんなのに食えねえだとよ
おらたちだけで食うべえボビー
パクパク
モリモリ
お…おい食ってるよあれ……
ゆするなっ
おれはいま気分がわるくてはきそうなんだ……
はれっ……
またいなくなっちまった


よう
武やあん……
いつまでこんなところにすわってるつもりなんだよう
なあ
いったいこれからどうするつもりなんだよう
うるせえなっ
いまそいつをかんがえているところなんじゃねえかっ
クスン……
さしあたってとまる家もねえし
たよれるしんせきもねえ……
営業停止処分がとけるまでどこかで土方でもやって食いつなぐか!
はっ……

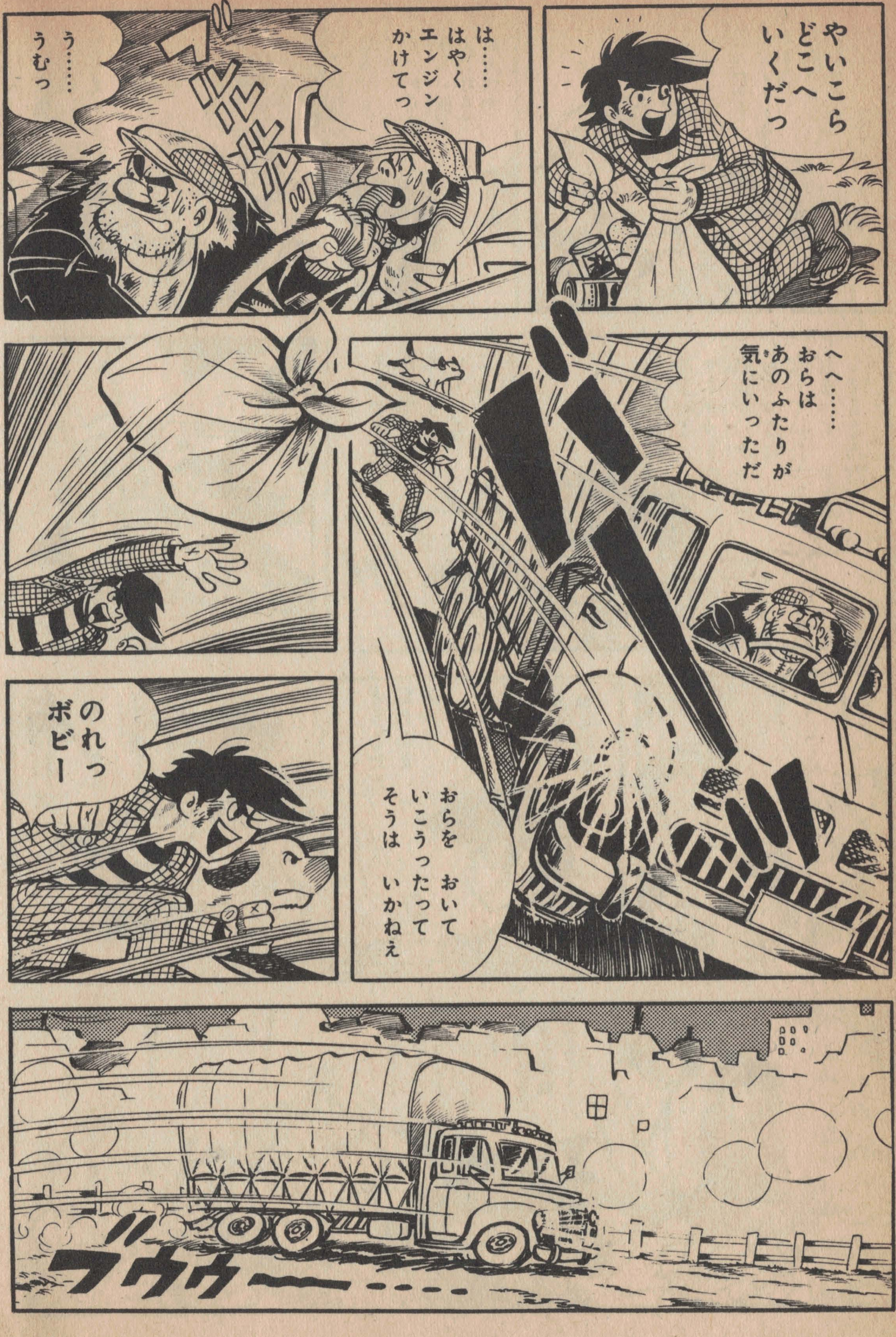


ま……また出たあ〜〜っ
よっこら
せっと
ドズ
へへへへ……
あーっ

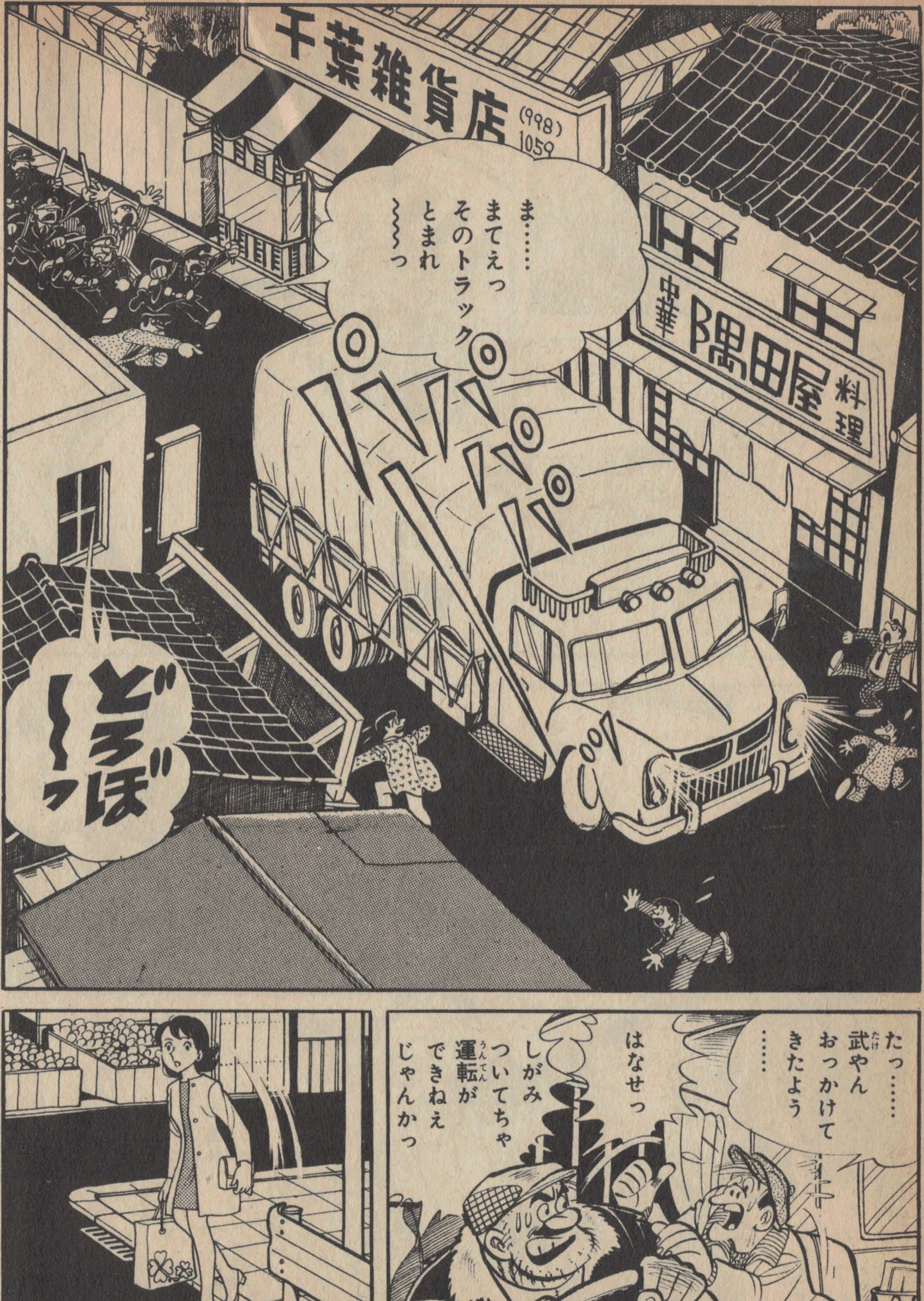


こっ……こりゃあ……
いったいこりゃあどうしたんだっ……
これならくさってねえだから食えるべ！
それに新しい服も手にいれてきただ
ほれ！
そんなぼろ服ぬいで着てみな
へへへおらのぶんもあるだぞ
おらもひさしぶりに着がえるだ！
お……おめえぬすみをはたらいてきたな……
なーにぬすむなんてそんたらことはしねえ
ちょっとかりてきただ
う……うそつけっおめえみてえなこじきにこんなもんをかしてくれるわけがねえっ
へっへっへどうだいかっこいいだんべ
ちょいとした貴公子だんべ

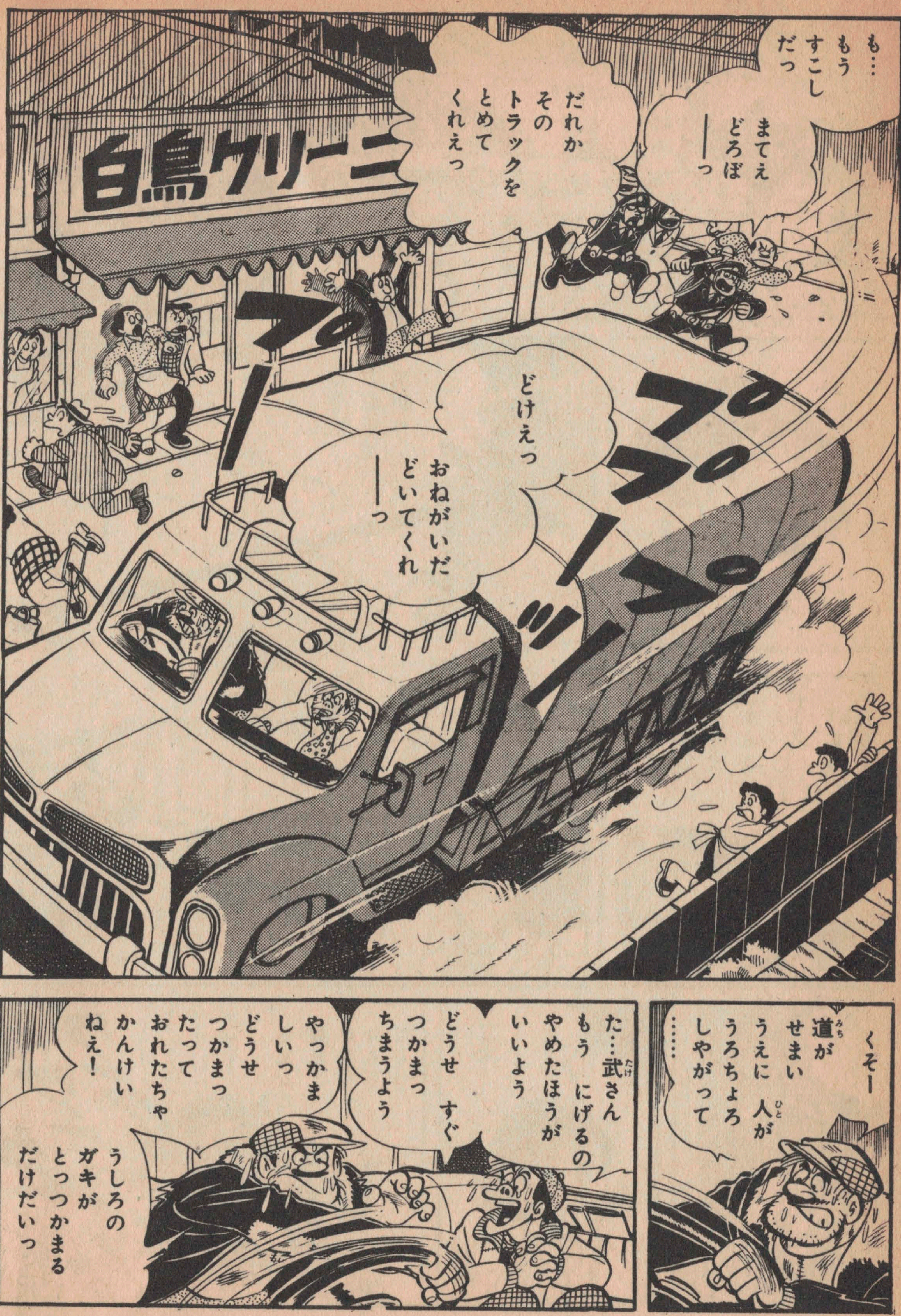

きいてることにこたえねえかっ
どっからぬすんできたっ
はなせよ……
せっかくの新しい服がよごれるでねえだか
目んたまやはなのあたまかきむしられてもいいだか?
うっ……
そりゃまあかりてきたちゅうてもいちいちことわったわけじゃねえ
すぐそこのスーパーマーケットの店員がテレビにむちゅうになっていたからだまっておかりしてきたんだ
あーっ
やっぱし……
どうしただ食わねえのか?
着がえねえのか?
た……武さん……
に……にげよう……はやく!
ああ……こいつといっしょにいたんじゃまた警察ゆきになりかねねえ……


やいこら どこへ いくだっ
は…… はやく エンジン かけてっ
う…… うむっ
へへ…… おらは あのふたりが 気にいっただ
おらを おいて いこうったって そうは いかねえ
のれっ ボビー
ブウウ――……


東スト
ガヤガヤガヤガヤ
ブー
それで……犯人のすがたを見たことは見たんだね
はあ ちらっとだけですが……
さきほどはどうも——
あーっ
あいつだー
あの服はうちの店先にかざってあったものです——っ
武やん……警官がさわいでるぜ
も…もういやだっ
警察のやっかいになるのはおことわりだ!
と……とまれっ
そのトラックとまれ〜〜っ
とばすぞっ


千葉雑貨店
(998)
1059
中華
隅田屋
料理
ま……まてえっ そのトラック とまれ〜〜〜っ
どろぼ〜〜っ
たっ……武やん おっかけてきたよう……
はなせっ しがみついてちゃ運転ができねえじゃんかっ

あ……
あぶねえっ
きゃあっ
やいてめー気をつけろっ
ひき殺されてぇだかっ
へへへ……そんたらうらめしそうな顔するない
さようならー
ど……どうしたボビー
そんなに身をのりだすとおちるだぞっ
り……立太……?
……?




白鳥クリーニ
も…もうすこしだっ
まてぇどろぼ——っ
だれかそのトラックをとめてくれえっ
どけえっ
おねがいだどいてくれ——っ
くそー
道がせまいうえに人がうろちょろしやがって……
た…武さんもう にげるのやめたほうがいいよう
どうせ すぐつかまっちまうよう
やっかましいっ どうせつかまったっておれたちゃかんけいねえ!
うしろのガキがとっつかまるだけだいっ

ま……またんか――っ
へっへっへ れんじゅうのつらを見ろボビー
みんなひっしだぜ！
ほーれ たまごでも食らって元気だせい
うわっ……
グシャッ
そーら がんばれ もう ひといきだっ
ひっ……
あぶあぶ……
お…おのれ 悪質な窃盗犯だっ
パトカーを出動させろっ
非常線をはれーっ


い…いよいよ パトカーの お出ましだ
もう だめだよ あにき
うるせえってんだよ！ ちくしょう こうなりゃ ヤケだーっ
やれやれ なんとも にぎやかに なってきた もんだぜ
あれれっ なんだい せっかく ひろい道に 出たってのに 追いつかれ ちまうで ねえか……
じょうだん じゃないね
警視
やい 運転手 しっかり しろっ もっと スピード 出ねえのかっ
しょうが ねえなあ …… そんだら まあ おくの手だ

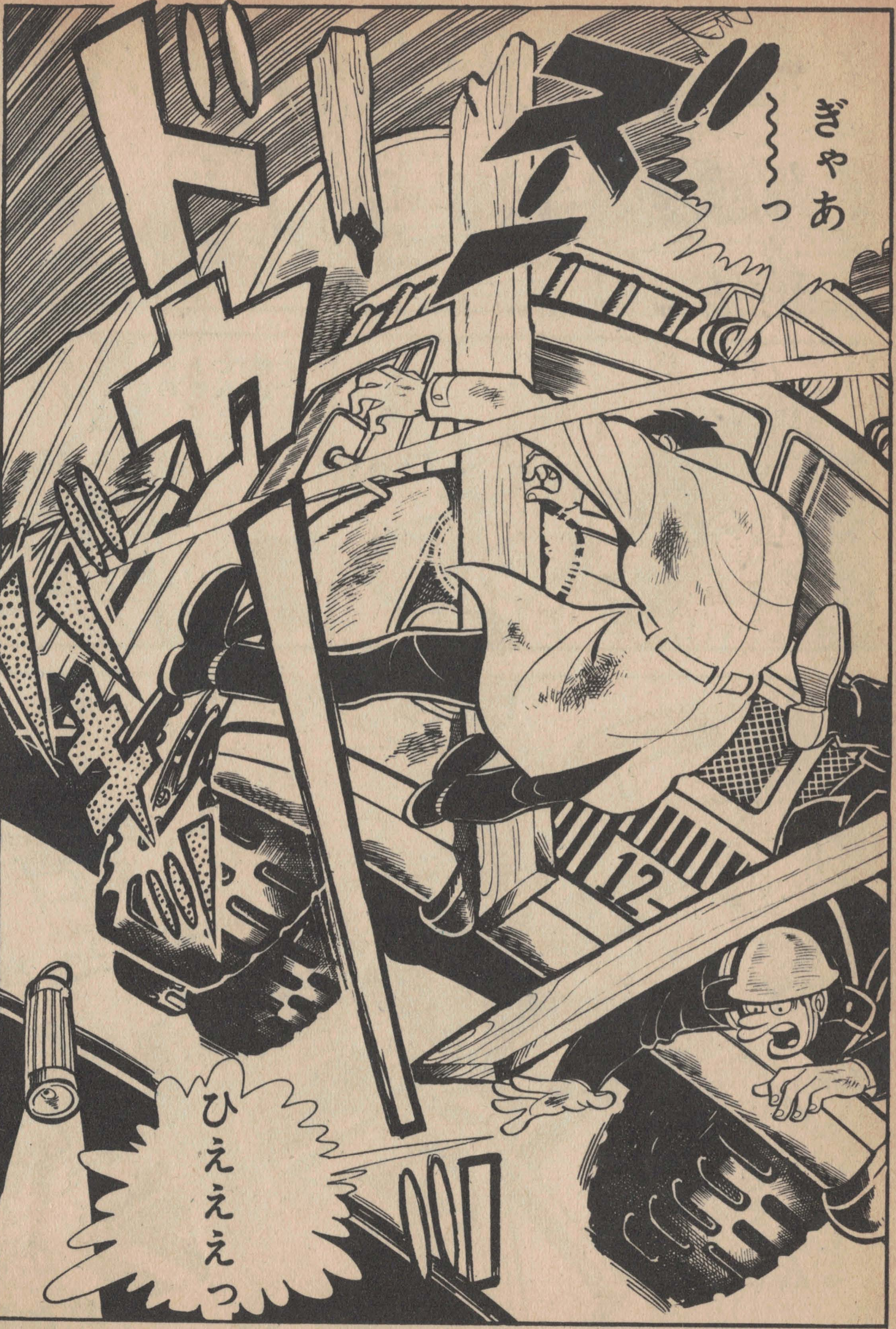

それや——っ
うわっ
ひええ
そーれ それそれ それえっ


はっはっ はっはっはっ どんな もんだい ざまー みやがれっ
な…なんだか いろんなもの パトカーに なげつけてる よう……
お…… おれは もう……
ちーら ないっと
ええい それにしても ゆっくり 走って やがんなあ
じれったくて いらいら してくるだっ
よよっ …… 頭にきて ピストル ぶっぱなして きただな
おっと あぶ ねえ!


うわっ……
どけい この!
おらが 運転して やるだっ
お…おめえ 免許は…… 運転 できるのかっ
そんなもん いつか このトラックで しょうとつ 事故を おこした ときに やったきり だいっ
た…… たすけて けれ…… 神さま
ゲバゲバ ……
さあて 本格的に ぶっとばす ぞ——っ

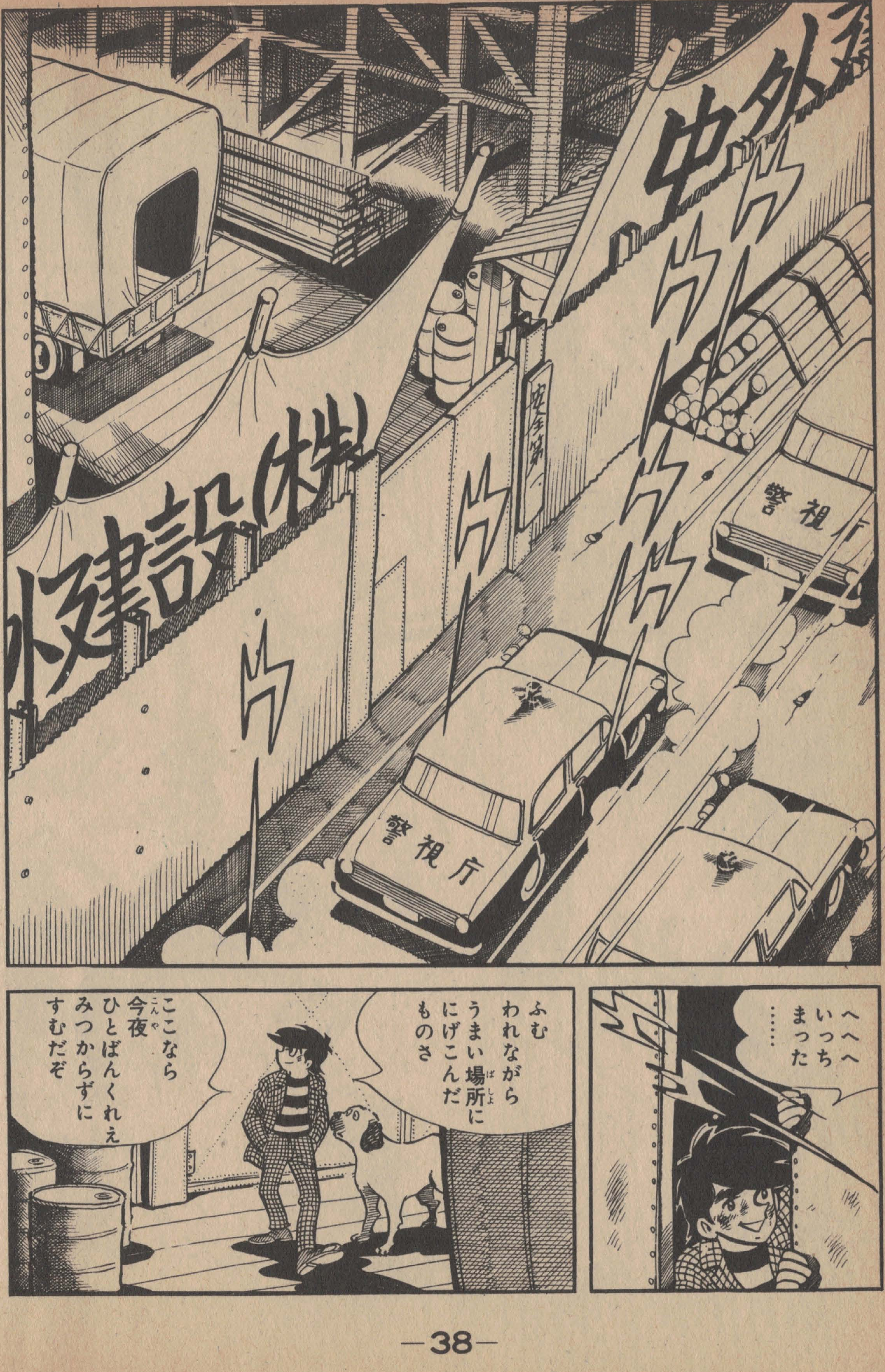

うわぁあ——っ
あ……あああ……あ


停止せよ！
そのトラックすみやかに停止せよ――っ
ひ……非常線だ……
いよいよねんぐのおさめどきか……
……
あ……あぶない
つっきるつもりですにげてくださいっ
うわぁあ……
と……とまれっとまらぬか――っ

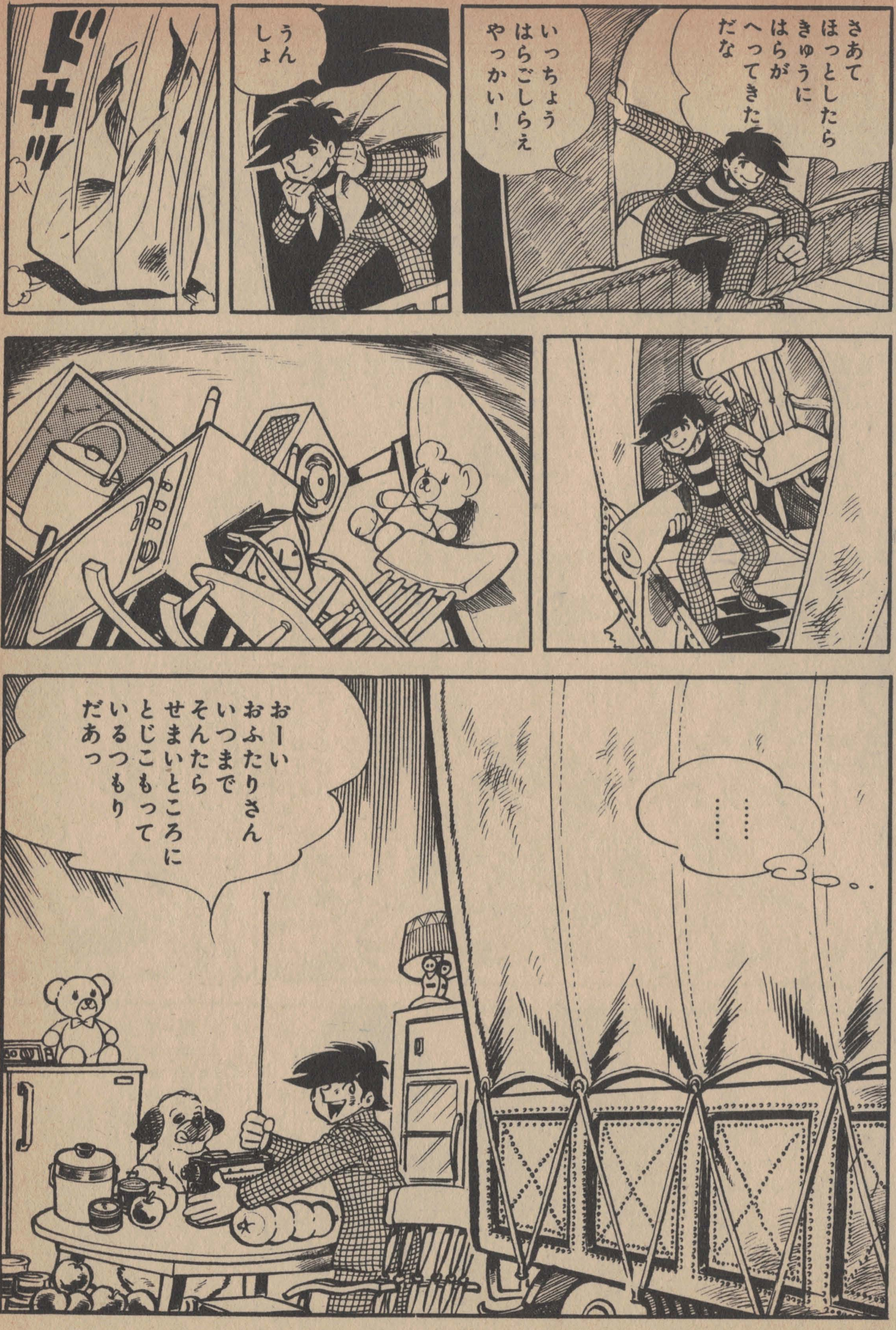

ぎゃあ〜〜っ
12
ひえええっ



ああ～～っ
ま牧村刑事
しっかりしてくださいっ
救急車をよべっ
安全
中外建設

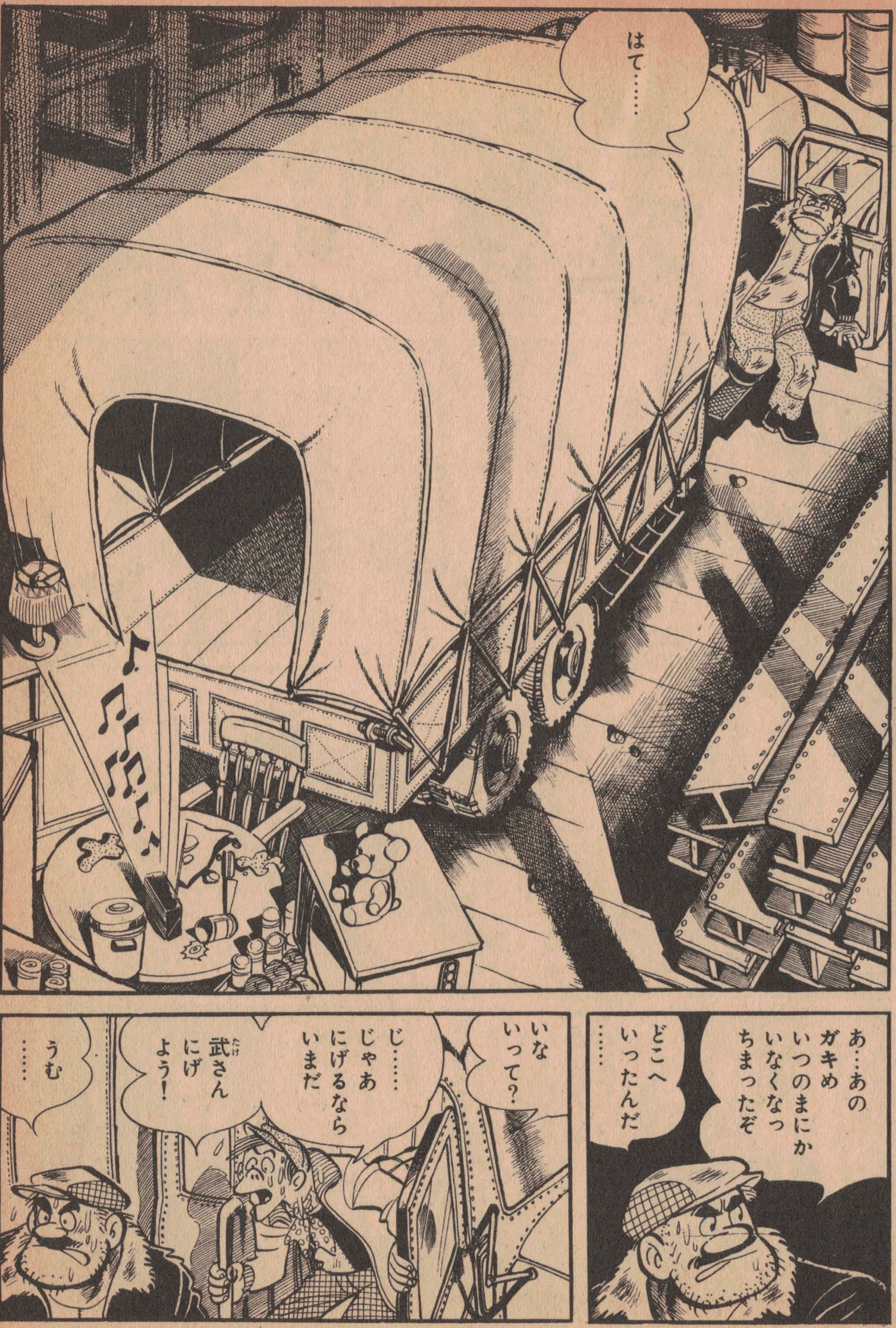


建設(株)
安全第一
警視庁
警視庁
ウウウ
へへへ いっちまった……
ふむ われながら うまい場所に にげこんだ ものさ
ここなら 今夜 ひとばんくれえ みつからずに すむだぞ

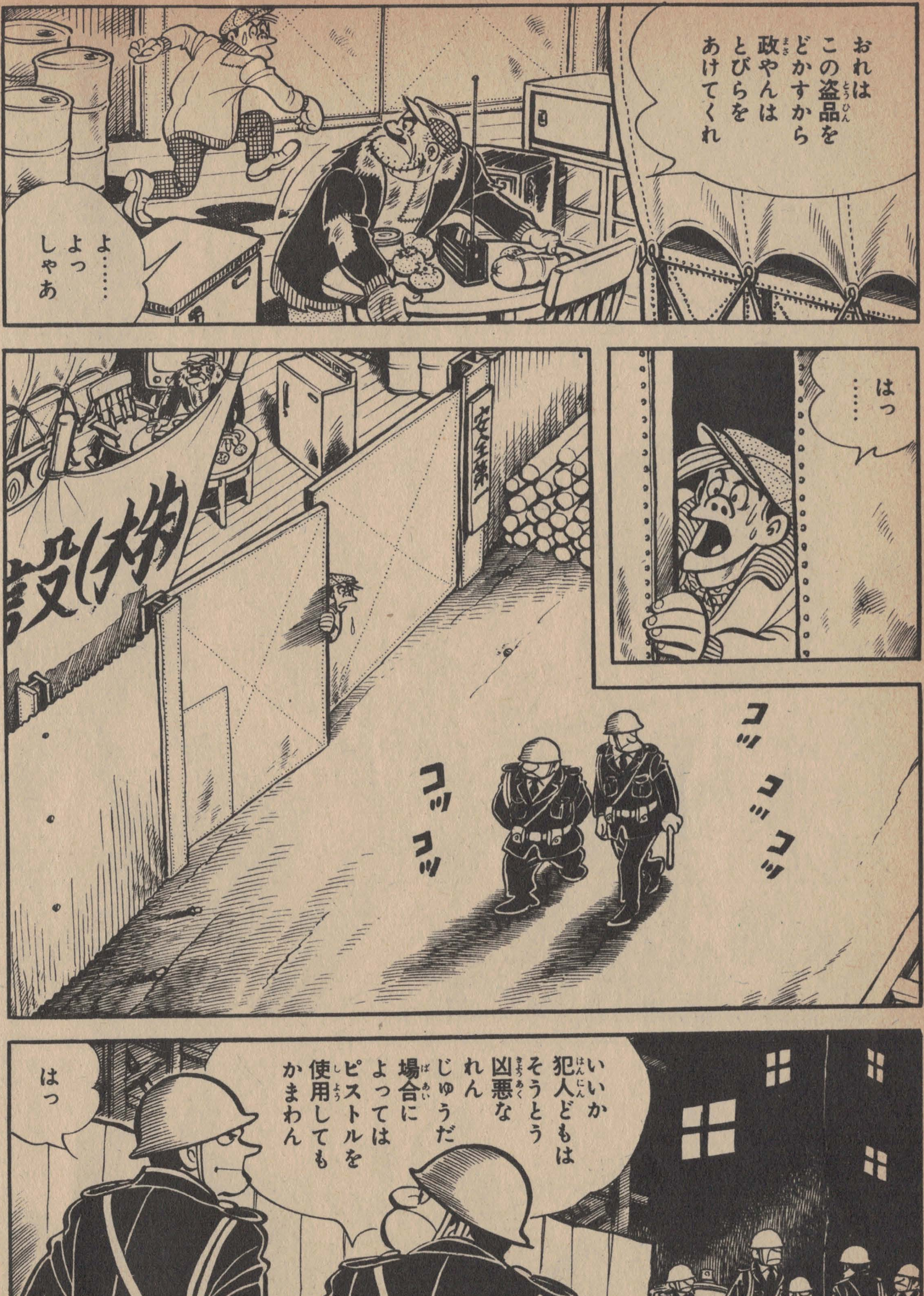

さあて
ほっとしたら
きゅうに
はらが
へってきた
だな
いっちょう
はらごしらえ
やっかい!
うん
しょ
ドサッ
おーい
おふたりさん
いつまで
そんたら
せまいところに
とじこもって
いるつもり
だあっ
……
……



ようよう そんたら とこで ふるえて ねえで
外へ出て いっしょに めしでも 食わねえ かや？
ぷーッ
なんて こったい
ふたりとも きんちょうの あまり 小便 もらし ちまってるだぞ
あっはっ はっはっはっ なーんて だらしのねえ おとなたちだ
あ……あの 盗品の山を 見たか 武さん…… いつのまに あんな べらぼうな ……
そ…… そんな ことより あのガキは とんでもねえ 狂人だぜ
このちょうしだと このさき なにを しでかすか わかったもんじゃねえ
うおおーっ ひとあばれ したあとの めしちゅう やつは うめえもん だなあ
それは そうと…… さっき トラックの なかから 見かけた女は どこのだれ だんべ……
なんやら どこかで あったことが あるような 気がする だが……



はて……
あ…あのガキめ いつのまにか いなくなっちまったぞ
どこへ いったんだ ……
いない って?
じ…… じゃあ にげるなら いまだ
武さん にげ よう!
うむ ……


おれは この盗品を どかすから 政やんは とびらを あけてくれ
よ…… よっ しゃあ
はっ……
安全第一
コッ コッ コッ
コッ コッ
いいか 犯人どもは そうとう 凶悪な れんじゅうだ 場合に よっては ピストルを 使用しても かまわん
はっ


た……
武さん
……
そとは
警官が
うろうろしていて
ぶっそうなことを
いってるよう
しっ
しずかに
……
ただいま
はいった
ニュースに
よりますと
三人組の
窃盗犯は
深川近辺に
せんぷくして
いるもよう
なお　さきほど
トラックが
非常線を
突破したさいに
はねとばされた
警官は　病院に
はこびこまれる
とちゅうで殉死
牧村刑事も
全治三か月の
重傷で
もよりの
救急病院で
手あてを
うけて
おります
きいたか
政やん
……
殉死だと
し……
死んじ
まったのか
警官……


三人組の窃盗犯だとよ……
われわれも犯人と思われているんだ
じ……自首しよう武さん！
警察へいってやったのはわれわれじゃないことをせつめいするんだ！
むだだい……
トラックはおれたちのもんだし
……だいいちあのこぞうが無免許なのを知ってて運転させたんだから同罪だ
運転させたわけじゃないむりやり運転台にのりこんできたんじゃないか！
あいてはガキこっちはおとなふたりだぞ
そんなこと警察で信じてくれると思うかっ
じゃあ……
じゃあおれたちはいったいこれからどうすりゃいいんだよう
……
すきをみてやつをとっつかまえるんだ……
とっつかまえて警察へつき出すんだ！
とっつかまえるだと……？


おらが おまえらに つかまるほど のろまかねえ ……?
ひゃあ うわあ〜っ
ふふふ すっとんきょうな 声を あげるでねえ バカめが
そのへんを うろうろしている 警官に きかれたら どうするだい
な……なんだ こぞうか……



さーて こんな 建築現場に くすぶって いたって はじまらねえさ
いっちょう 脱出する さいくでも おっぱじめるかい
な……なんだ そりゃあ……
また なんか ぬすんできたのかっ
まあ いいから こいつでも かぶんな
ここの現場で はたらいて いるように 見せかけるんだ
そらよ お面も つけるだ 顔を おぼえられちゃ あとあとが やっかいだからな!
……
……

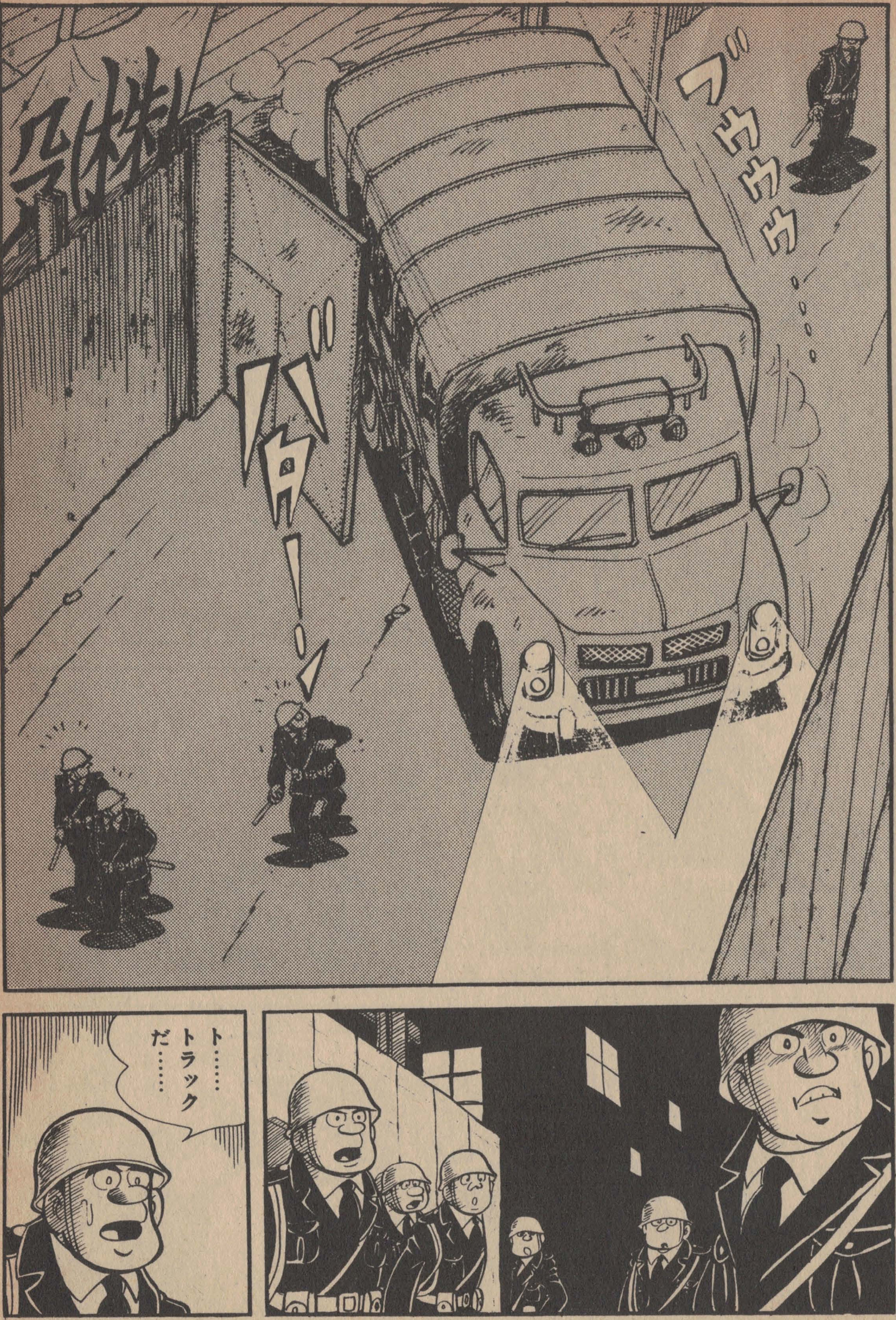

ぷっ……かんがえることはやっぱりガキだぜ
お面なんぞかぶったらよけいあやしまれることくらいわからないのかねぇ
よけいなことをいわねえでいわれるとおりにしろっ
なんだそれは……
ペンキとナンバープレートさ
トラックも変装させねえとな
ベタ
ベタ
ベタ
ベキ
ベキ



やい こぞう
おまえは さっき はねとばした 警官が 死んだことを 知ってるのか
警官は 殉死 刑事は 三か月の 重体だ そうだ
おらの 知った こっちゃ ねえ!
つっ走る トラックの 前に 立ちはだ かるのが わりいだ
な…なん だって おまえ ぬすみなんぞ はたらくんだ
この 盗品の山を どこへ しまつする つもりだ!
どこへも しまつ しねえ
おも しれえから ぬすんだ だけだい
おもしろい だって ……?


ああ おもしれえ だとも!
おら どういうわけか しらねえけど おとなたちが あわてたり こまったりするのを 見ると むしょうに おもしろく なるだ
からだじゅうが ぞくぞくと ふるえるほど たのしく なってくるだ!
おめえらが そうやって おびえたような 目つきで おらを 見ると ますます うれしくなって くるだぜ!
へっへっ へっへっ
さあて できた!
あとは そのへんに ころがっている 鉄材だの セメント袋だのを 荷台に つめこむだ
あ……

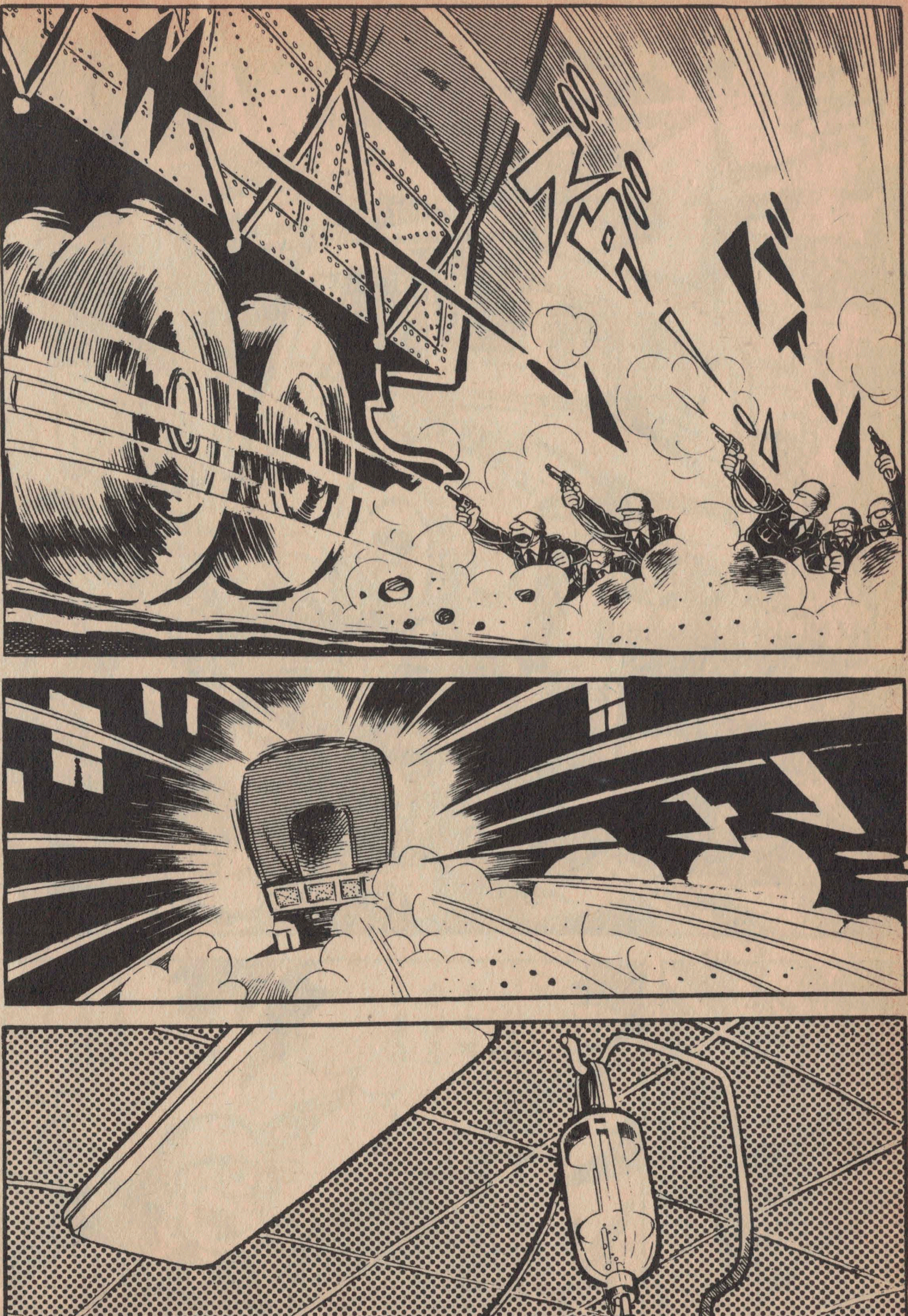

よーし つめこんだら ふたりとも お面を かぶって このうしろに かくれてな！
運転は おらが していく
ま また 運転を……
どうした のるのか のらねえ のかっ
の…… のるよ……
ほれ はやく しろいっ
さあ 出発するぞ へたに 顔を 出すと ピストルで うたれるかも しれねえから 気をつけろ！
ピ…… ピス……
あーくそ どういうわけか あいつの目に にらまれると ふらふらっと いうとおりに してしまう……


ブゥゥゥ……
バタ!!
ト……トラックだ……

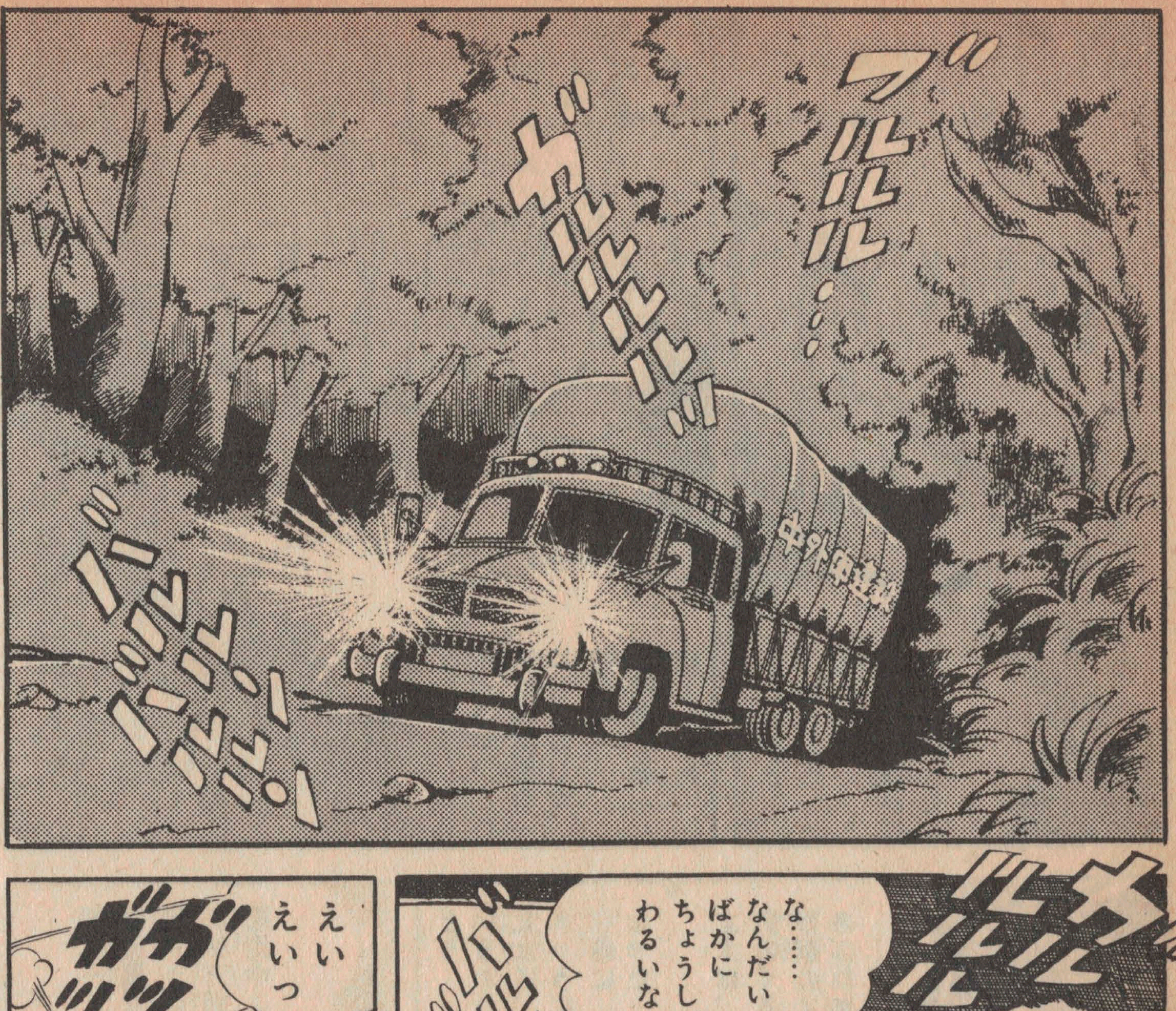


中外建設のトラックだぞ
中外建設
いちおうとまれっ荷台をしらべるんだ
ううっ……
と……とまれっ 命令だ とまれえっ
ふふふ……
う……うわあ……
ば……ばけものだ――っ


はっはっはっはっはっはっ……
と……とまれ〜〜っ
とまらないとうつぞ〜〜っ




三人組の窃盗犯はそれぞれお面をかぶりトラックをぬりかえて浅草方面へ逃走しました
またそのさい多くの警官をはねとばして数名の重軽傷者を出しました
浅草寺わきにある古物商にお面をかぶった三人組がおしいり
仏像やよろい名刀など数百万円もする品をうばって逃走
また すぐそのあとに南千住の川上時計店につっこみ
時計や貴金属などを数点うばって三輪方面に逃走中――
どういうわけか立太は、きゅうに狂暴になった……。
立太は、気のくるった野獣のようにあばれまわった……。
お面をかぶった立太が、トラックにのってあらわれると、世間の人々は、ふるえあがった。


ブルルル…
ガルルルルルッ
な……なんだい ばかに ちょうしが わるいな
えい えいっ
ガガッ
ガガガガ ガーッ
け2914


とまっちまった……
ボビーはそこでまってろ
パン
パン
おいトラックがうごかなくなっちまったよ
前へきてなおせ！
なおせといってるんだぞきこえねえのかっ
わ……わかったよ……



ちえっ こりゃあ ガソリン エンコだ
ガソリンが すっから かんだよ
こんなところで とまったきりじゃ しまつに おえねえだぞ
なんとか しろっ
やれやれ ……
なんとか しろっ たって ……
この トラックだ おして うごかすわけにも いくまい
くそう……
いっそ こんなときに パトカーでも あらわれて とっつかまえて くれりゃ いいんだ!
ダン
パ
パ…… パトカー だっ……
ううっ ……
ウウ

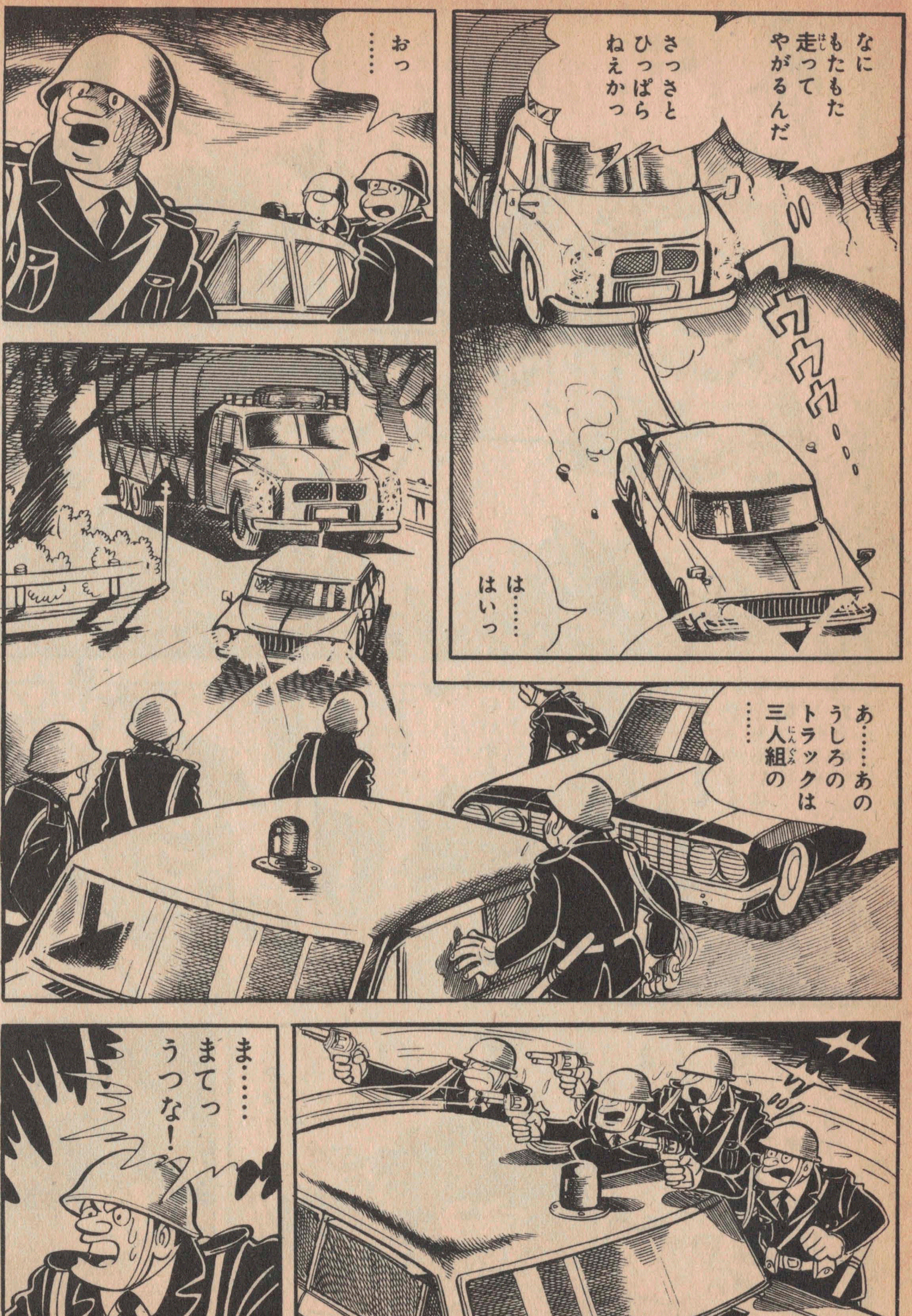

ガサ
……
ふふふ……パトカーがあらわれりゃいいといったくせにそのあわてかたはどうしたい
しんぱいするなパトカーなんかじゃねえただの乗用車だ
ちょうどいい……
とまれえ〜〜ッ
なんだ……どうした?


このトラックをガソリンスタンドまでひっぱっていけ！
なにい……
なんだいものをたのむのにその口のききかたはっ
もんくあっか？
ふざけるなこっちゃいそがしいんだどけえ〜〜っ
ド
う……うわぁ……
そ……そのお面は……
トラ……トラック三人組の強盗……


ひっぱって いくのかい いかねえ のかい
い…… いきます …… いきます です
ドカッ
ロープは 荷台の なかだ ぐずぐず するなっ
ほう 親子づれ かい
ガキを こっちへ よこしな!
あっ 健ちゃん
へんなまね しやがったら このガキの どたま ぶち ぬくだぞっ
ああ ……
い……いう とおりに しますから どうぞ 子どもの いのちだけ は……

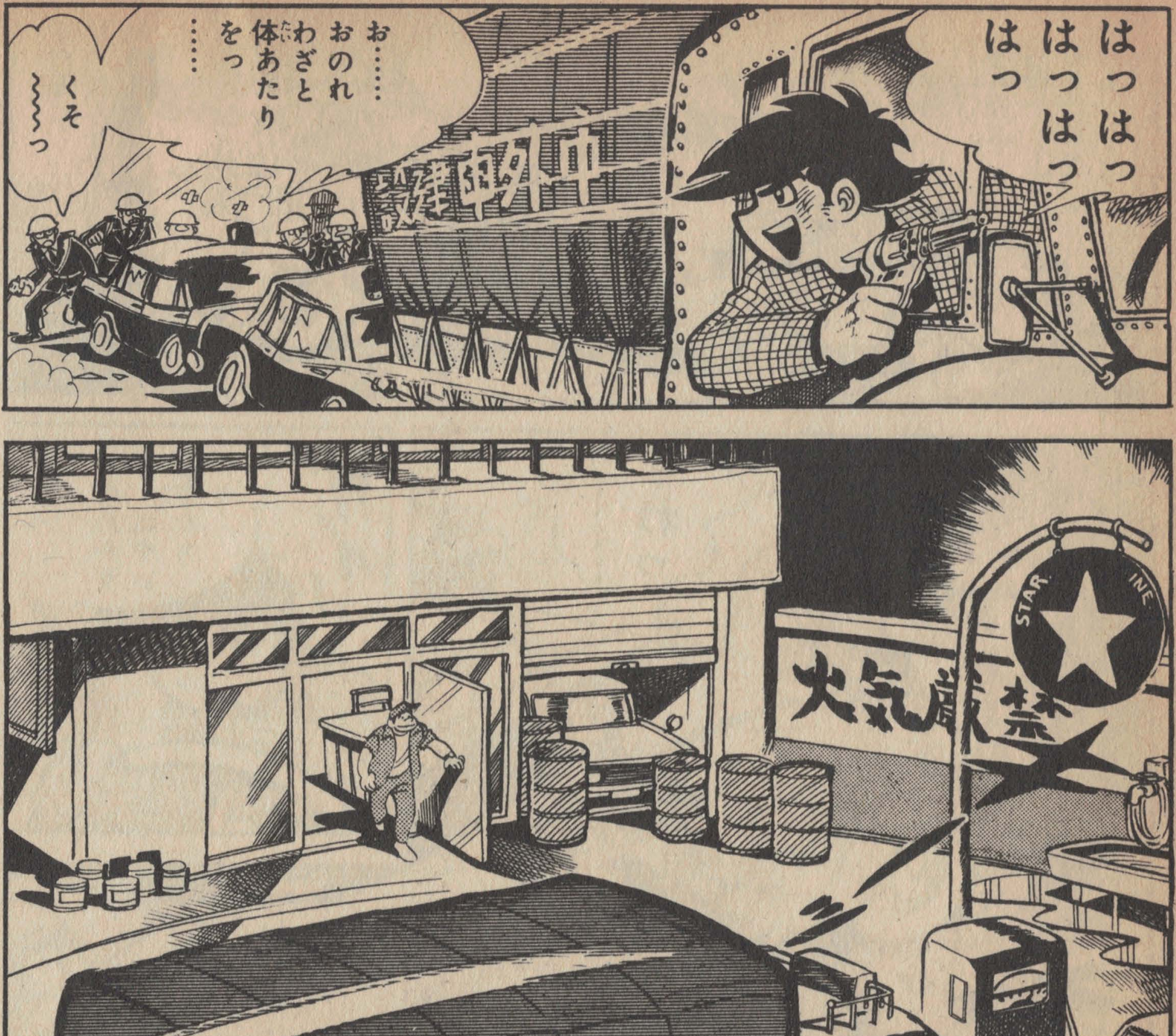

おい そこの ふたり！ ぼうっと してないで ロープ かけるの てつだって やれよっ
ブウウーッ
ふふふ…… このあいだ 警官を ひき 殺したときに ひったくって やっただが
ピストル ちゅうもんは べんりな もんだで


やい どうしたっ なぜこんな場所に、とめるっ
ガ……ガソリンスタンドはこのさきの国道ぞいに見えてきたけど……
パトカーが数台待機してます
ふん パトカーがなんだ
いいからいけっ
で……でもひょっとしてうちあいになったらわたしらまでが……
いやならいいだよ こいつのあたまをうちぬくだけさ
ゴリッ
う……うわあまってください
いきます いきますっ


なにもたもた走ってやがるんだ
さっさとひっぱらねえかっ
ウウウ…
は……はいっ
おっ……
あ……あのうしろのトラックは三人組の……
ま……まてっうつな!



前の車にひっぱらせているんだ
それに……運転席に人質をだきこんでいる
ブルル----
へへへ……ものわかりのはやい警官たちだぜ
グイッ
う……うわっ
ズズズーッ


はっはっ
はっはっ
はっ
お……
おのれ
わざと
体あたり
をっ
……
くそ〜〜っ
火気厳禁


さあ おりるだいっ
あ……あの わたしたちは これで……
子どもを かえして ください
うるせえ まだだっ
おい トラックに ガソリンを まんタンに しろ!
OIL
それから あそこにある ドラムかんにも ガソリンを みたして 荷台に つみこむだっ
よう おふたりさん!
のんびり かまえて ないで ドラムかん はこぶの てつだい なっ
さてと……
それから おまわりさんたちよ
全員 ピストルを すててもらおうかね


いわれたとおりにしねえとこいつのあたまにいっぱつ食らわすだぞっ
す……すてろ!
くっ……
おっと おらの足もとになげてもらおうかい
ガシャッ
ガシャッ
ガシャッ
ガシャッ
よっしゃ あとはおらがいいというまでそこのかべにむかってつっ立っとれ
へたにうごくとすぐぶっぱなすだぞ!

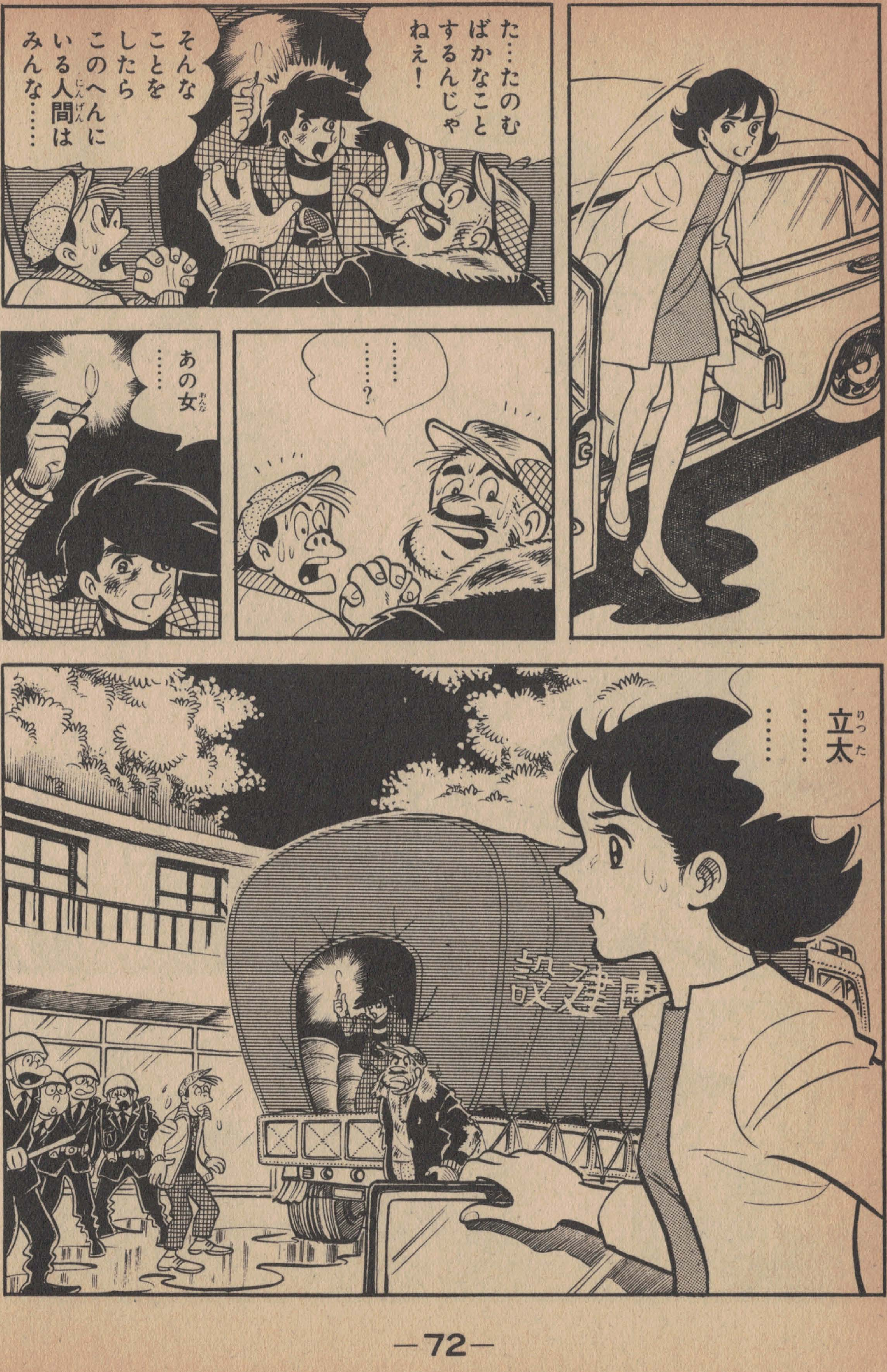


へへへ……
これだけありゃあそうとうな戦力だ
よしぼうずおめえはもういってもいい！
健ちゃん！
さ……さあいこう
まてぇうごくなーっ


おめえらも あのかべに むかって 立ってろっ
そ…… そんな ……
よせよせ 親子づれを おどかし たって しようが ないだろ
それより ガソリン つめこん だぜ!
よっ しゃあ
うわっ
な…… なにする 気だ おまえ!
いいから トラックを 走らせろ!
ドクドクドクドク
この 給油所から できるだけ 遠くに はなれるだっ
ううっ ……



あ……
あぶねえ!
ばかなまね
やめろっ
気でも
くるっ
たかっ
うるせえ
さっさと
トラックを
走らせろと
いってるだっ
う……
うわあ……
あ……
あいつ
このスタンドに
火を つける
つもりかっ……
火気
きゃあ〜〜っ


た…たのむ ばかなこと するんじゃ ねえ！
そんな ことを したら このへんに いる人間は みんな……
……？……
あの女……
立太……

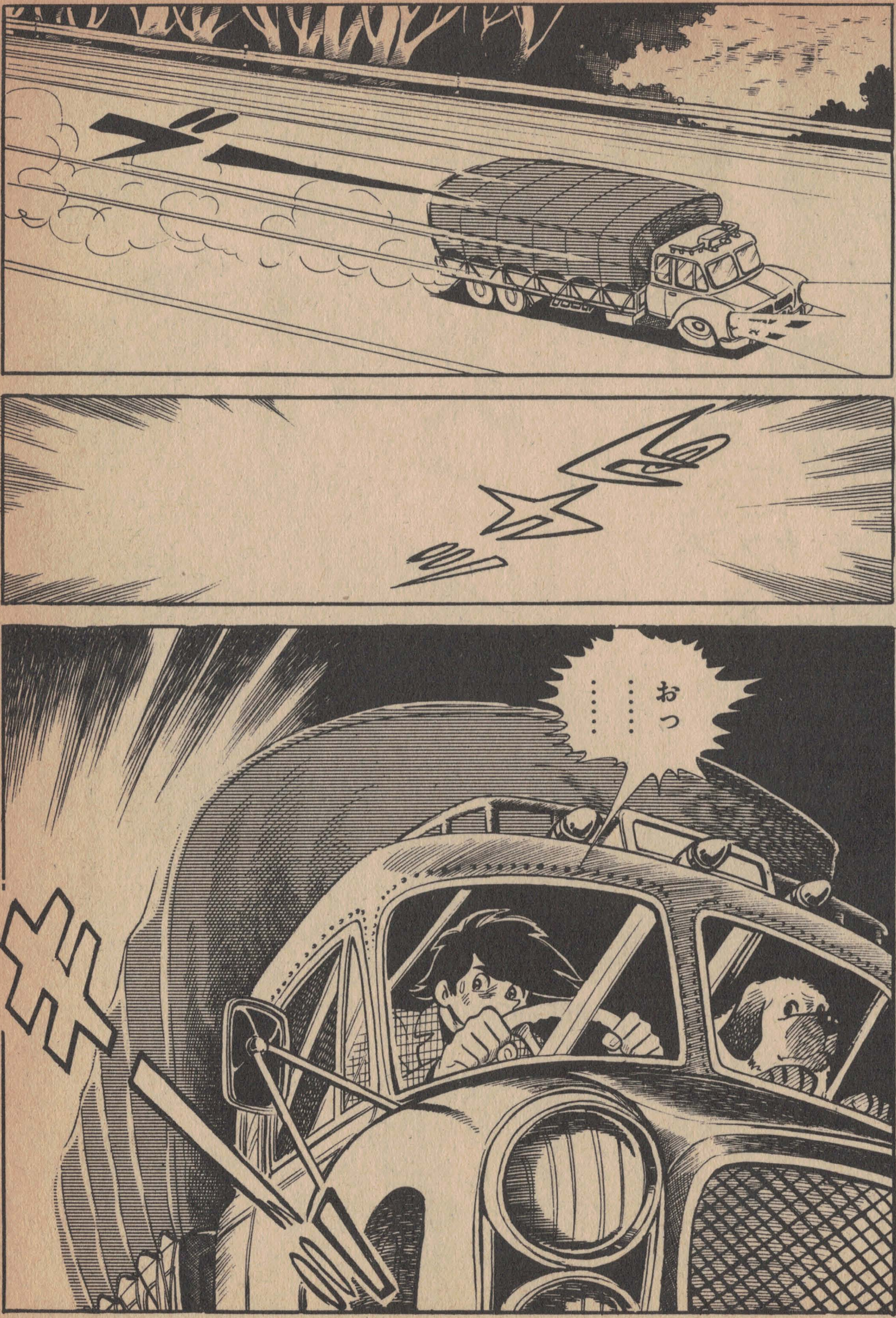


み……みんななにぼさっとみとれてるんだっ
避難するならいまだっ
は……はやくにげろっ
う……うむっ
ダダダダー
それより消火器を……
消火器はどこだっ
きゃー
ひーっ
……
まちがいない……
あの顔はたしかに死んだはずの立太……


あ……
あつう
あちゃっ
た……
武っ
政……
ばかやろう
どこまでぐずなんだおめえらふたりはっ
ああう
わあ……

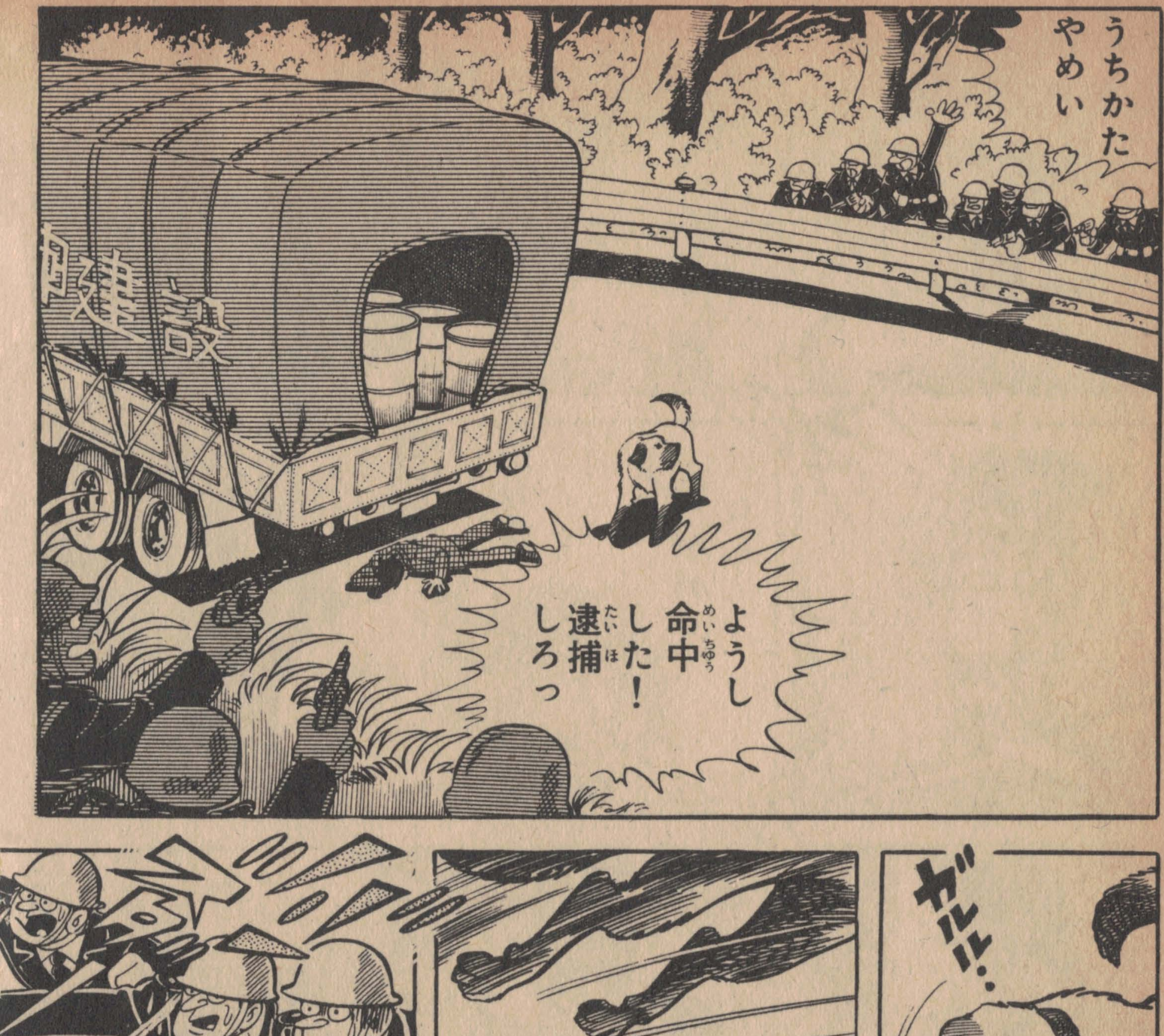

はやくトラックにのりこむだっ
ぼやぼやしとるとこの給油所ごと　あの世ゆきだぞっ
しかたがねえ運転は　おらがする！
はやいとこ服をぬいでもみけすだっ
ど……どこのだれだか　知らねえだが
そんなところにつっ立っているときれいなお顔もおべべもだいなしだぜっ
うわっ……くっくそう
あちい〜〜っ服がぬげねえよ武さんっ

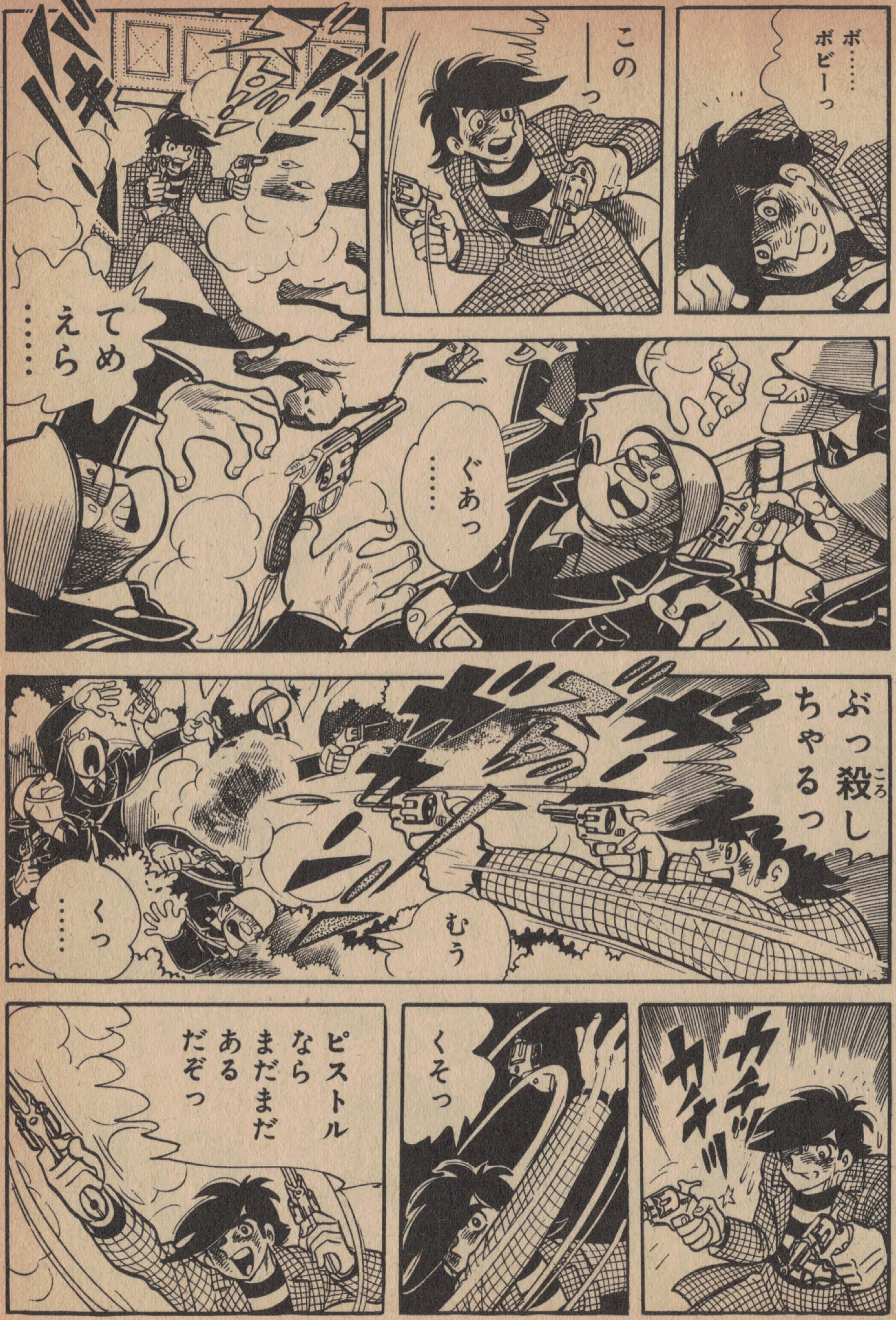

あーっ
じょうだんじゃねえ かんがえてみりゃ このドラムかんのなかにはガソリンがつまってるんだぞ
こ……こいつに引火したら……
あ…あちい なんとかしてくれーーっ
とびおりるんだ 政っ
うわっ……
ドサ
ドサッ
あ……ああっ
うぐぐぐ……っ

おっ……

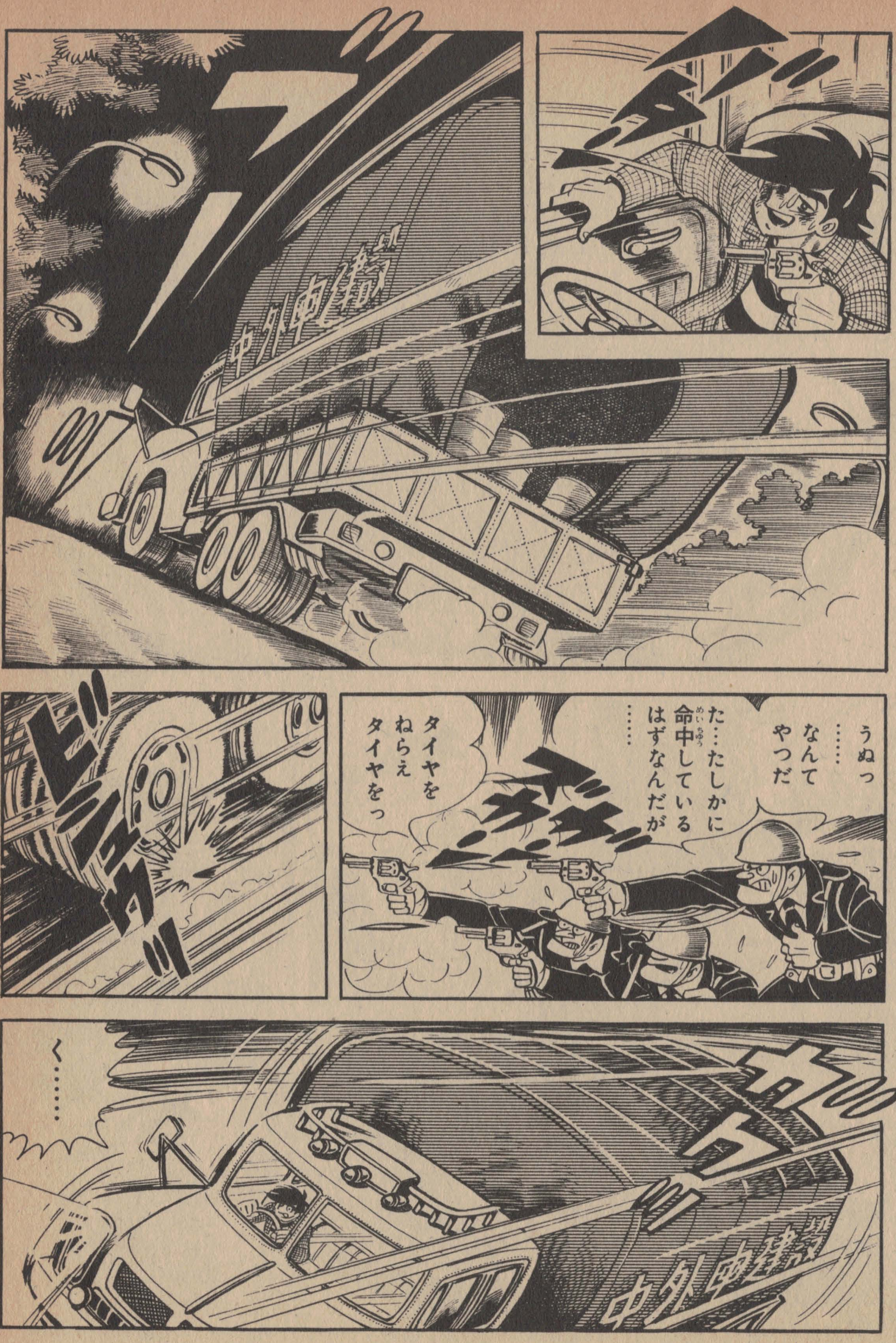

ズズウウ
や……
やった
……
見ろよ
ボビー
あの
でっかい
火柱を
……
きれい
じゃ
ねえ
かあ!

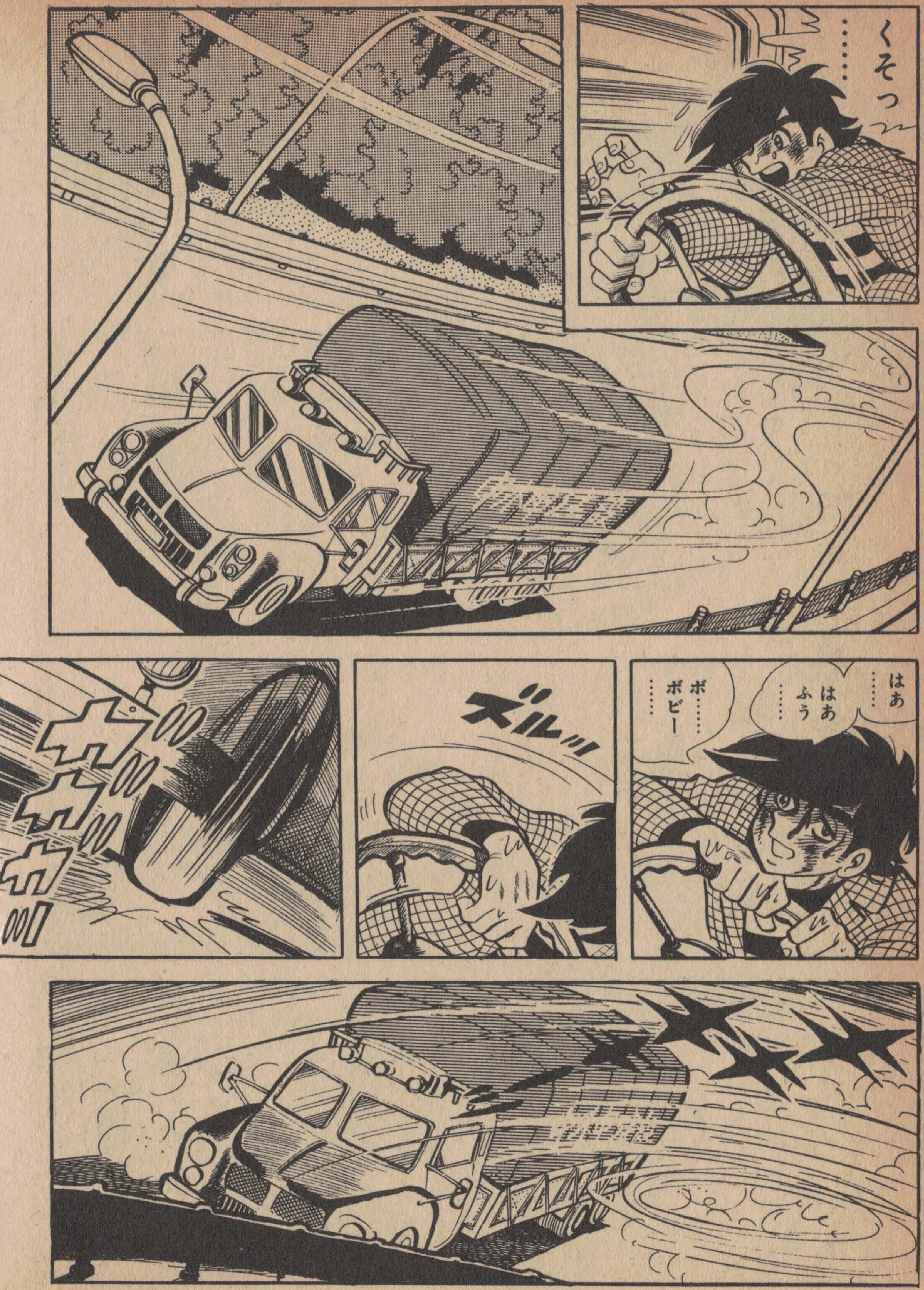

ようおふたりさんどうしたい火はきえただか？
ちょっと外へ出て……
い……いねえ……
あのふたりがいねえ！
うっ……
あ……ううう……


うちかたやめい
建設
ようし命中した!逮捕しろっ
ガルル!!
ドワーッ
キャイ〜〜ン

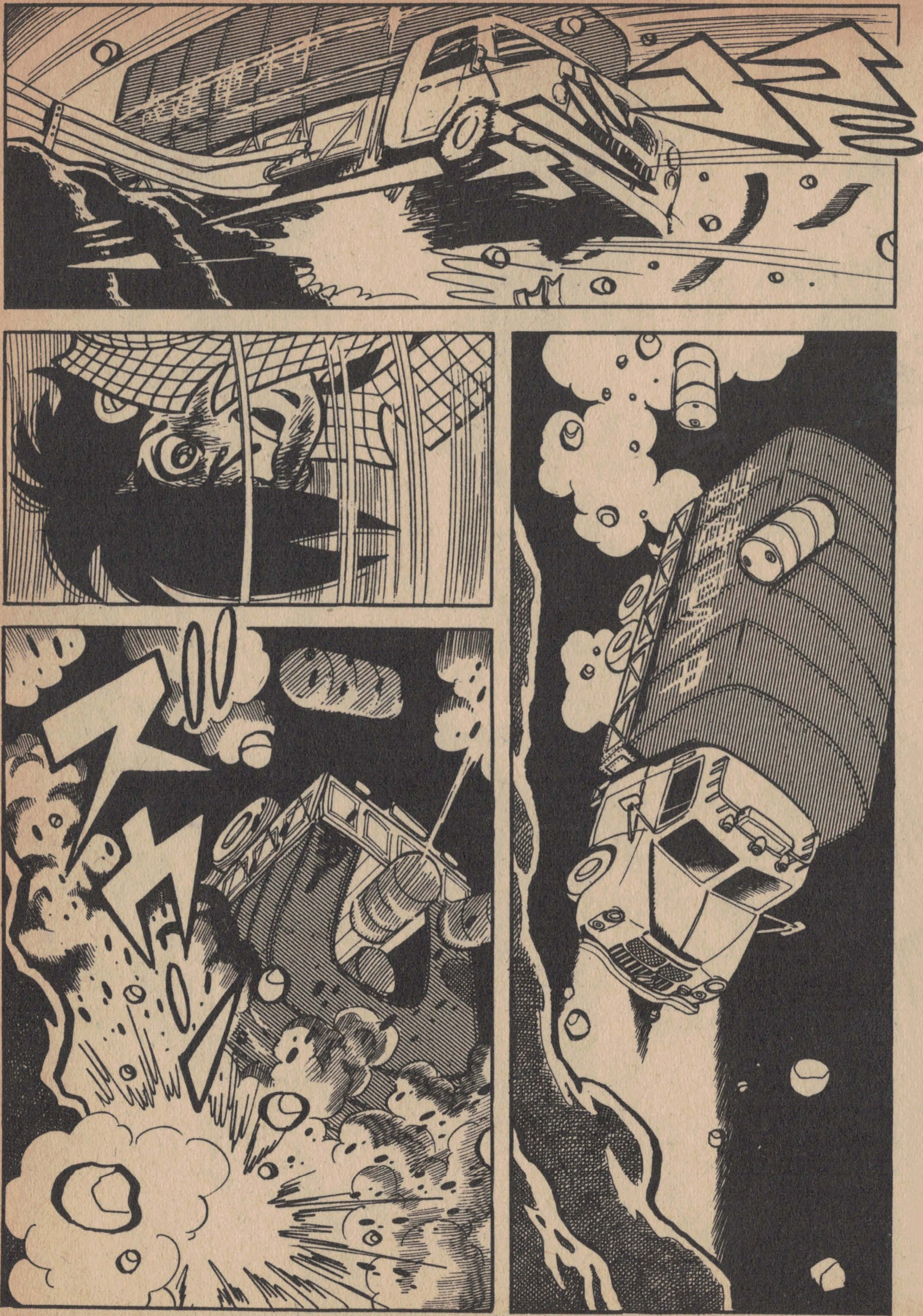

ボ……
ボビーっ
この——っ
てめえら……
ぐあっ……
ぶっ殺しちゃるっ
むう
くっ……
カチッ
カチッ
くそっ
ピストルならまだまだあるだぞっ

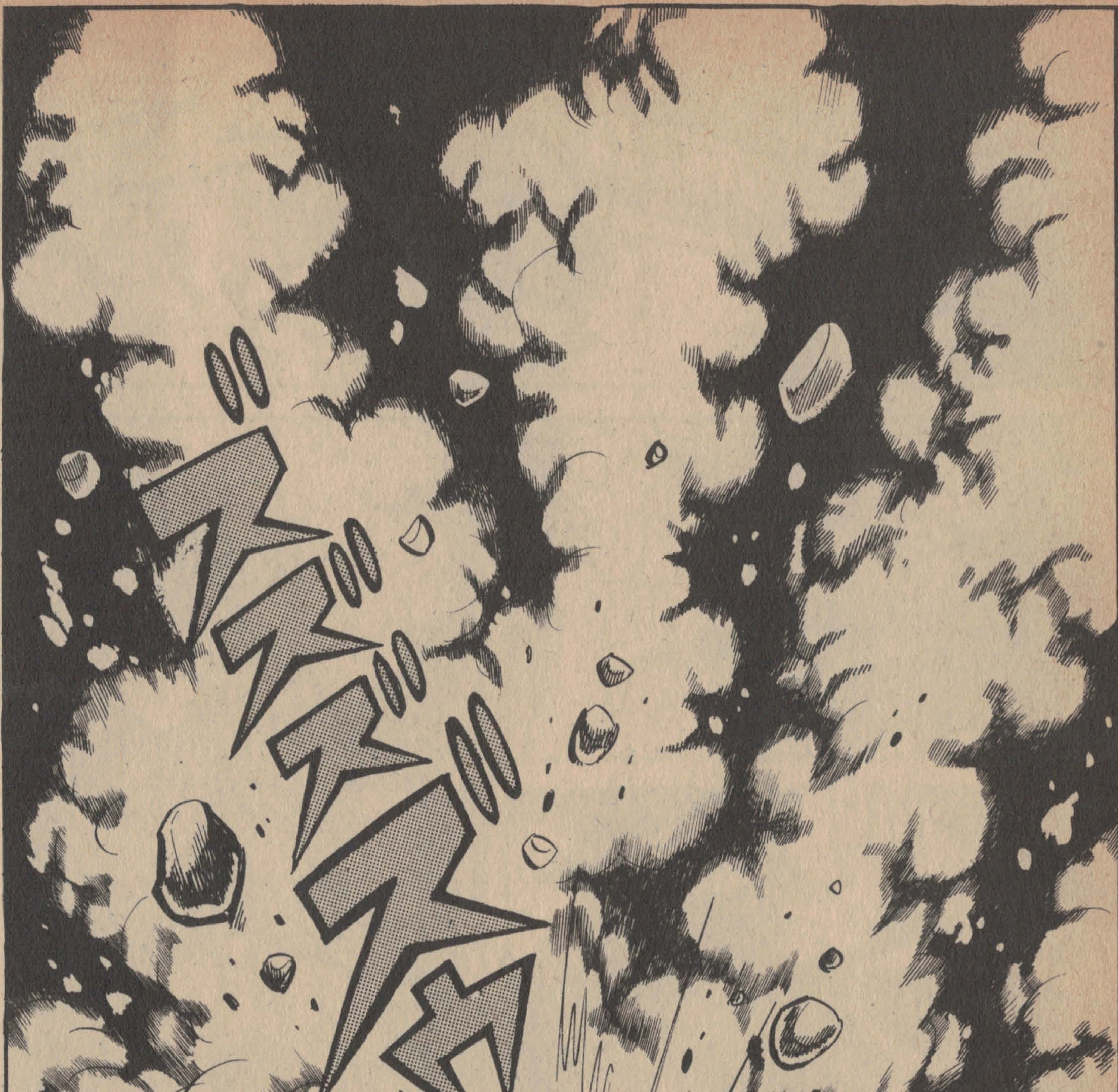

はあ はあ
はあ
ボ……ボビー……
ボビー ようっ
う……
ボ……ボビー……
しっかりしろボビー
ま……まってろよ
いま場所をかえて……
すぐ手あてをしてやっからな
くそうっ

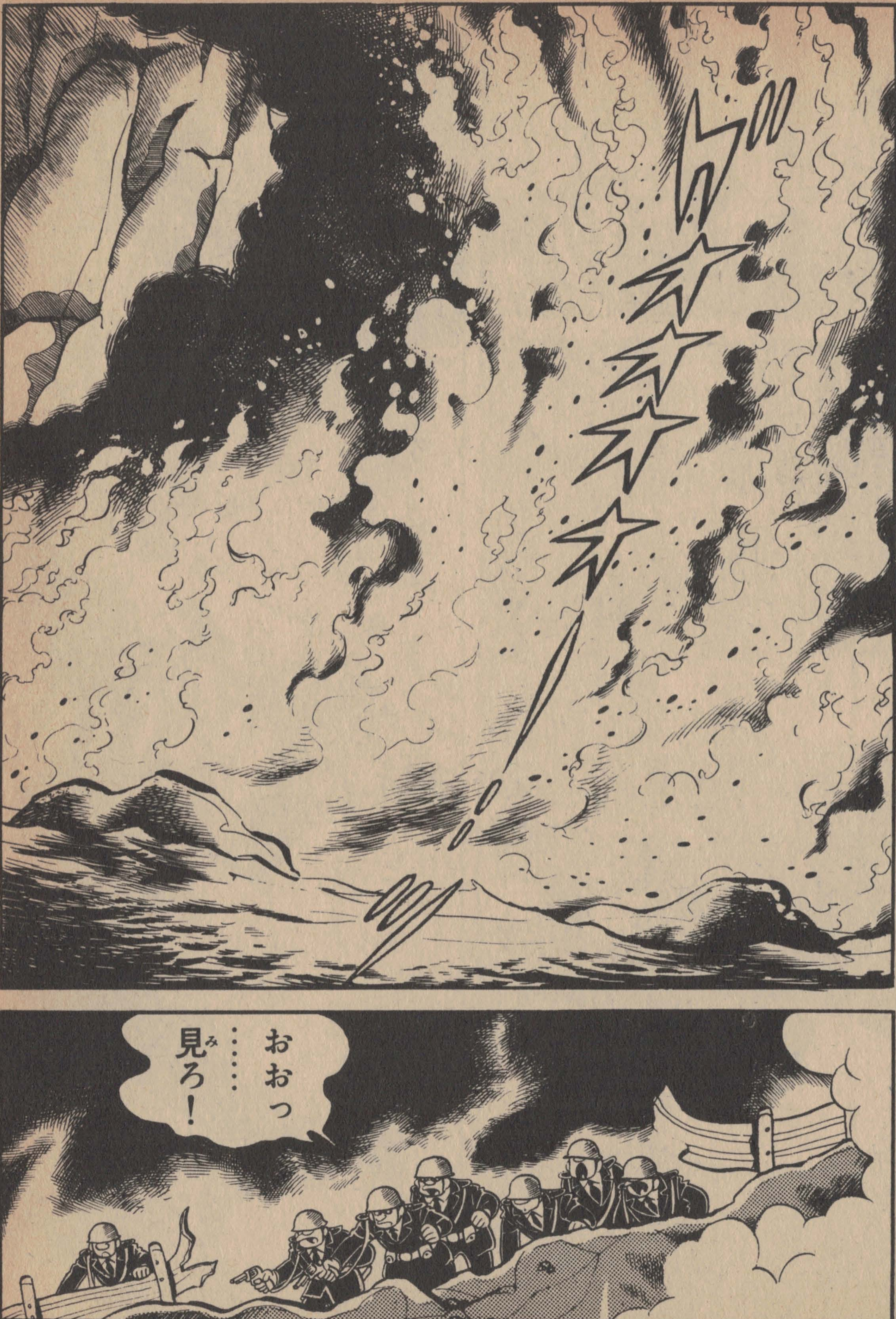

うぬっ……なんてやつだ
た…たしかに命中しているはずなんだが……
タイヤをねらえタイヤをっ
く……



くそっ……
はぁ……
はぁ
ふう……
ボ……ボビー……
ズル







ドォォォォー
おおっ……見ろ！


ゴオーーーー
や……やったぞ……
かんぜんにいったなこりゃあ……
本部へ連絡しろ！
それと救急班をよべ！
はっ


サーチライトはまだこないのかっ
気をつけろ！足場がわるいぞっ
まったく……よりによってこんな急ながけからとびこむとは……
うわっと……
おーい犯人は凶器を持っているんだぞ
用心してかかれっ
じょうだんでしょういくら凶器を持ってたってこのがけからおちたんだ即死ですよ
だいいちあのトラックのもえかたじゃほねものこってないんじゃないか
ゴホンゴホン
パチパチ
パキ
ガソリンをつみこんで自爆するとはしまつのいい犯人だな


キーーッ
どうだぁ死体はみつかったか?
とちゅうの岩にひっかかっているかもしれんぞよくさがせっ
警視庁
ダッ
ちょっとまったあんたはだれです
どこへいく気だ!
そ……そこのガソリンスタンド爆破のときそばにいあわせたものです
トラックはどうなったんです?
もえてますよ岩場にたたきつけられてね
……
こ……こらっどこへいくっ
捜査のじゃまだ立入ってはいかん!
えーいむこうへつれていけむこうへっ


さあ　ここは
あんたのような
むすめさんの
くる場所
じゃない
はやく
車に　のって
家へ　かえ
りなさい！
で…でも
わたし　あの
少年を　知って
いるんです
少年って
……
あの
トラックの
窃盗犯の
ことかね？
わたしの
まちがいで
なければ
あの子は
おさななじみ
……
コトッ
やあ
……
牧村刑事
ごくろ
うさん


犯人は死んだって？
はあ……まだ死体があがったわけではありませんが
それよりそんなおからだで出あるいて大丈夫ですか……？
病院からぬけだしてきたんだ
できればわたしのこの手で犯人をつかまえたかったよ
……なるほど
部長！牧村さんがお見えです
やあこれはこれは
おーいいぬの死がいがみつかったぞ──っ
まっくろこげでけしずみみたいになっとるそうだ
おお……チヨビ……
立太……！


まもなく、
東の空が
しらしらと
あけそめて
――、
そのころには、
現場は
報道関係者や
やじうまで、
いっぱいになった。
しかし、
立太の死体は
どこにも、
みつからなかった。



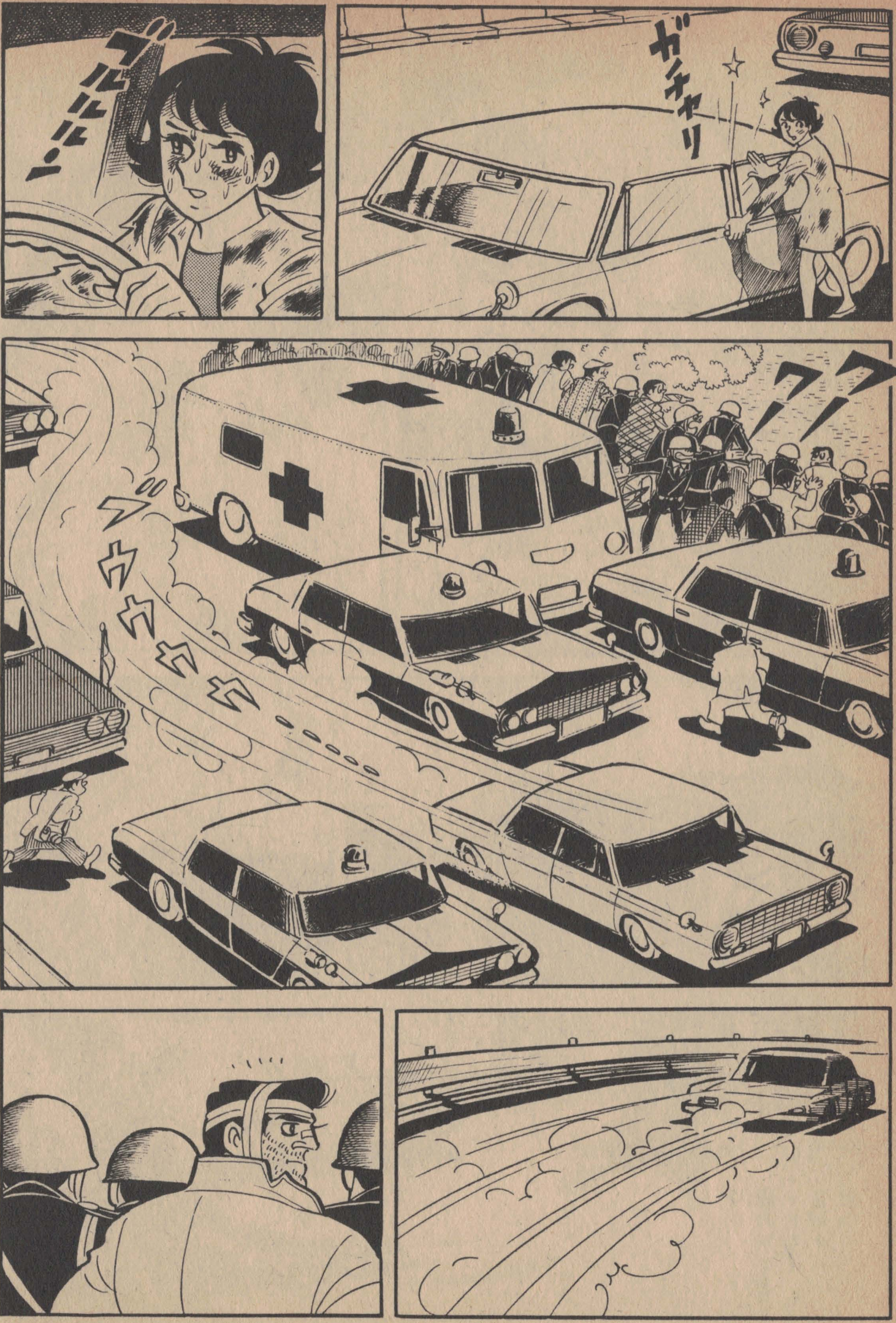
こりゃあ やっぱり 海へ ほうりだされたんだな
波に もっていかれちまったんだよ……
おうい 水上警察は まだ こないのか――っ
犯人は昨夜またガソリンスタンドを爆破したりピストルを乱射したりして 数名の死傷者を出したそうですが
NHK TV
スタンドのサービスボーイ一名
それに警官四人もだ
……
……
ああ……
なぜ ああも気ちがいじみた犯行をつぎつぎとかさねたんでしょうね
わからんな……



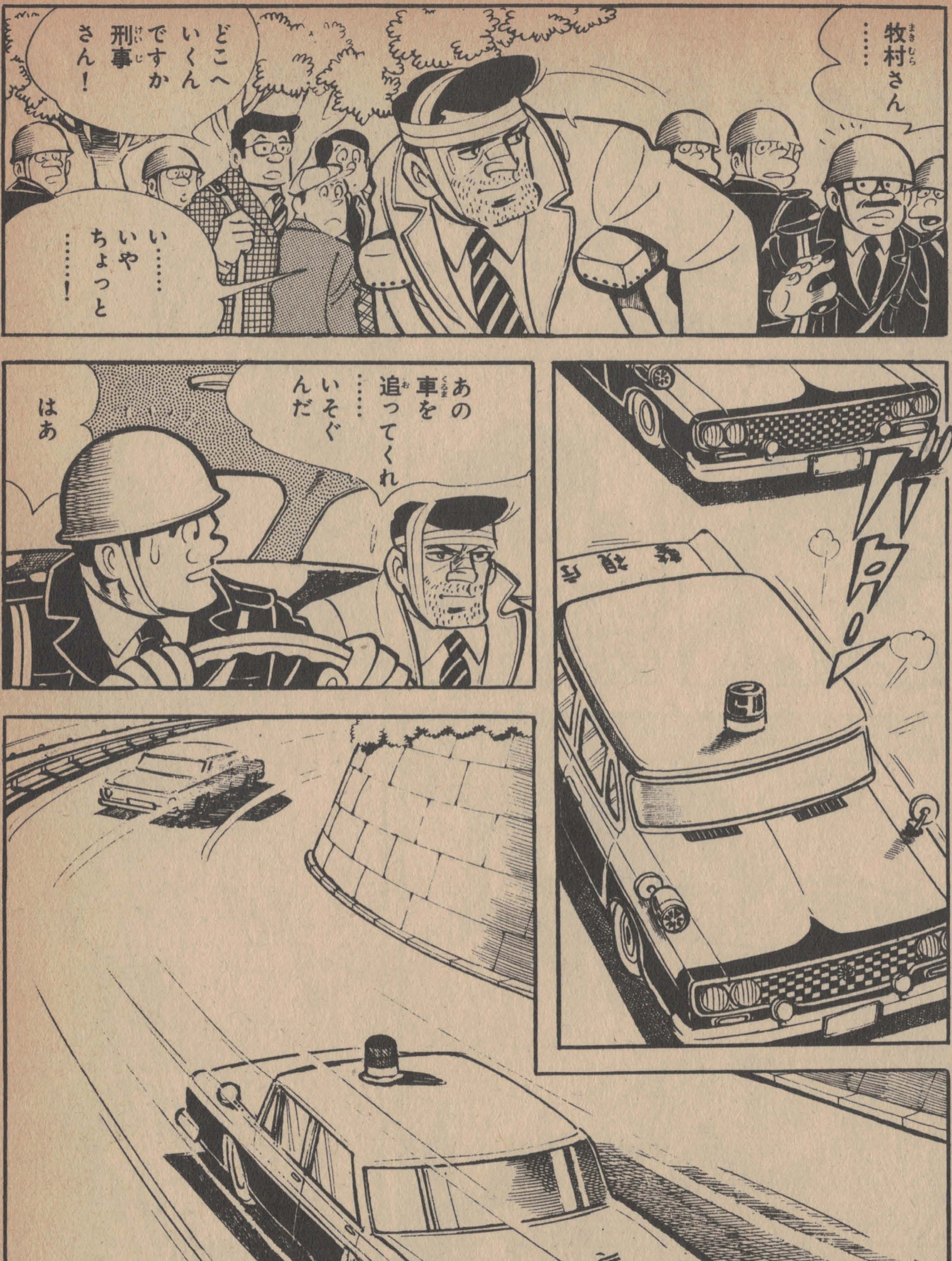
盗品を使用したり金にかえたりすることもなく犯行後すぐにすててしまうようだし
いままでいちども現金をぬすんだという報告もない
ようするに犯行の動機がまったくないのだ
狂人としか思えん
ふーん……
犯人の家族は……?
年令は……
すべて不明だ
わかっているのは死んだあいぼうがよんでいたリッタという名まえだけで……
……
……
NH
あ……あの手……
あの血だらけの手は……


どうか しまし たか？
はっ……
あ…… あそこ……
あそこの 岩かげに いま ちらっと 人の手の ようなもの が……
えっ
ど…… どこです どのへん です？
ほら あの 波うちぎわの 大きな岩かげ あたりに……
お——い そのへんの 岩のかげに 人の手が 見えたそうだ
さがして みろっ
なにっ……


どこだい なんにも ないぞーっ
よく しらべて みるんだ ぐずぐず してると 波に さらわれるぞっ
ちがう ちがう 左だよ 左の岩っ
そこ じゃない もっと 左っ
ズル……
ああ……
ゴロッ
からだが まだ あたたかい……
かすかに 生きてるわ
警視庁
そうだ そのへんだ
その 岩のかげを くまなく さがすんだっ



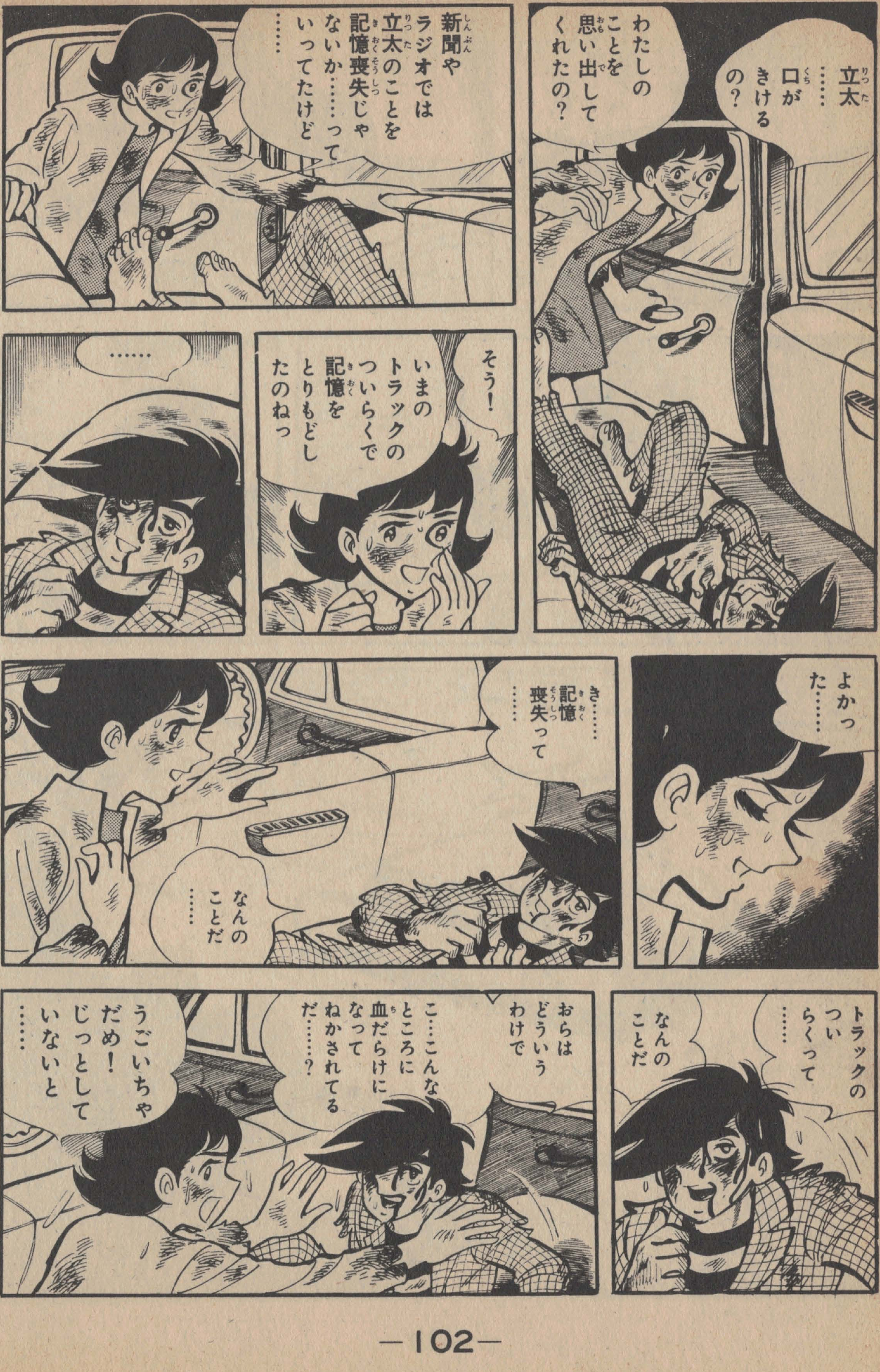
ブルルルーン
ガチャリ
ブウウゥゥ


牧村さん……
どこへいくんですか刑事さん！
い……いやちょっと……！
あの車を追ってくれ……いそぐんだ
はあ
警視庁
警視庁



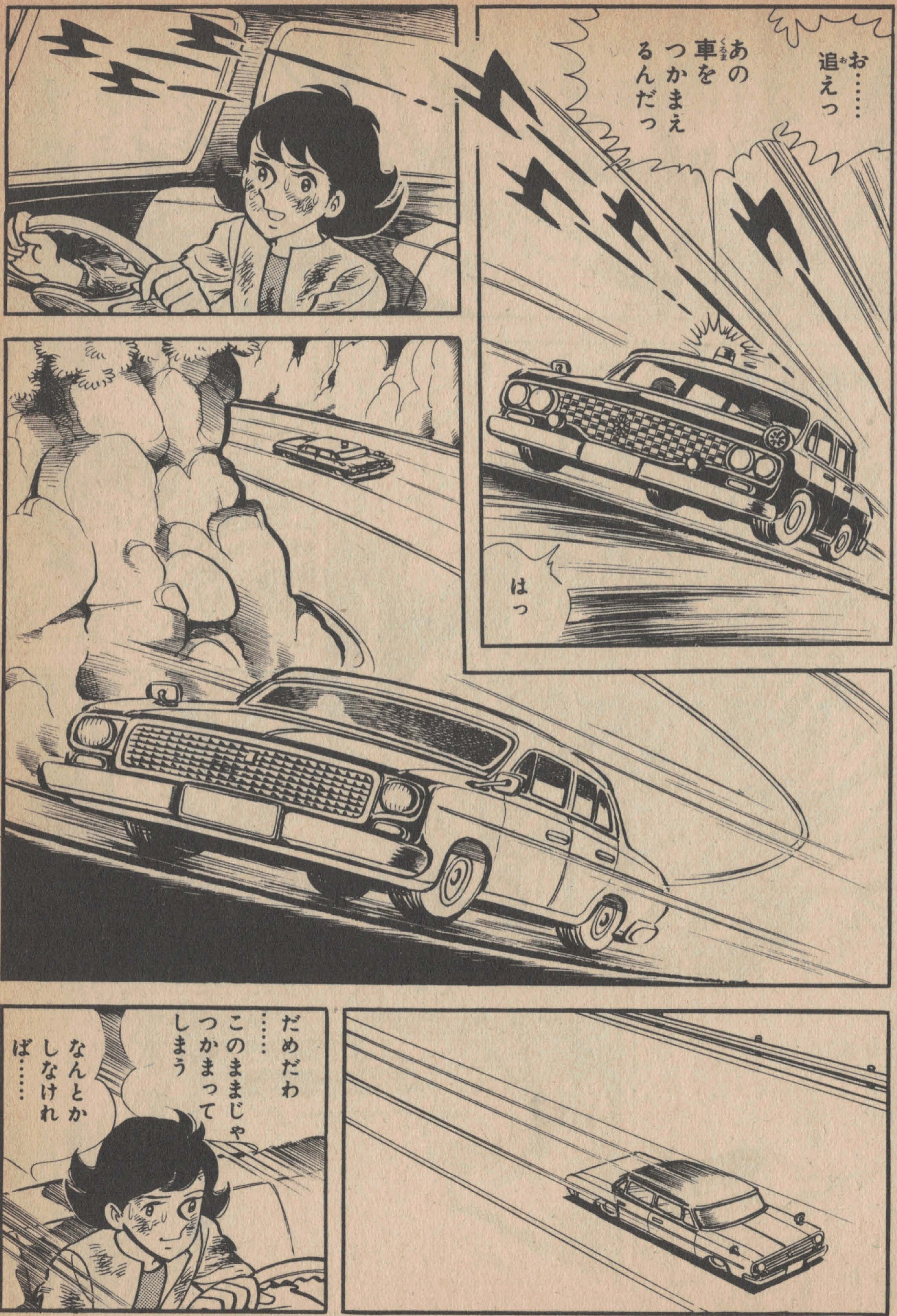

うう……
う……ううう……

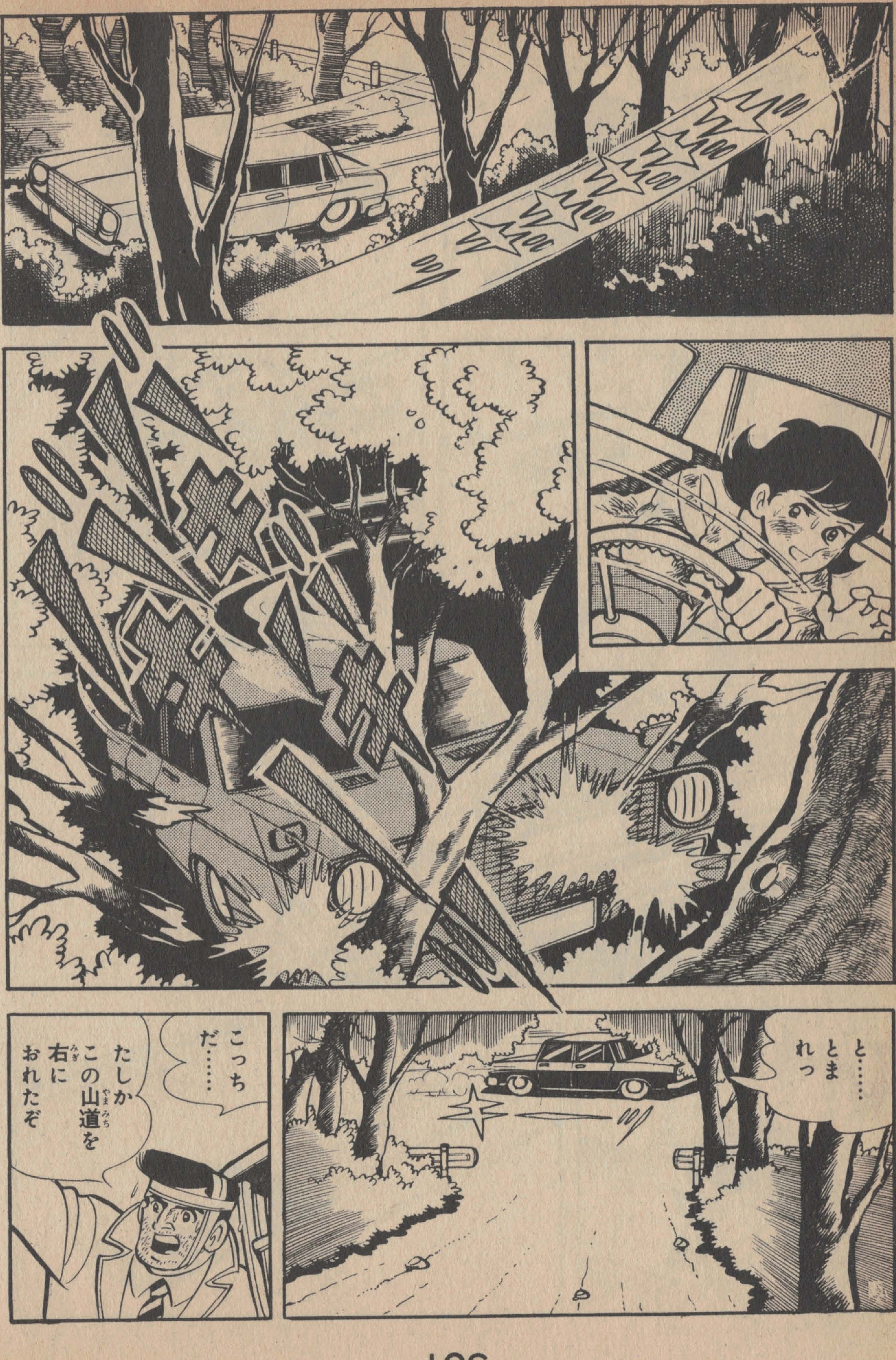

く……っ
し……しっかりするのよ立太！
すぐ病院につれていってあげるからね！
病院で手あてをうけたらすぐにらくになるからね！
あ……
あんたは……
あんたは……
子沢村の……う…梅子…だな
びくっ……

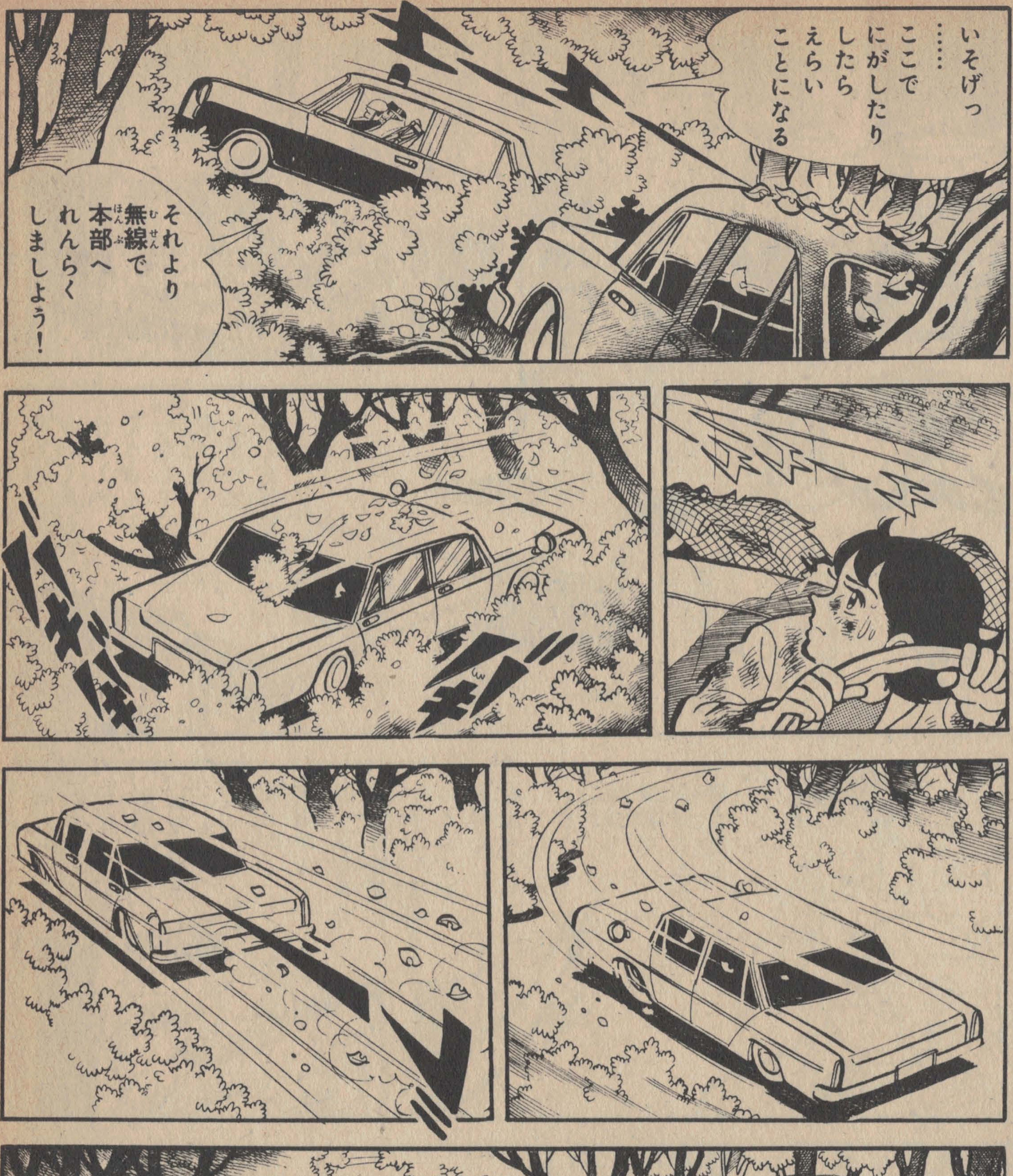

立太……口がきけるの？
わたしのことを思い出してくれたの？
新聞やラジオでは立太のことを記憶喪失じゃないか……っていってたけど……
そう！
いまのトラックのついらくで記憶をとりもどしたのねっ
……
よかった……
き……記憶喪失って……
なんのことだ……
トラックのついらくって……
なんのことだ
おらはどういうわけで
こ…こんなところに血だらけになってねかされてるだ……？
うごいちゃだめ！じっとしていないと……


はっ
しまった……
追われている……
バタッ
立太 もうしばらくしんぼうしてね
ちょっととばすわよ！
ブウウ…


また走りだしましたよ
停車を命じますか
いや……まだ　あとをつけるだけでいい……
どうもあの女性の行動はおかしい
ひょっとすると凶悪犯人となんらかのつながりがあるのかもしれん
しばらくつけてようすを見るのだ
しらべるのはあとでいい
はあ……
うっ……
ち……ちょっと車をとめてっ
どうしました？
血だよ……
そうか……
あの車のなかに負傷した犯人をのせているんだ！
しまったっ……


お……追えっ
あの車をつかまえるんだっ
はっ
だめだわ……このままじゃつかまってしまう
なんとかしなければ……


と……とまれっ
こっちだ……
たしかこの山道を右におれたぞ


いそげっ……
ここでにがしたりしたらえらいことになる
それより無線で本部へれんらくしましょう!


きりたった がけの上を ぬうように 東西に走る 国道N地点――
ここが 凶悪犯人の トラックが ついらくした 事故現場です
ゆうべ おそくからの ひっしの そうさくも むなしく 犯人は いまだに ゆくえ不明
はて…… 警察官たちの うごきが にわかに いそがしく なりました
なにやら 新しい情報が はいったもよう
パトロールカーが つぎつぎと 現場を はなれて います
犯人が 現場から 遠くはなれた 意外な場所に いると 本部から れんらくが あった もようです
先生 来診の 患者さんが 待合室に……
わかった わかった
パトロールカーは けたたましい サイレンを ならして 犯人の ついせきを はじめ――
カチッ
やれやれ まだ つかまらないのか
たかが ひとりの 気ちがい少年に ふりまわされる なんて 日本の 警察も だらしが ないねえ


いっそ このあいだの 船の のっとり 事件みたいに ライフルで 一ぱつ うってしまえば いいんだよ
先生が おっしゃられる までもなく 狙撃班が 数名 現地にむかって いるそうですよ
ほう ついに やるのか
ざんこくよ そんなの!
あいては 子どもだって いうじゃ ありませんか
子どもと いったって おとなも 目をそむける ようなことを へいぜんと やってるんだ
そうそう 警官だけでなく いっぱんの 市民までが おおぜい ぎせいになって いるんだぞ
犯人は 警官から うばったピストルを 持っているんだし このまま ほうっておけば また どんな 傷害事件を おこすか わかったもんじゃない
バタン
先生っ
なんだ……
どう した?
き……急患です……
血だらけの 患者が 玄関に……



また交通事故か
らしいです
あめ
ゴミ入れ
お……おねがいします先生……
みてやってください
よし……すぐ手術室へとおしてくれ！真崎くんをよんで
はい！

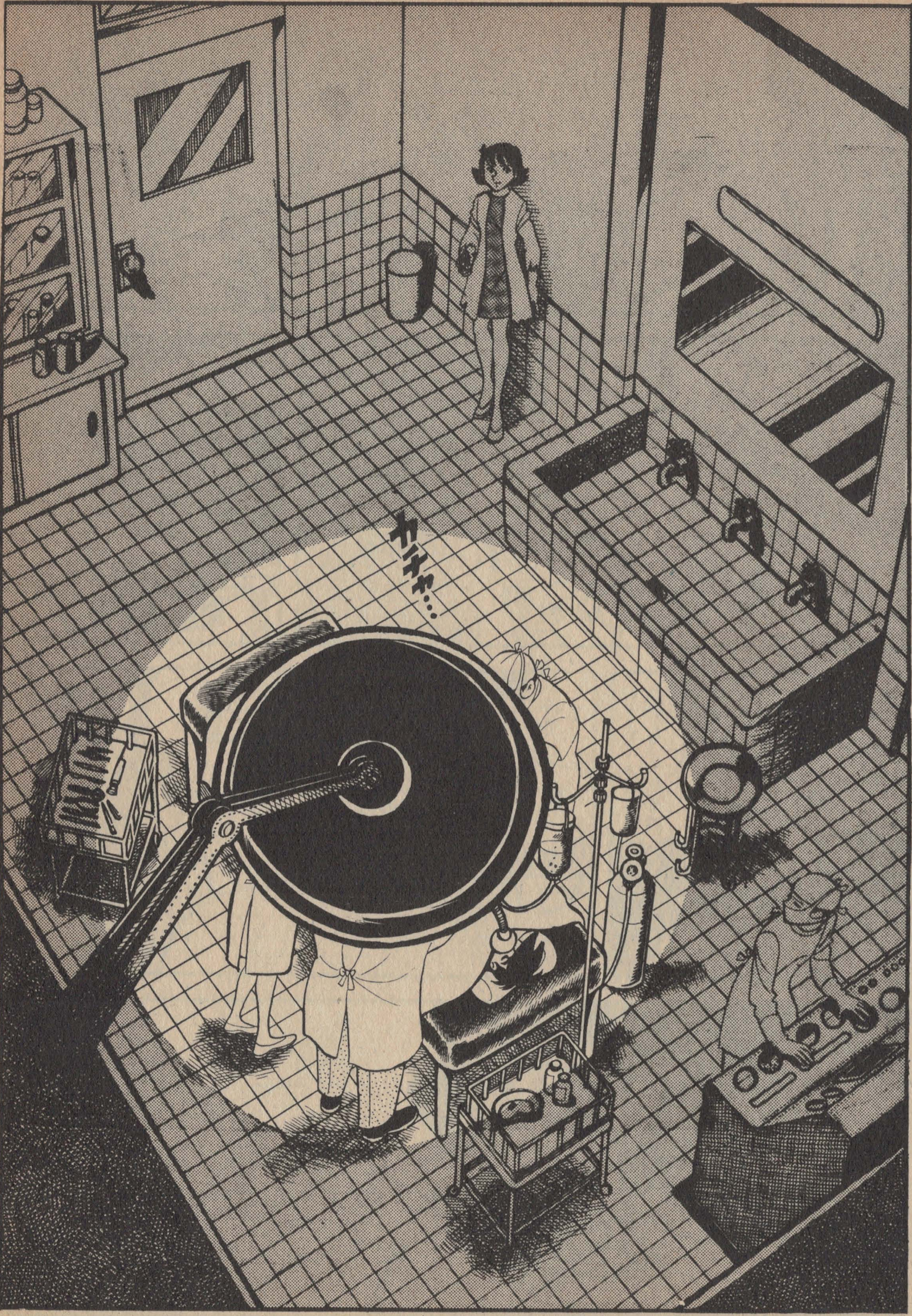

どうしたんだねいったい……
ああこれはひどい出血だ
服をぬがせて……はやくっ
はいっ
おねがいしますどうかたすけてやってくださいおねがいします先生っ
こいつはたいへんなけがだな
よく生きていられるもんだ……
全身打撲のうえに……数か所ピストルでうたれている
ピス……
……
……


た……たすかるでしょうか……
ち……ちょっと
ちょっとまってくれ……
ジ/ジー
うっ……

つ……つまらねえまねすると……
みんな……
みんなぶち殺すだぞ……
あ……
ガシャ!!
さあ……はやく手あてをするんです！ドアのかぎをかけて！
おかしな行動をとるとようしゃなくうちますよ！
かぎをかけなさい
は……はいっ
真崎くん輸血のじゅんびをしてくれ弾丸摘出の手術をおこなう
はっ



あなたは……この少年のねえさんかね
いえ……
おさななじみです……
なぜにがそうとなどなさる……
この少年のためをかんがえるなら自首させるべきじゃないだろうか
……
こんなからだじゃいくら手あてしたところでにげきれるものじゃないよ
ビッ！
う……ううっ……
どうせ すぐつかまるか……
にげたとしてもどこかでうたれて殺されるのがおちだ
むだなことはしなさんな
いいからはやくすませて！
わたしはこの少年をある場所へつれてかえる責任が あるんです！


カチャ…


カチャカチャ
カラ！
脈搏は？
脈搏異常ありません
呼吸がすこしみだれていますが輸血のほうもスムーズにいってます
ふむ……
いくらそだちざかりの少年とはいえ……
この生命力のつよさにはおそれいったね

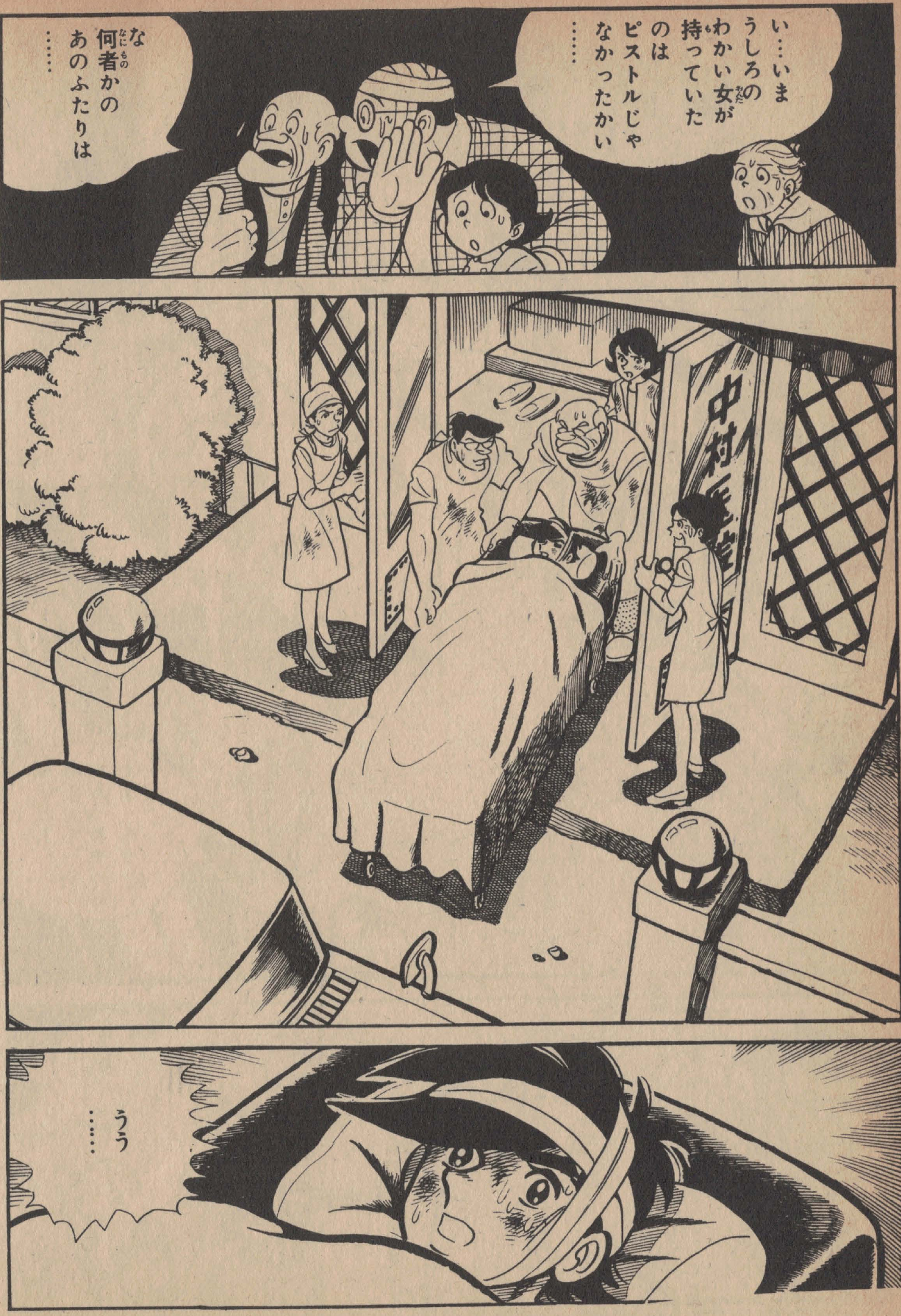

あ……ああふわあ……うう
えらく時間がかかりますのお
まだ手術してるのかしら
わしゃあひるまえからまたされとるんじゃ……
ガチャガチャ
はて……かぎがかかってるぜ
ドン!ドン!
先生!手術はまだすまないんですかあ

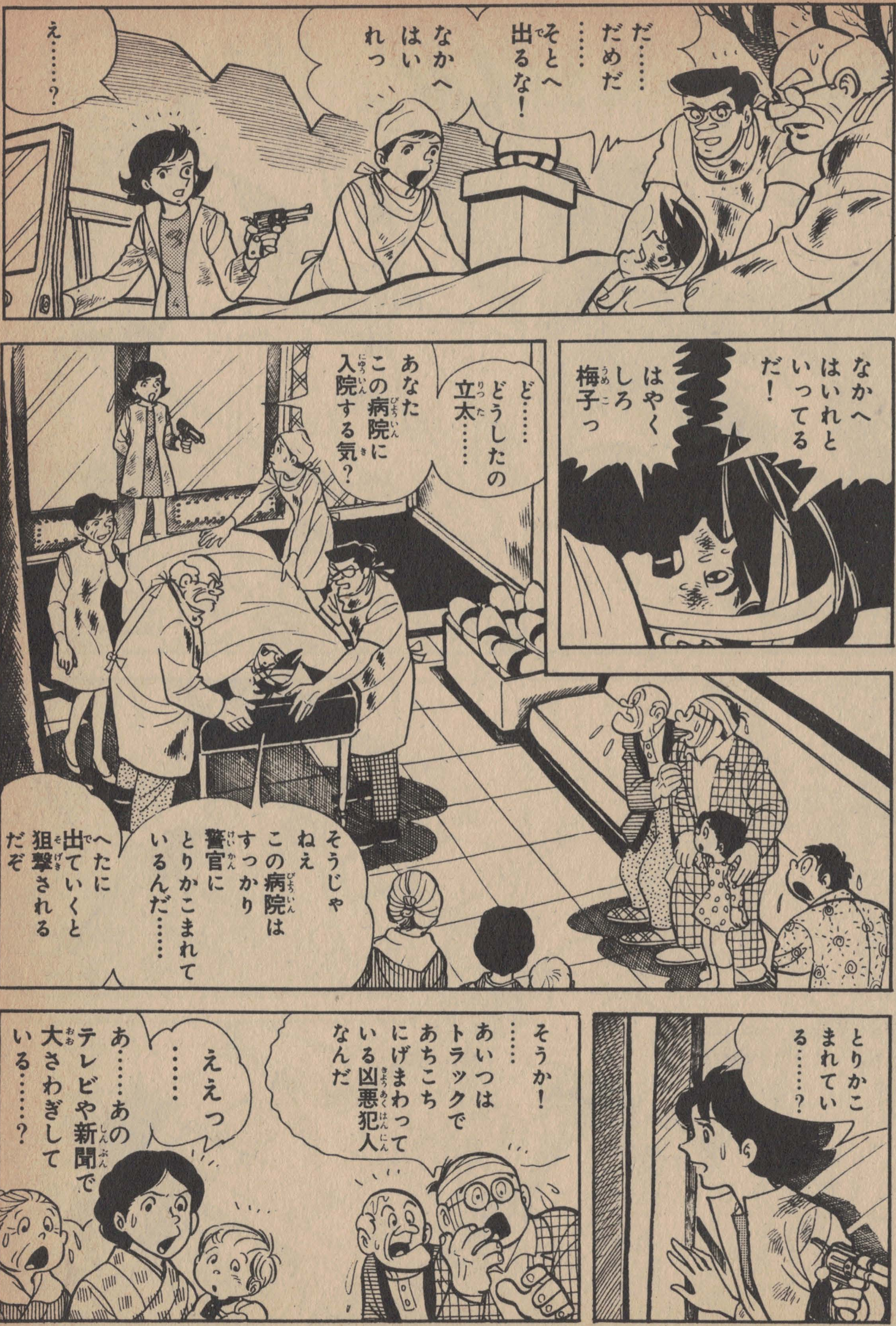

先生！
先生ってばあ
ダダダダ
…………
きみ……きょうはかえってもらって
はあ
ドアをあけないで！
そこから話をするんです！
ちっ……
す……すまないが……きょうは手があかないのであす また来診におうじます
そんなばかな話ってあるかい さんざんまたせておいてよう
いくら交通事故ったってとびいりのけが人にみんながかかりっきりになることもないじゃないか
看護婦さんでもいいからみてくださいよ
くすりくれえ〜〜


さてと……
いちおうの手あてはすんだが
これからさきこの少年をどうするつもりかね
ジャブジャブ
シャ
ばかをいっちゃこまる！
いま車などでゆられたりしたらたすかるいのちもたすかりゃせんぞ！
わたしの車まではこんでください
いいから……
車にのせろよ


立太……
さあ……いわれたとおりはやいとこおらを車にはこびこむだ……
し……しかし……
どうせはらんなかじゃおらみてえな凶悪犯はさっさと死んだほうがいいと思ってるんだろ
だったらいうこときけよ
梅子命令どおりうごかねえやつはかまうことはねえうち殺すだ！
ふわあ……


どうもみなさんおまたせしました
まもなく診察をはじめますからもうしばらくおまちください
ゴロゴロゴロ
やれやれやっとすんだかい
二・三人おこってかえっちゃったわよもう
手術はうまくいきましたかの
はっ……


い…いま
うしろの
わかい女が
持っていた
のは
ピストルじゃ
なかったかい
……
な
何者かの
あのふたりは
……
中村
うう
……


だ……だめだ……
そとへ出るな！
なかへはいれっ
え……？
なかへはいれといってるだ！
はやくしろ梅子っ
ど……どうしたの立太……
あなたこの病院に入院する気？
そうじゃねえ この病院はすっかり警官にとりかこまれているんだ……
へたに出ていくと狙撃されるだぞ
とりかこまれている……？
そうか！……
あいつはトラックであちこちにげまわっている凶悪犯人なんだ
ええっ……
あ……あのテレビや新聞で大さわぎしている……？


ひ……ひええ〜〜〜っ
にげろっ
きゃあっ
まてっうごくな！病院から出ていくやつはうち殺すだ梅子っ
ぎくっ……
な…なにをいうの　立太……この人たちをひきとめてどうしようっていうの？
……
いいからそのれんじゅうを病室に　いれろ
おらたちも医者たちも一室にとじこもるだっ


つ……つまらんまねはよしなさい
こんなところに患者をとじこめたところでつかまるのは時間の問題だ
自首をしなさい自首を!
やかましい!よけいなことをいうでねえ!
あ〜〜んあ〜〜んあ〜〜ん


警官に　とりかこまれているって……
人かげなんかぜんぜん見えないわよ
おもしろい実験を見せてやろう
おらの上着を……
あううううっ
だ……だめようごいちゃ！
ほれ服だ！
おお……
ハンガーを持ってこい
それからそのすみにいるやつ松葉づえをかせ
……？
くそう死にぞこないの気ちがいこぞうめ……
いまにみろ首ねっこをとりおさえて見せるぞ！
ピストルはおらに　かせ
こいつをまどの下からそっとつきだしてみろ
こう……？


そうら ちゃんと 狙撃班も まちかまえて ござる
……
みろ 心臓の ところを 一ぱつだぜ みごとな うでじゃ ねえか
……
……
あっ……
も……ものかげ から おおぜいの 警官たち が……!
ふふふ おらを うち殺したと 思って のりこんで きただよ
まあ のぞむ ところさ
ダダ


うごく
なっ
ピストルを
ゆかに
すてろっ
あっ……
ふふふ……
あんたたちが
うちぬいたのは
おらの　この
ぼろ服だけさ
ううっ
さあ
ピストルを
すてて　手を
頭の上で
くんで
もらおう
いうとおりに
しねえと
このへやにいる
れんじゅうの
はらに
一ぱつずつ
ぶちこむ
だぞっ
うぬっ
……
ま　また
しても
……
ゴト
ゴトン
くそう
……



それから ひとつ ちゅうもんが あるだよ……
ここにいる全員がのれるようなマイクロバスを一台 運転手をつけて せわしてくれぇ
うんと 遠くへ いくだから ガソリンを まんタンに してな!
な…… なんだっ て……?
わ…… わたしたちを のせて…… 遠くへ いくだっ て?
……
じょ…… じょうだん じゃない うちには 家族たちが……
おねがいです ここから かえして ください!


あ……う
うわ……
うわあ
あああ
あう……っ
……
ひ……
ひい〜〜っ
……
り……
立太よし
なさいっ
はなせ
よっ
へっ
くそやろう
ゆだんも
すきも ありゃ
しねえ!
ぁ……ぁ
……


ガシャッ
ズン
……
あ～ん
あ～～ん
あ～～～ん
うわあ～～っ
ふふ……
気のどくだが
おらに　さか
らおうとする
やつは　みんな
こうなるだ
梅子
ピストルを
ぜんぶ　あつ
めてくれ
さあ
どう
したね
……?
あんたら
おらたちを
のせるバスを
せわするのか
しねえのか


よう！どっちなんだようっ
マ……マイクロバスを一台……大いそぎだ
はっ……
ようしバスの手配さえしてくれりゃもう警官にゃ用はねえだみんなそとに出てろ！
へたにちょっかい出すと立太って男はなにをしでかすかわからねえとよっくつたえておけっ
立太……
なんだよ



やたらに人を　きずつけるのはやめてちょうだい……
あたしこわい
へっ　先手をうたなけりゃこっちがやられちまうだ
こうなりゃおらあいくところまで　いくだぜ！目的をはたすまではどんなことだってやるだぜ！
目的……
い……いったい立太はバスにのってどこまでいくつもりなの？
あんたがおらをつれていこうとかんがえているところへさ
あたしが……？
子沢村……なんだろ？
……

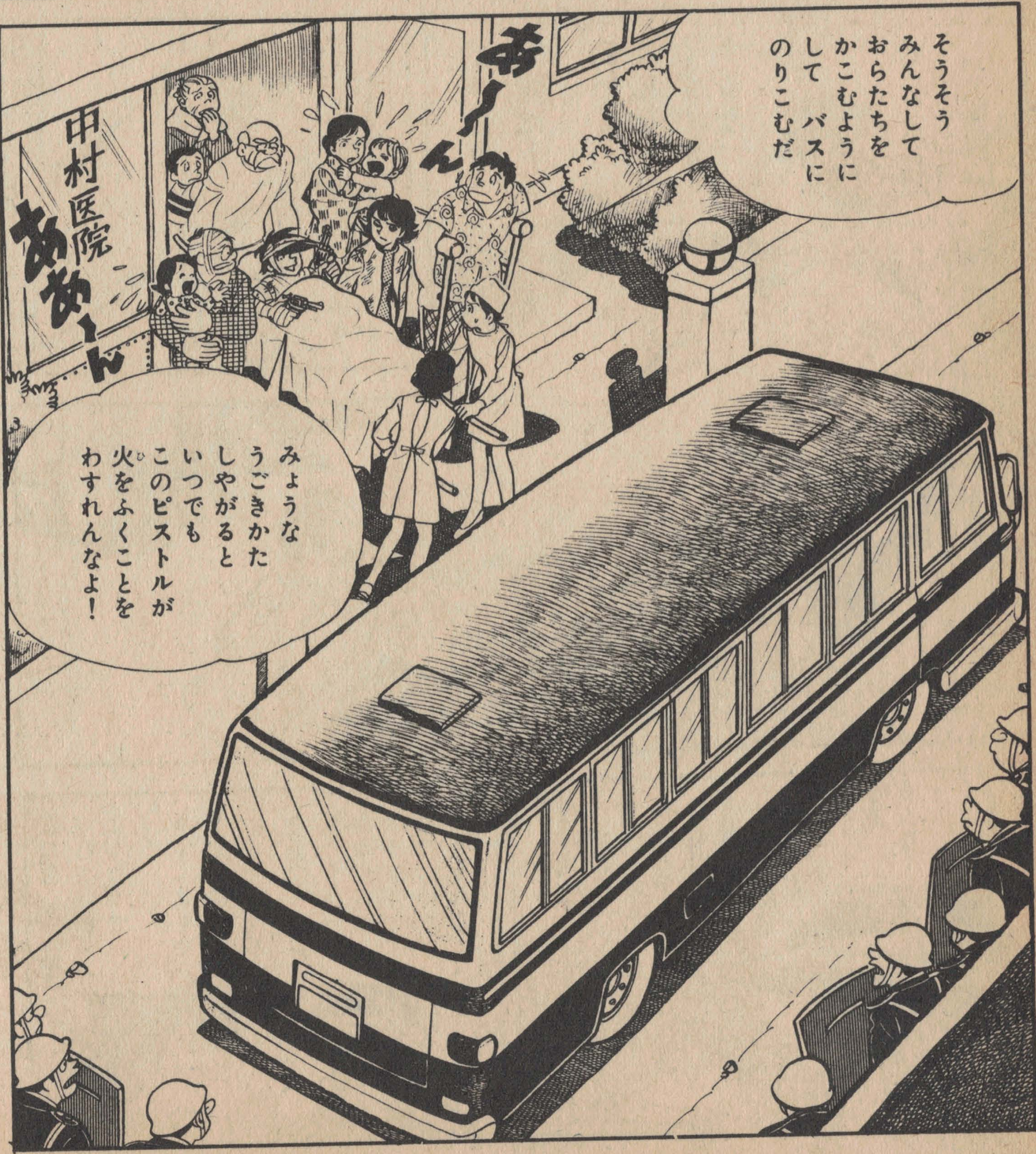


ふふふ わかってる わかってる
なんのために梅子がおらを 子沢村へつれていくのかは知らねえけど目的地はいっしょだ
まあ ひとつよろしくたのむぜ
なつかしきふるさと子沢村……
といいてえところだが
どっこいうらみかさなるいまわしきふるさと子沢村だへっへっへっ
思い出したのね もう なにもかも……
ああ思い出しただよ
十年ちかくもたったいまになってなにもかもな
十年まえ あの村のれんじゅうにどんなしうちをうけたか―― つい きのうのことのようにはっきりと思い出しただ
……
ふくしゅうにいくつもりなのね



ふくしゅう……ねえ
さあな
おらが　あのれんじゅうのつらを見たときにいったい　なにをやらかすか……
そのときになってみなけりゃわからねえさ
バスがきたわ
よっしゃ出発だ！おいみんなぐずぐずするなっ
ま……まってよ立太
なにも　みんなつれていかなくたって……おとしよりや子どもは
なあに旅ってやつはおおぜいのほうがたのしいしおもしれえ
目的地へついたらじゆうにしてやるだからそれまでなかよくつきあってもらうだ
なあみんな！


ほれっ病院の先生がたもさっさとしたくしねえかいっ
患者さんたちが旅に出るだぞそれぞれにひつような道具をよういしてっ

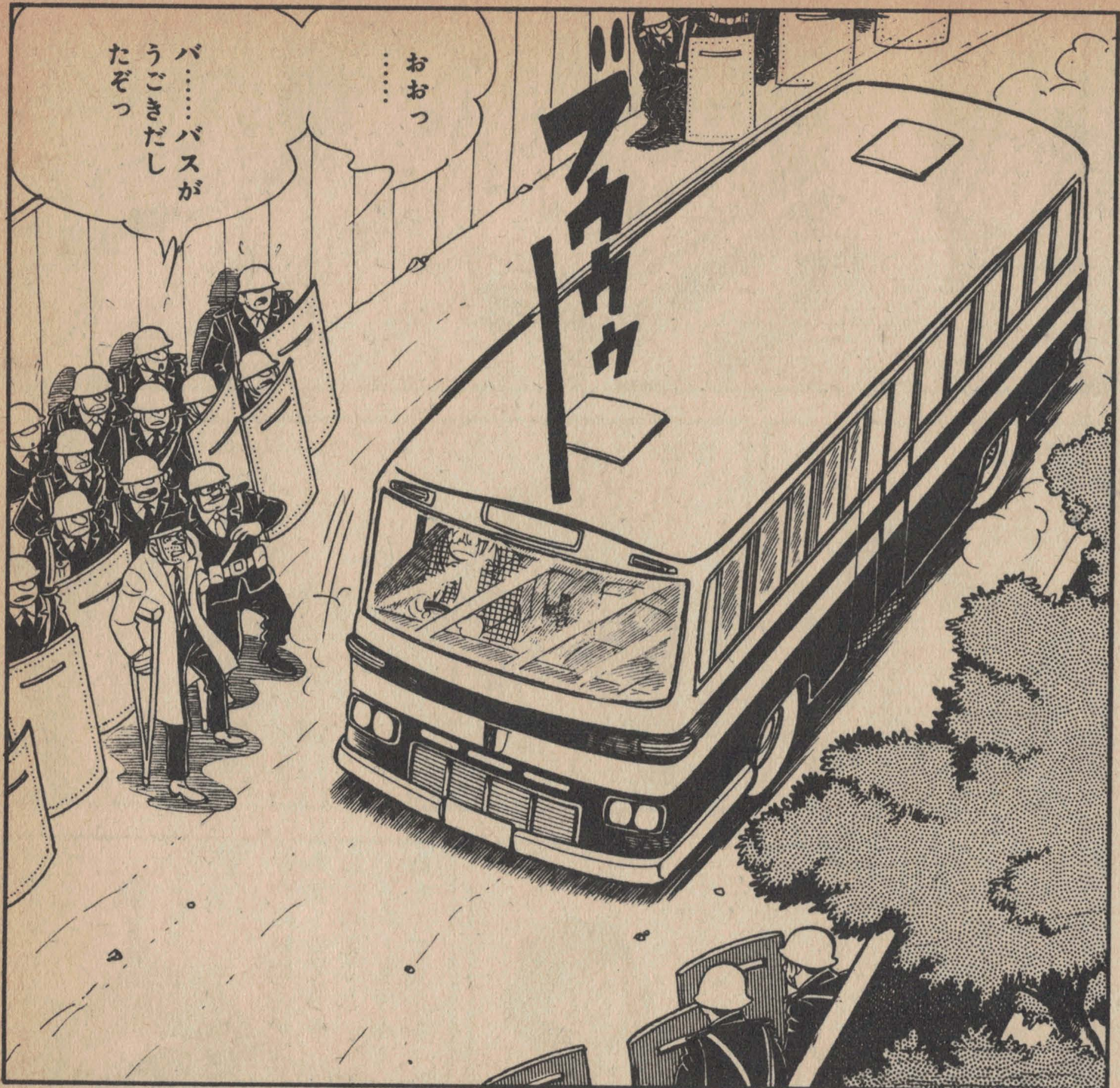

そうそうみんなしておらたちをかこむようにしてバスにのりこむだ
あ〜ん
中村医院
ああ〜ん
みょうなうごきかたしやがるといつでもこのピストルが火をふくことをわすれんなよ!


牧村さん……
これじゃ手も　足も出ませんな
ううむ……
いくら優秀な狙撃班がいても
ああ　人質がそばに　よりそっていては……
くそう気ちがいめ……！
さあのりこんだらみんな　座席につけっ
それから運転席のまどいがいはぜんぶカーテンをひくんだっ


シャッ
シャッ
シャッ
うぬっ カーテンを ひきやがった……
こぞうめ なかなか やるな
これでは まどごしからの 狙撃も できない ってわけだ
いきさきは どこです
ほう……
あんたが この バスつきの 運転手かい
子沢村 まで……
まてよ ちょっと ここまで きてもら おうか
なにか ごようで……
持ち物を しらべたいんだ もっと ちかくへ よりな
梅子 見はりを たのむぜ


よし
まわれ
右をしてっ
ヴィッ
ギクッ
ふふふ……
なんだい
これは
ガガッ
むだなことをするんじゃねえとなんどいったらわかるんだ!
出ていけ——っ
ズ

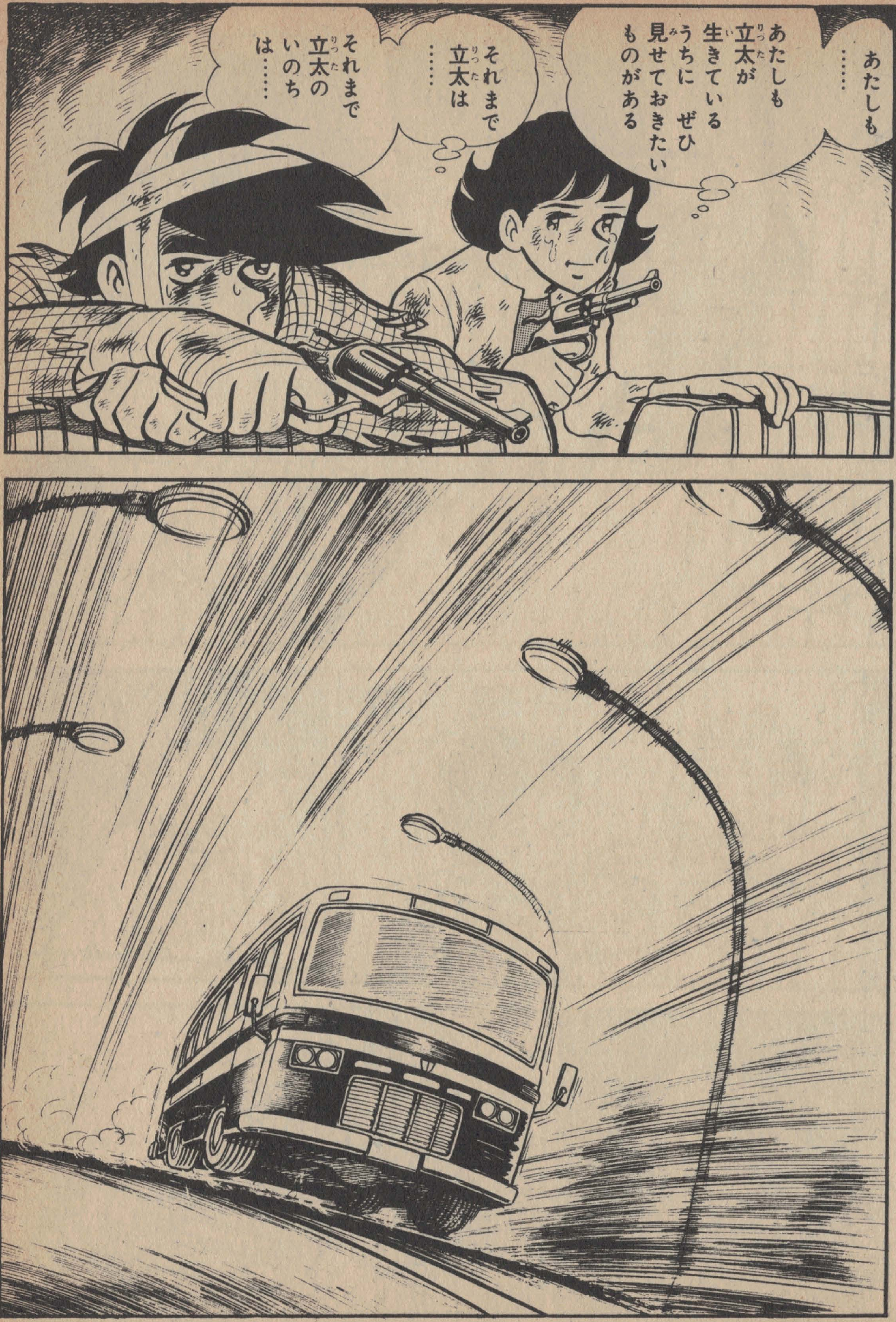

このなかに
車の運転が
できるやつは
いねえのか
おい　そこの
ほうたいの
だんな
ハンドルを
にぎんな!
あ……
あの……
運転は
できるけど
免許が……
免許なんざ
いらねえ
さっさと
運転
しろっ
ブルルル……


ブウウウゥ
おおっ……
バ……バスがうごきだしたぞっ

い……いきさきはたしか……子沢村とかいってました
子沢村……？


子沢村か……
ようし

おい もたもた走らねえで 国道へ はやく出るんだっ
もっと スピードを あげろっ
は…… はいっ
ずいぶん あせるのね 立太……
あせりたくも ならあ
おれの……
おれのいのちが あと いくらも もたねえこと くらい ちゃんと わかってるんだ
ふふふ……
こうして ぶじに いきの あるうちに 子沢村まで たどりつけるか どうか……
……

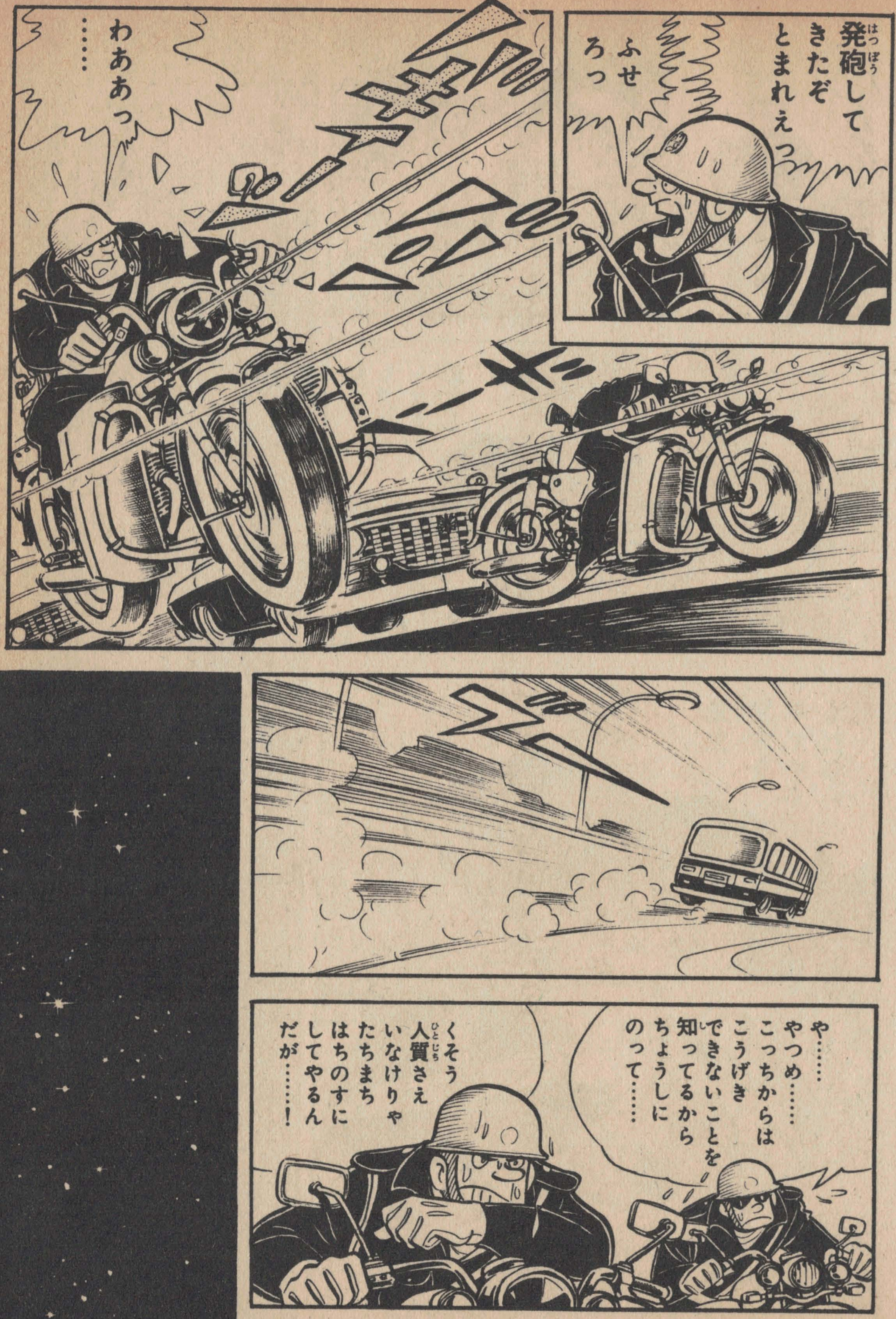

あたしも……
あたしも立太が生きているうちに ぜひ見せておきたいものがある
それまで立太は……
それまで立太のいのちは……



バラバラ
バラバラ
バラバラ


TV


ちっ……
り……立太なにするのっ
はなせよっ
梅子は前を見はってろっ
う……うわっ……
ひっ……


発砲してきたぞ とまれえっ
ふせろっ
わああっ……
や……やつめ……こっちからはこうげきできないことを知ってるからちょうしにのって……
くそう人質さえいなけりゃたちまちはちのすにしてやるんだが……!


はあ
はあ……
はあ
どうしたの
立太……
気分でもわるいの？
し……
しっかりしなさい
立太！
な……
なんでもねえだよ……
先生
立太をみてやってくださいっ


こんなゆれうごくなかでは診察などできんよ
ちょっと車をとめて
と……とめるなっ
いっこくもはやく子沢村へいくんだ
走らせろっ
立太! いうことをききなさい
おねがいだから


とまりましたよ
牧村さん……
……
とまったところで、バスのなかは人質でいっぱいだ
いま手を出すことはできない
手を出すことができないって……このままゆびをくわえて見てるんですか
われわれはただ 見はりをするだけですか
かれらの目的地の子沢へつけばなんとかチャンスもあると思う
ひと足さきに子沢村へいってましょう
……


あとは きずぐちを 消毒して あたらしい ほうたいに かえてやって くれ
はい
診察は ……?
すみ ましたよ
なんども いうようだが ……
なぜ 生きて いられるのか ふしぎな くらいだ
かれの生命力は 医学の常識を とうに こえている
いまは ただ 気力だけで 生きている ようなもの なんです
なんのための 気力です
子沢とか いう村に いったい なにが あるんです
……
こんなに 人に めいわくを かけてまで ……
いや おおぜいの人を 殺傷してまで 子沢村へ いく理由が あるんですか
立太は かわいそうな 人間なんです
……もうすこし
もう しばらく ですから がまんして ください
あとで どんな つぐないでも しますから


一夜あければ子沢村は、もう目と鼻のさきであった。
ブゥ……
もうすこしよ立太
もうすこしで子沢村につくわよ
……
道がわるいからしずかに走ってください
わかってますよ
梅子……
なあに
あんたはきょうだいでもないこのおれになんだってそう親身になってくれるんだ

……
……
どうした
質問しているんだぜ
責任を感じているのよ
責任……?
なんの責任だ
むかし……
子沢村を出なさいとなんどもすすめたのはあたしよ
立太があのとき村を出たりしなければ
あんなにひどいあんなにかなしい体験をしないでもすんだはずだわ
がけからつきおとされ大けがをして記憶をうしない——
記憶をうしなった。けれどもあのときの人間にたいするうらみや不信感は立太の心のそこにふかいきずとなってのこったわ
おさないころは立太自身もそのきずに気づかなかったけれど
だんだん立太が成長するにつれてそのきずも大きく表面に出てきた……
立太は記憶をなくしたままだからなにが原因なのかはわからなかったと思うけど……


人の顔を見ただけでむしょうにはらがたつようになっていった
人がうろたえたりかなしんだりこまったりするのを見るとうれしくてたまらなくなっていった
お金や品物がほしいわけじゃないのにぬすみをはたらき強盗におしいり
へいきで人をきずつけるようになっていった
ブルル……
あのとき
あのときわたしが立太に村を出るようにすすめさえしなければこんなことには……
……
……


や……やめてくれ!
そんな話はもうたくさんだ
それより梅子はおれに村でなにか見せたいものがあるといったが……
いったいなんのことだ
いまに……
村につけばわかるわ……
ラララ……



き……きいたかみんな……
立太がけえってくるだとよ!
ああおそろしや……やつあおらたちにふくしゅうするためにけえってきただ
立太はおらたちをみな殺しにするためにけえってくるだぞう
に……にげようおとう……にげよう!
ううう……
い……いくら
いくら人里はなれた山おくのちいさな村とはいえ……
この村人たちのかっこうはなんだ
このつかれきったおにのような顔つきはどういうわけだ……


ジ〜ジー ジー
う……うわぁ よるなっ
だ……だんな 立太は わしら 子沢村のもんに ふくしゅうをするために けえってくるだす
なにとぞ おたすけを……
にげるだよ おとう……
立太だと…… 立太が けえってくるだと
なあ にげるだよう


ま……牧村さん たいへんだ
ちょっと きて くれえっ
ほら どいて どいてっ
だんな～～
よ……よるなっ てんだ!
どうしました
あ……あれを……


ううっ……
そ……それじゃない もっとおくです……
おく……?


う……
う……うわっ……人骨だ……
あぁ……
だ……だれだ……
だれがやったんだ……
おらでねえぞ
おらもちがうだ
おらすんね
へへへーそんたらほねめずらしいだか
むこうへいきゃあまだあるだぞ
なんだと……?
えへへへへへ……こっちだがな……
へっへっへっへっ……


ほら この
飼料小屋
だがな
まあ
のぞいて
みんせ
あ……
ああっ
……


このほねっこは千造のほねっこで……
こいつはたしか辰じゃったなあ
んだ
ほんでもってこっちのちいせえのは留のせがれのほねっこで……
これが留のおっかあ
ま……牧村さん……
だ……だだれのしわざだ……
こいつぁ康んちのおばばよ……のう！
いったいだれがこんなひどいことをやったんだっ
お……おらではねえ……
そそこにいるほれ
権三がかまやおのでぶっ殺しただあ



かーっ
な……なして おらひとりの せいにする だいっ
てめえらだって いっしょに やった なかで ねえかっ
てめえ もよ!
おい てめえ もさ!
そこにおる 吉岡の親子も 学校の先生も みんなして いっしょに やったで ねえかっ
……
……
やろうら しらばっくれようったって そうはいかねだぞっ
ま……まてっ
……
……
やったのは いつだ……
こ……殺した 理由は なんだっ
なあに ……
千造だの 留や 辰だのが 立太の金っこを みつけて こっそり かくしたっ ちゅう うわさが 村に ながれてよ


立太の金……？
おらたちにもわけまえをよこせと千造らにかけあっただが知らーん顔きめやがる
そんでもう頭さ　きてみんなでもってその……
なあ!
うん
けっきょくはデマだっただよ……
かくしてたのは金っこではなくて吉岡牧場からくすねたベコ（うし）の肉だっただ
みんな畑仕事もせんと金さがしばかしやっとるもんでなんも食いぶちがなくなっちまってのう
へっ……やつらあ殺され損ちゅうやつじゃ
……
ま……牧村さん……バスがバスがのぼってきますっ
なにっ……
つ……ついにきたか!



うう……わあ……
立太がきたださ〜〜っ
にげろっ
た……たすけてくれえ殺されるだあっ
ひぃ〜〜っ
は……はようにげるだ権三っ
ま……まってくれっ
お……おとうどうしただっ……
はよしねえと……
……
……


おまえたちもきけんだぞっひとまずどこかへ 身をかくしてろっ
た……逮捕しなくてもいいんですか牧村さん……
こいつらは殺人をおかしているんですよ
この事件はあとまわしださしあたってのあいては 立太にしぼる!
さあなにをぐずぐずしている!はやくどこかへかくれないかっ
り……立太はおらたちにふくしゅうするためだけにけえってきたんじゃねえ……
きっと子沢村のどこかにかくしといた金っこさとりにもどってきただ!
んだんだ!きょうというきょうこそあのすばらしい札たばの山がおがめるだ
いまさらしっぽをまいてにげだすわけにゃいかねえ
か……金っこをこの目でしかとおがむまでは……

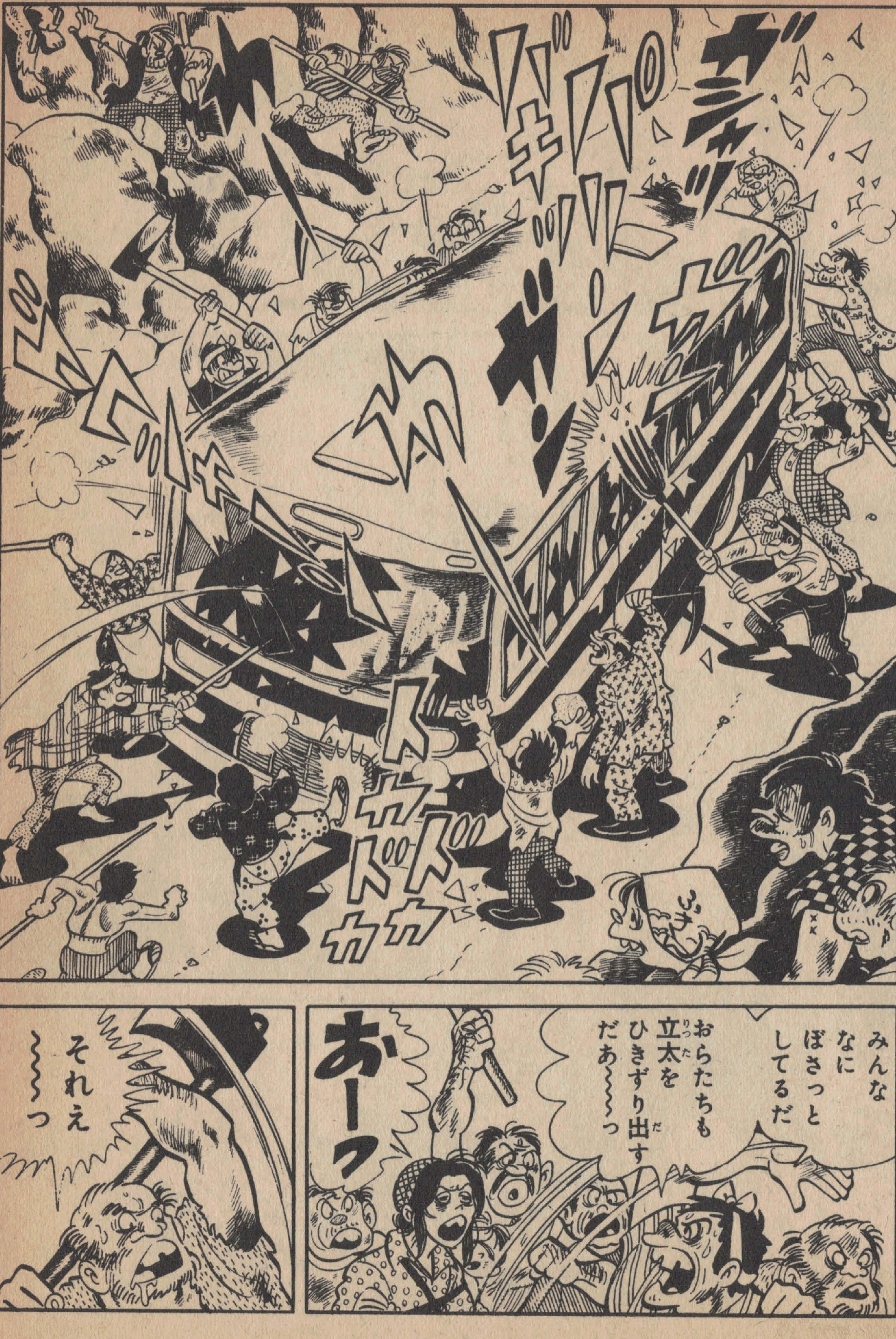

ぜ……全員持ち場にもどれえっ
狙撃班は村道の両わきの林でまちぶせろっ
すがたを見られるなっ
ミ〜ン
ミミ〜ン
ミ〜ン



くそう あいかわらず カーテンを ひいたまま ですな……
これじゃ 手も 足も 出ん！
ブウーー
なあに いつまでも バスに とじこもって いるわけには いくまい
一歩でも バスから 出たら…… そのときが やつの さいごさ
うっ……
な…… なんだ おまえ たちは……
そんな ものを 持って なにをする つもりだっ


む……むこうへいけっ
あいてはピストルを持っているんだぞ
うち殺されてもかまわないのかっ
めいれいだむこうへいけえっ
へへへ……むざむざと殺されやしねえ……
殺されるまえに殺してやるだ
ガーッ
ああっなにをするやめろっ
ま……まてえっ
またんかこらあっ……
あうっ
うわっ……

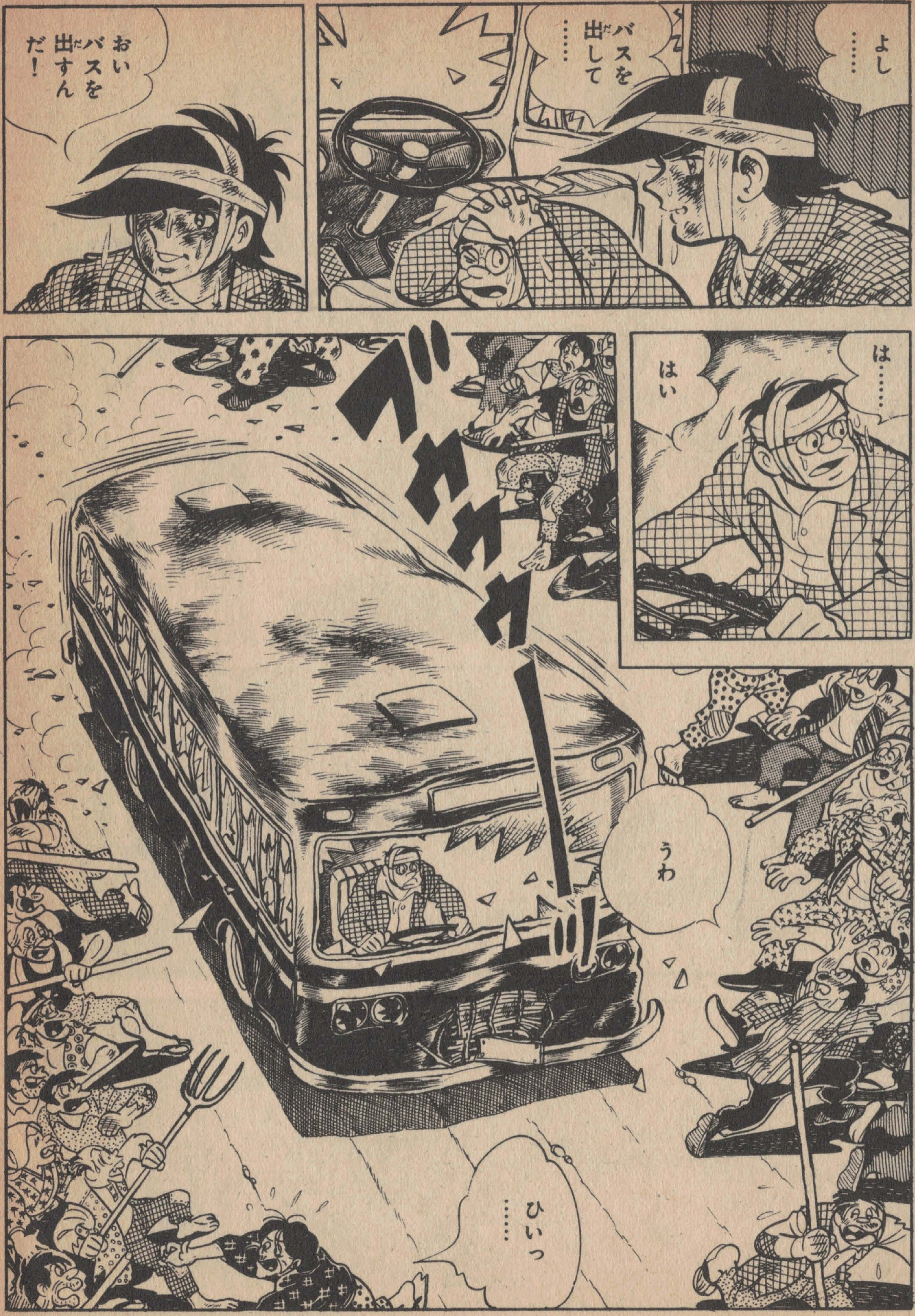

ワー
立太はどこだ
立太を出せえっ
やい そのバス とまれ〜〜っ
ワー
ドドン
ひひひっ こんなバス ぶっこわしてやるだあ!
あ……あのれんじゅうは気ちがいだ……
ひとりのこらず気がくるっている……
まずいな……こりゃえらいことになりますよ


ガシャッ
ガン
ドカドカ
みんな
なに
ぼさっと
してるだ
おらたちも
立太を
ひきずり出す
だあ〜〜っ
あーっ
それえ
〜〜っ


どうします
牧村さん
……
村人たちは
どんどん
ふえて
いますよっ
バ……
バスから
ひきはなさ
ないと
きけんだ
……
はやく
みんなを
バスから
遠ざけ
ないと……
おっ
……
ま……
まてっ
……



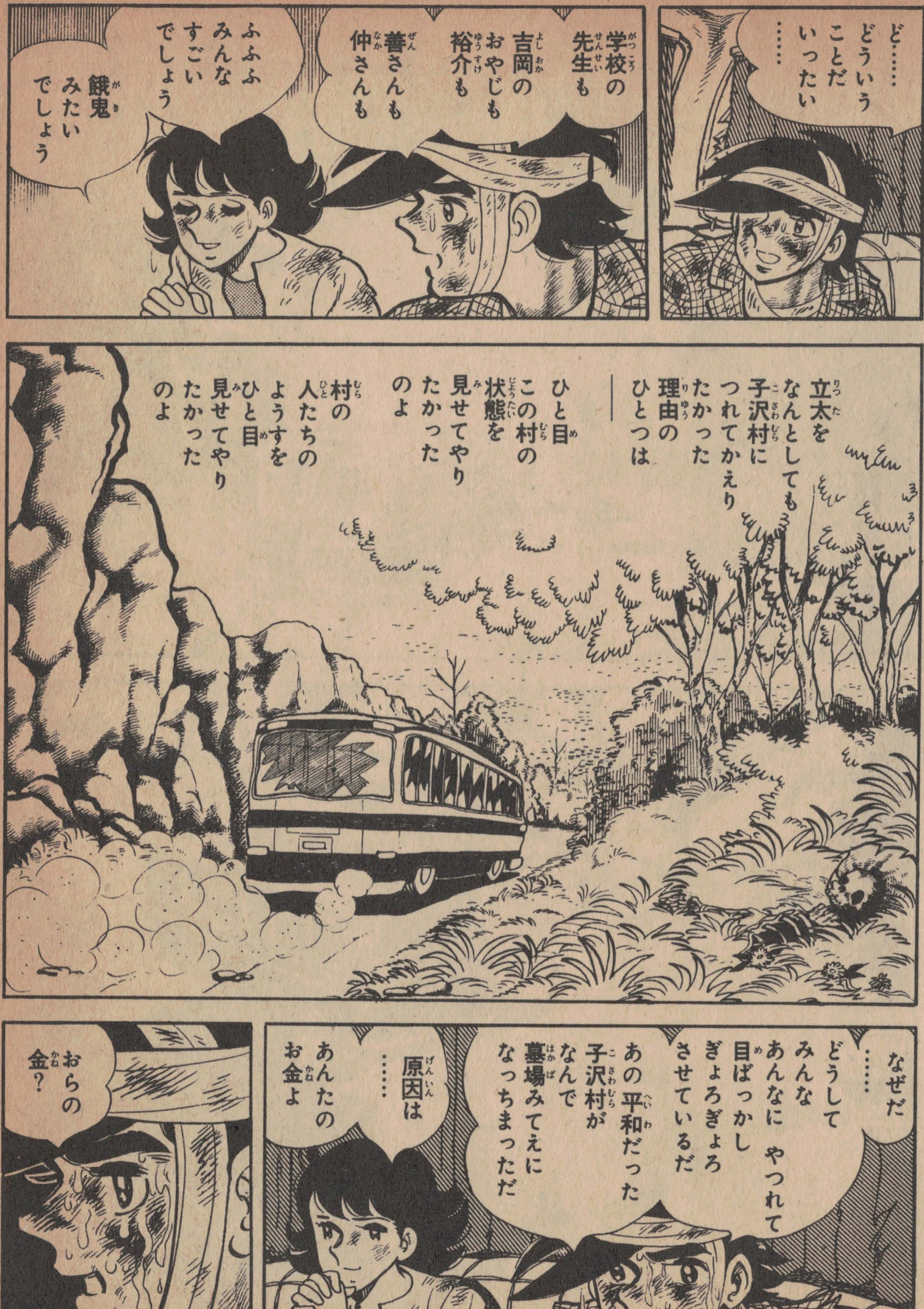

しーーん……
だいじょうぶだ……
これいじょうらんぼうはさせない
り……立太……
立太じゃ……


よし……
バスを出して……
おいバスを出すんだ！
は……
はい
ブロロロローッ
うわ
ひいっ……

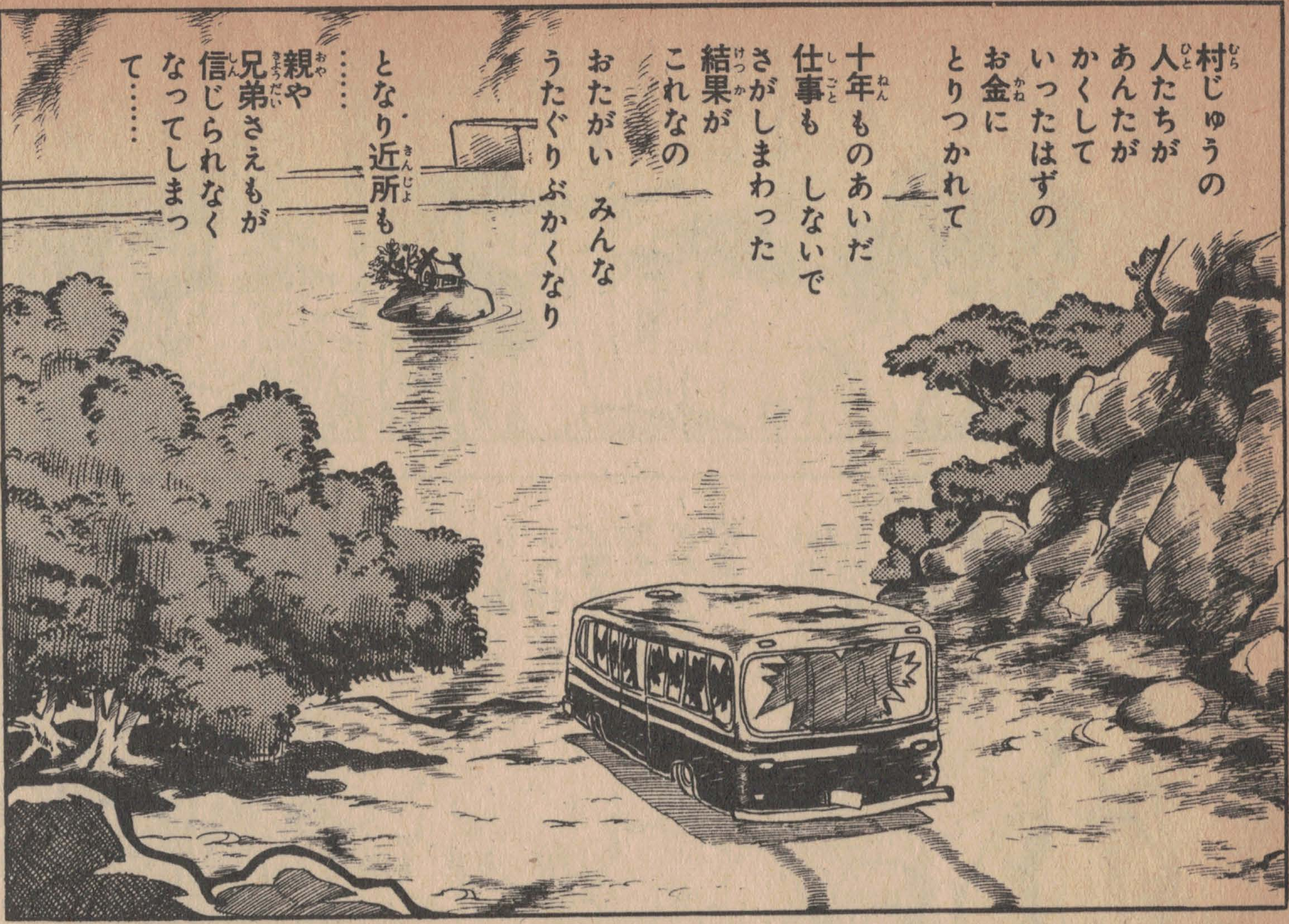

バババ

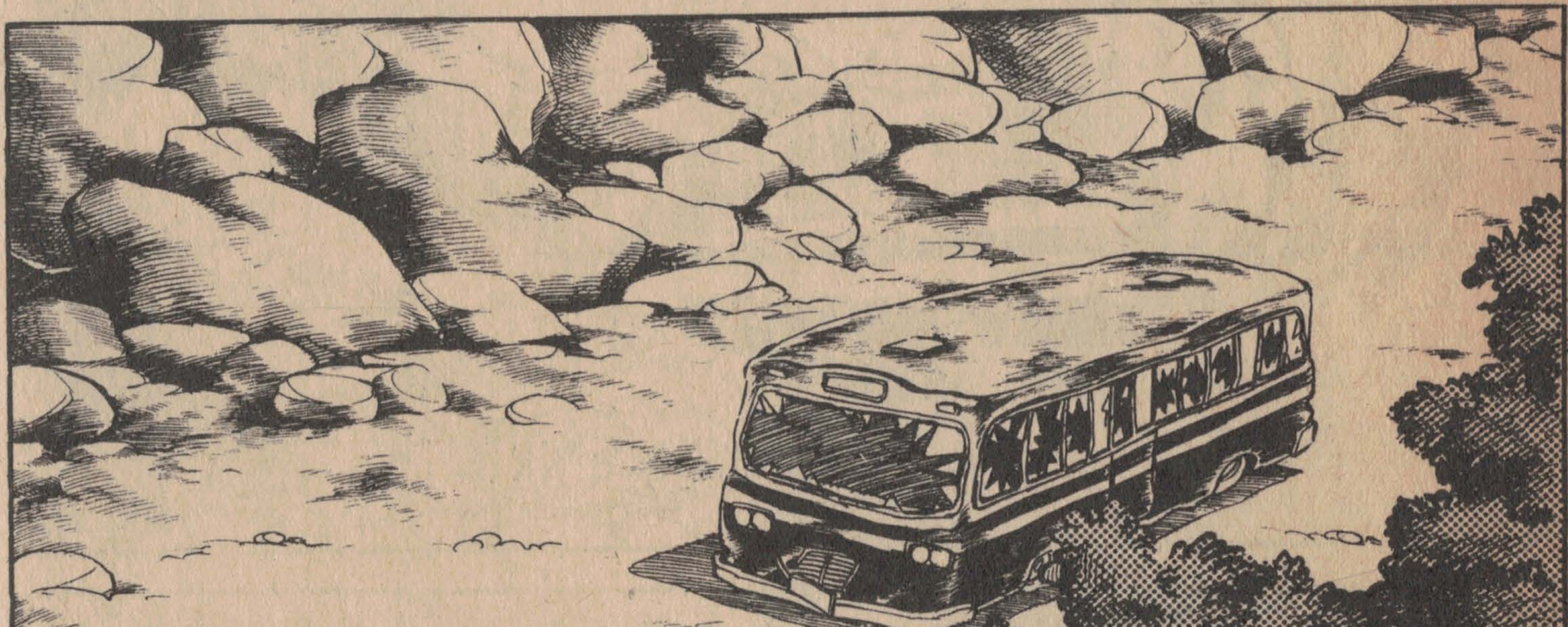

ミーン
ミミー
ミーン
ジー
ジー


ブルルル……
ブルル……
牧場
どう？立太……村の人たちを見た？
くずれかかった村の家や牧場を見た？
……



ど……どういうことだいったい……
学校の先生も吉岡のおやじも裕介も善さんも仲さんも
ふふふみんなすごいでしょう
餓鬼みたいでしょう
立太をなんとしても子沢村につれてかえりたかった理由のひとつは
ひと目この村の状態を見せてやりたかったのよ
村の人たちのようすをひと目見せてやりたかったのよ
なぜだ……どうしてみんなあんなにやつれて目ばっかしぎょろぎょろさせているだ
あの平和だった子沢村がなんで墓場みてえになっちまっただ
原因は……
あんたのお金よ
おらの金?


村じゅうの
人たちが
あんたが
かくして
いったはずの
お金に
とりつかれて
十年ものあいだ
仕事も しないで
さがしまわった
結果が
これなの
おたがい みんな
うたぐりぶかくなり
となり近所も
……
親や
兄弟さえもが
信じられなく
なってしまっ
て……



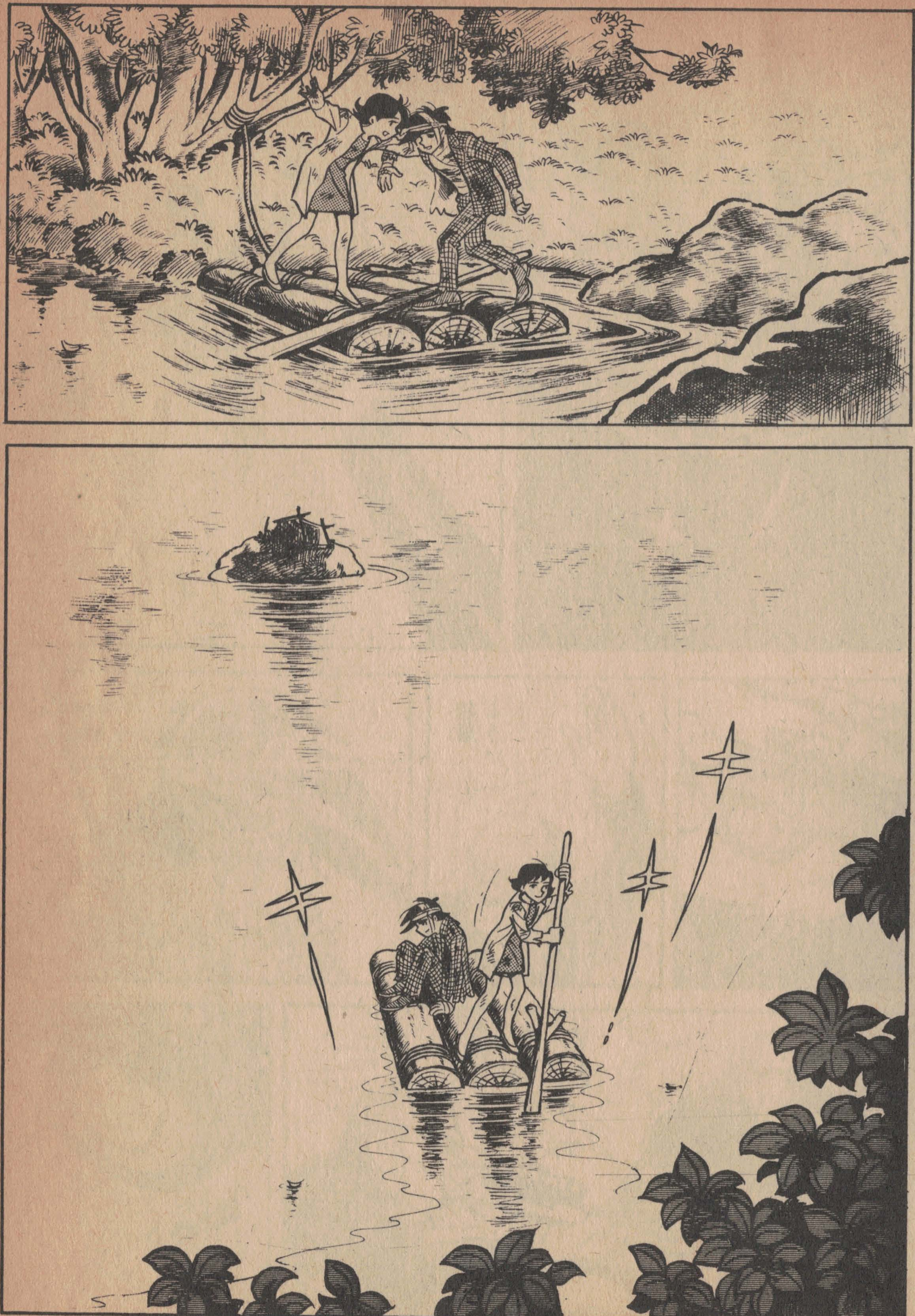


さあ ダムに ついたわ……
ここから さきは どうする つもり？
さし あたって……
みんなを バスから おろして やってくれ……
すま なかったな みんな……
もう いいから はやく バスから おりて あんぜんな 場所へ いってくれ……
診察を……
もう その ひつようは ねえだ はやく バスから はなれねえと 警官たちに うたれるだぞ
……
……


おっ……みんなバスからおりはじめましたよ……
よし……避難させて!
ただちに狙撃班にじゅんびをさせるんだ!
おういこっちだこっちだ
はやく避難して!
全員ぶじかっ
は……はい


梅子……
おめえも はやく バスから はなれるだ……
いまさら なにを いってるのよ
あたしだって 共犯者なのよ
おりるだっ
おらの そばにいたら うち殺されるだぞっ
殺されるのが こわかったら とうのむかしに にげだして いるわよ
じぶんで うごくことも できないくせに つよがりは いわないの!
さあ 立太は 日輪さんの ほこらまで いきたいんでしょう
ついでだから そこまで つきあって あげる
さあ しっかり つかまって
梅子……
梅子は 死んじゃ だめだ……
梅子 だけは……
立太…… あたし あんたが すきなの
小学生の ころから


で……出てきたぞっ……
狙撃よういっ
ゴクリ……




狙撃ようい……
グ…
ググッ
ま……まってくれっ


うっちゃいかん！
たのむまってくれっ
ま……牧村さんしずかに……！
どうしたっていうんです
いま……
立太は……
犯人はすでに死んでいるそうだっ……
いまマイクロバスからしゃくほうされたばかりの中村先生から話をうかがったのだが
死んでいる……？
どういうことですかそれは……
いや……
死人とおなじ状態だともうしあげたのですよ


ごぞんじの ように かれは すでに 十発にちかい 銃弾を 体内に うちこまれて います
もちろん 手術をして たまを とりのぞき きずをふさいで 止血して ありますが
ふつう 常識から かんがえると あの少年の からだは とうのむかしに 死んでいるはず です
おそらく…… これは わたしの かってな 推測ですが
かれは 精神力だけで ここまで たどりついたものと 思われます
精神力 ……
わたしも けさがた ほうたいを かえるために かれのからだに さわりましたが
脈搏は ほとんど かんじられません でした
ええ それに 体温が まったく なく……
からだが 死人のように つめたいのです
……
ゴクリ
……


み……
脈博も
体温も
ない
……
それじゃ
まるで
ゆうれい
じゃないか
そ……
そんな
ばかな
話が……
なんにせよ
いまや　犯人は
ていこうの
できる状態では
ないことは
事実だ
いま
これから
なにをしようと
しているのか
しばらく
ここから
ようすを
見まもって
いようじゃ
ありませんか
キー
キー
なにを
しにいくって
……
かれは
死ににいくの
ですよ
死にに
……？
動物などが
じぶんの死を
予知したとき
ひん死のからだを
ひきずって
死に場所を
さがし
もとめる
ように
あの少年も
じぶんの墓場へ
たどりつこうと
しているのです


バスのなかで あの 梅子とか いう少女と 話をしているのを それとなく 耳にしたのですが
あの ちいさな島には かれの両親の 位牌が しまい こまれている そうです
へへへーっ そんだ こと うそじゃい
あの島にゃ ぼろぼろになった 日輪さんの ほこらが あるだけで 位牌なんぞ ありゃしねえ
位牌なんぞ ありゃしね かった
のう
あると すりゃあ 鳥のくそか からすの 死がいくれえの もんさね
んだ とも!
おらたちゃ あそこへは 金っこを さがし 出すために なんども わたって ほっくりかえして みたどもさ
えーへへ へへへ……


ああ……日輪(にちりん)さんのほこらをこんなにこわしてしまって……
……
立太(りった)
とうとう……ついたな……


ガクッ
あ……あぶないっ
しっかりして！
しっかりして立太……だいじょうぶ？
あ……ああ……
ほこらの前に……ね……ねかせてくれ……
ああ……つかれたよ
こうして土の上によこになると……
とてもいい気もちだ
立太……
……
梅子
なあに


すまないが
そのほこらの
床下を
ほってくれ
ないか
ゆかしたは
もう　ずいぶん
ほじくり
かえされて
いるわよ
こんなところを
ほって　どうする
つもり……
だいいち
シャベルが
ないし……
もっと
ほるだよ
……
もっと
ふかく
……
シャベル
なんぞ
なくたって
……
そこまで
ほれてりゃ
すぐに　あなが
あくだ……
あなが
……
わ……
わかっ
たわ
お……おい
あれを
見たか
梅子に
ほらせて
いるだぞ
……
まさか
あそこに
……


ドドドドドー！
きゃあああっ
ズズズーン
うう……
こ……こんなところに札たばが……


位牌を……
お……おとうとおかあの位牌をおらに……
あ…りがとう……
いろいろめいわくをかけたな梅子……
札たばは梅子にみんなくれてやるだ
しあわせにな……
立太……
もういってしまうの
いやだ立太……
立太しっかりして!
立太!


立太あーっ
立太あ
立太あ
立太あ
立太あ～……
……
太あ～……
あ～……
あ……


ドキッ!!
ドサッ!!
ドサ
ドサッ!!
あ……
ああ……
か……金っこが……見れっ


おおっ……
ま……牧村さん あの札たば……
む……
ま……まてっ どこへいくか――っ
こ……この気ちがいども！
とまれこらあ～～っ
う……うわっ
とまれえ～～っ


あ……あれを……
金っこが……
ああ……札たばがもえて……





〔第2巻　おわり〕

あなたは、この本を読んで、どんな感想をおもちになりましたか。

このほかに、「講談社コミックス」の中で、どんな本を読まれましたか。

このつぎには、どんな作家のどんなまんがを読みたいと、お考えですか。

「読後の感想」と合わせて、左記のところあてにお知らせください。

東京都文京区音羽二丁目十二番二十一号
〈郵便番号一一二〉
「講談社コミックス」編集部

***

N.D.C 726 202P 18cm

講談社コミックス 二六七巻

餓鬼②

著者 ちばてつや
発行者 野間省一
発行所 株式会社 講談社
東京都文京区音羽二―一二―二一
(郵便番号一一二)
電話 東京(03)九四五―一一一一(大代表)
振替 東京三九三〇番
印刷所 廣済堂印刷株式会社
製本所 株式会社 堅省堂

講談社
コミックス

餓　　鬼②　KC 267
昭和49年11月5日
第2刷発行
定　価　**350円**（送料120円）

著　者　ちばてつや

発行者　野間省一
発行所　株式会社講談社
東京都文京区音羽2—12—21
（郵便番号112）
電　話　東京(03)945—1111（大代表）
振　替　東京３９３０番

092670-2253 (0)　（マ）

講談社
¥350

092670-2253(0)